

PeopleSoft®

EnterpriseOne 8.9
開発スタンダード: アプリケーション設計
PeopleBook

2003 年 9 月

PeopleSoft EnterpriseOne 8.9
開発スタンダード: アプリケーション設計 PeopleBook
SKU AC89JDS0309

Copyright 2003 PeopleSoft, Inc. All rights reserved.

本書に含まれるすべての内容は、PeopleSoft, Inc. (以下、「ピープルソフト」) が財産権を有する機密情報です。すべての内容は著作権法により保護されており、該当するピープルソフトとの機密保持契約の対象となります。本書のいかなる部分も、ピープルソフトの書面による事前の許可なく複製、コピー、転載することを禁じます。これには電子媒体、画像、複写物、その他あらゆる記録手段を含みます。

本書の内容は予告なく変更される場合があります。ピープルソフトは本書の内容の正確性について責任を負いません。本書で見つかった誤りは書面にてピープルソフトまでお知らせください。

本書に記載されているソフトウェアは著作権によって保護されており、このソフトウェアの使用許諾契約書に基づいてのみ使用が許諾されます。この使用許諾契約書には、開示情報を含むソフトウェアと本書の使用条件が記載されていますのでよくお読みください。

PeopleSoft、PeopleTools、PS/nVision、PeopleCode、PeopleBooks、PeopleTalk、Vantiveはピープルソフトの登録商標です。Pure Internet Architecture、Intelligent Context Manager、The Real-Time Enterpriseはピープルソフトの商標です。その他すべての会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標である場合があります。ここに含まれている内容は予告なく変更されることがあります。

オープンソースの開示

この製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) が開発したソフトウェアが含まれています。Copyright (c) 1999–2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved. このソフトウェアは「現状のまま」提供されるものとし、特定の目的に対する商品性および適格性の黙示保証を含む、いかなる明示または黙示の保証も行いません。Apache Software Foundationおよびその供給業者は、損害の発生原因を問わず、責任の根拠が契約、厳格責任、不法行為（過失および故意を含む）のいずれであっても、また損害の可能性が事前に知らされていたとしても、このソフトウェアの使用によって生じたいかなる直接的損害、間接的損害、付随的損害、特別損害、懲罰的損害、結果的損害に関しても一切責任を負いません。これらの損害には、商品またはサービスの代用調達、使用機会の喪失、データまたは利益の損失、事業の中断が含まれますがこれらに限らないものとします。

ピープルソフトは、いかなるオープンソースまたはシェアウェアのソフトウェアおよび文書の使用または頒布に関しても一切責任を負わず、これらのソフトウェアや文書の使用によって生じたいかなる損害についても保証しません。

目次

概要	1
アプリケーション設計ガイドライン	2
対話型アプリケーションのガイドライン	2
対話型アプリケーションの開発ガイドライン	2
検索/表示フォームの開発ガイドライン	13
修正/検査フォームの開発ガイドライン	16
見出し詳細と見出しなし詳細のガイドライン	19
親/子フォームの開発ガイドライン	21
メッセージ・フォームの開発ガイドライン	23
検索/選択フォームの開発ガイドライン	24
バッチ・アプリケーション設計ガイドライン	26
ツールセットにより自動的に設定される標準	26
レポートの外観	26
レポートの表示	27
出力するレポート	28
ファイルに出力するレポート	28
通貨を含むレポート	28
エラー・リスト	28
命名規則	30
命名規則の理解	30
オブジェクト命名規則	31
システム・コード	32
テキストおよびアプリケーション一時変更	32
データ辞書命名規則	33
データ項目エイリアス	33
データ項目名	34
データ項目記述	34
ロー記述	35
カラム・タイトル	35
データ辞書用語解説記述	35
処理オプション・データ項目	37
処理オプションに使用する用語解説グループ	38
処理オプション・ヘルプ項目のデータ項目名	38
処理オプションの用語解説記述	38
ワークフロー・メッセージ・データ項目	41
エラー・メッセージ・データ項目	42

記述名	42
用語解説	42
メッセージ語句の重複を避ける	43
有効値リストのフォーマット	43
テーブル I/O データ項目	45
オブジェクト命名規則	46
テーブル	46
ビジネス・ビュー	49
処理オプション	50
バージョン	54
対話型アプリケーション	55
バッチ・アプリケーション	56
変数	58
ビジネス関数	59
ワークフロー・プロセス	60
メディア・オブジェクト	61
メニュー	62
テーブル変換	63
タスク	64
タスク構造	64
タスク処理オプション	64
ハイパーコントロール	65
標準ハイパーコントロール	66
非標準ハイパーコントロール	72
アクセス・キー	72
標準ボタン	72
メニュー・タイトル	73
メニュー項目	74
人事管理用のアクセス・キー	75
テーブル I/O イベント・ルールのガイドライン	76
パフォーマンスに関する考慮事項	77
すべてのフォームに関するパフォーマンスの考慮事項	77
検索/表示フォームのパフォーマンスの考慮事項	77
標準イベント・ルールのガイドライン	78
見出し詳細/見出しなし詳細フォームのパフォーマンスの考慮事項	79
翻訳の問題	80
翻訳を考慮した記述	80

一貫性のある用語の使用.....	80
英語における省略表記の回避.....	81
プレースホルダーの識別.....	81
技術的な特殊用語、スラング、アメリカ英語の回避.....	82
略語と頭字語の適正使用.....	82
関係節における that の使用.....	82
仮主語の回避.....	82
リストにおけるパラレル構造の使用.....	83
一貫性のある正しい大文字使用.....	83
翻訳ガイドライン.....	84
読みやすい翻訳のガイドライン.....	85
翻訳をトリガーする処理.....	85
テキスト文字列.....	86
J.D. Edwards ソフトウェアで使用するテキスト文字列.....	87
承認済みテキスト文字列.....	88
頭字語と略語	90
フィールド・サイズ	131
標準動詞	134
標準アイコン	136

概要

『開発スタンダード:アプリケーション設計』ガイドは、定期的に更新されます。最新のガイドラインに準拠してアプリケーションを開発するには、Knowledge Garden にアクセスして、導入しているリリースに該当するガイドを使用してください。これらのガイドラインにはできる限り従う必要がありますが、本書で説明する標準よりも機能、テクノロジーまたは使いやすさが優先される場合があります。

Web アプリケーションに関する重要な注:

Web アプリケーションの開発には、この他にもガイドラインが存在します。本書で説明するガイドラインに加えて、Web アプリケーション・ガイドラインも参照する必要があります。Web アプリケーションの開発時には、『Web アプリケーション設計』ガイドを参照してください。

アプリケーション設計ガイドライン

本書には、J.D. Edwards の開発者が J.D. Edwards アプリケーションの作成時に従う必要のある標準が記載されています。このガイドラインは、アプリケーションが標準に従っているかどうかを確認するために、主として J.D. Edwards の開発者と品質保証アナリスト向けに作成されています。

ガイドラインには、次の内容を含む 500 項目以上の標準があります。

- フォームまたはレポートのコントロールの外観
- フォーム機能
- 処理オプション
- グループ・ボックス
- カラム・タイトルのフォーマット
- レポート・ヘッダー
- 通貨
- タブの順序
- デフォルト・フォント

対話型アプリケーションとバッチ・アプリケーションには、それぞれ別個のガイドラインが用意されています。

対話型アプリケーションのガイドライン

対話型アプリケーションのガイドラインは、開発者が対話型アプリケーションで使用するコントロールの外観と機能に関する設計標準を提供します。コントロールとはフォーム上のオブジェクトであり、ユーザーがアプリケーションと対話できるようにします。

これらの標準の多くはすべてのフォーム・タイプに適用されますが、各ガイドラインにはフォーム・タイプごとに特定の標準が含まれています。また、該当する場合には、製造および流通アプリケーションや財務アプリケーション独自の指示など、特定のパーティカルに関する指示もガイドラインに含まれています。

対話型アプリケーションの開発ガイドライン

どのタイプのフォームを作成する場合も、エグジット・バーが無効の状態でも最小化されているフォームとしてプログラムする必要があります。このようなフォームには、次のガイドラインがすべて適用されます。

デフォルトのシステム設定

〈Forms Design Aid(フォーム設計ツール)〉で新規フォームを作成すると、一部のデフォルト値が自動的に適用されます。デフォルト設定の多くは変更できますが、変更するとアプリケーション設計ガイドラインに違反することになります。次のデフォルト設定は変更しないでください。

- すべてのコントロールの高さは、21 ピクセルです。

- 標準テキストのフォントは、9 ポイントの標準 Arial です。
- ツールバー上のオプションの順序は次のようになります。
 - Select(選択)
 - Find(検索)
 - Add(追加)
 - Copy(コピー)
 - Delete(削除)
 - Close(閉じる)
- 使用可能なスタティック・テキストはすべて黒、使用不可のスタティック・テキストはグレーとします。
- フォームはサイズ変更可能です。
- 解像度は 600 × 800 です(この値は、マシンの[コントロール パネル]で設定します)。

対話型アプリケーションのフォームの外観

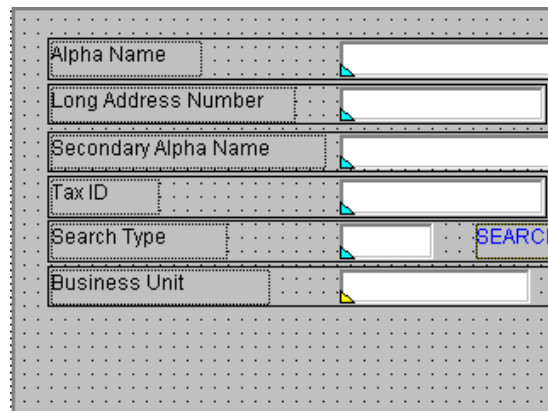
フォームの外観には、フォーム・コントロールの配置、テキスト・プロパティ、およびフィールド・サイズなどの項目が含まれます。開発者は、〈Forms Design Aid〉ツール(FDA)を使用してフォームとフォーム・コントロールのプロパティを定義します。次のガイドラインは、すべてのフォーム・タイプの開発に適用されます。

次のことを確認してください。

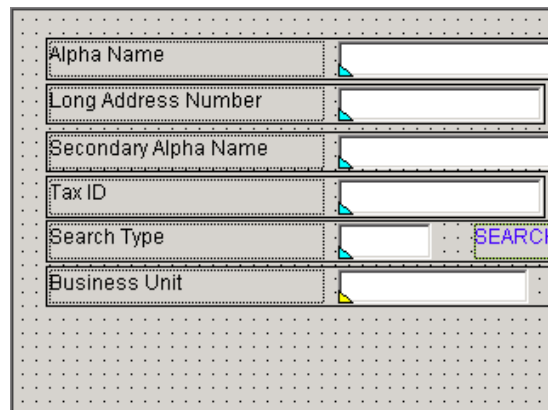
- アプリケーションの初期フォームは検索/参照フォームにします。
- メッセージ・フォームを除き、すべてのフォームには、メニュー・バーとツールバーがあります。
- 例外を除き、ツールバーには標準ボタン([Select]、[Find]、[Add]、[Copy]、[Delete]、[Close])のみを組み込みます。
- スタティック・テキスト・フィールドでは、元の文字数によっては翻訳後の文字数が増えることを考慮します。一般的に、スタティック・テキスト・フィールドのサイズを 30%長くしておけば、翻訳した場合のテキストが収まります。つまり、多くのスタティック・テキスト・フィールドでは、テキストの長さがフィールド・サイズの 70%を超えないようにする必要があります。また、日本語や中国語などのダブルバイト原語の場合は、英字 1 文字に対して 4 文字(バイト)必要になることに注意してください。これは一般的なガイドラインにすぎません。翻訳文字数が多くなって収まるように、フォーム上のスタティック・テキスト・フィールドは最大長にしておく必要があります。

次の図は、スタティック・テキスト・フィールドを拡張する誤った方法と正しい方法を示しています。

誤

A screenshot of a form layout where the labels for the input fields are not aligned to the left. The labels 'Alpha Name', 'Long Address Number', 'Secondary Alpha Name', 'Tax ID', 'Search Type', and 'Business Unit' are positioned at various horizontal offsets, creating a disorganized appearance. The input fields are white rectangles with thin borders, and a 'SEARCH' button is visible next to the 'Search Type' field.

正

A screenshot of a form layout where the labels for the input fields are aligned to the left. The labels 'Alpha Name', 'Long Address Number', 'Secondary Alpha Name', 'Tax ID', 'Search Type', and 'Business Unit' are positioned at the same horizontal offset, creating a clean and organized appearance. The input fields are white rectangles with thin borders, and a 'SEARCH' button is visible next to the 'Search Type' field.

次の表に、英語のテキストの文字数に基づいて、スタティック・テキスト・フィールドのサイズをどの程度増やすかの目安を示します。

英語の文字数	必要な追加スペース
1 文字	400%つまり 4 文字
2～10 文字	101～200%
11～20 文字	81～100%
21～30 文字	61～80%
31～70 文字	31～40%
71 文字以上	30 パーセント

- フォーム・タブの作成時には、次の考慮事項があります。
- フォーム・タブを使用すると、フォーム・エグジットの使用を制限できます。

- フォーム・タブでは、グループ・ボックスを使用して関連するフィールドをグループ化できます。ただし、タブ上にスペースがない場合や、すべてのフィールドが関連している場合は除きます。
- フォーム・タブのタイトルには、簡潔でわかりやすい言葉を使用します。略語は使用しません。
- 特定のフィールドを表示または非表示にするために使用する場合を除き、すべてのフォーム・タブが見えるようにします。
- タブは他のタブに重なることがあるため、アプリケーション全体のタブの数を制限します。必要な場合は、情報をタブではなくフォーム上で再グループ化することを検討してください。
- タブがあるとデータ入力までのステップが増えるため、多用しないでください。
- 誤字脱字のない正確な綴りを使用します。
- フォームには、承認済みの略語、頭字語、および動詞のみを使用します。
- 例外を除き、チェックボックスとラジオ・ボタンはテキスト・ラベルの左に配置します。
- 単位または数量フィールドは 15 桁以上の長さにします。
- 伝票番号、タイプ、および会社は、1 行にまとめて表示します(つまり、すべての伝票情報を同じ行に表示します)。
- グリッド合計のフォントは、青色、9 ポイントの太字にします。グリッド合計は、ロー見出しに記号 Σ を付けて示します。

翻訳、フォント・スタイル、およびグリッド合計に関する注:

[Font Type (フォント・タイプ)] パラメータを設定することで、デフォルトの FDA フォント・パラメータを一時変更しないでください。特定のフォント・タイプ・パラメータを割り当てると、言語によっては文字が正確に表示されないことがあります。

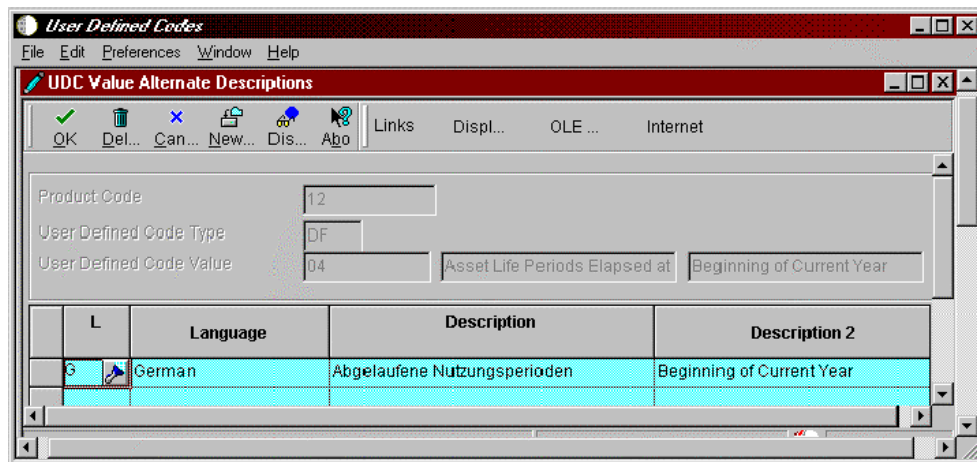
大文字のみの設定が有効になっているグリッド・カラムの下には、グリッド合計のテキストが表示されません。この場合、日本語やアラビア語のように、大文字と小文字が区別されない言語では、正しい文字が表示されません。必要な場合は、大文字のみの設定をフォーム・レベルで一時変更してください。

- スタティック・テキストには、次の考慮事項があります。
 - フィールドをユーザー入力不可にする場合は、そのフィールドに関連するスタティック・テキストも使用不可にします。
 - フィールドが使用可能な場合は、関連テキストを使用不可にしないでください。
 - スタティック・テキストは大文字と小文字を併用して表示します。大文字のみは使用しないでください。
 - 長い名詞文字列を使用しないでください。

翻訳とテキスト文字列に関する注:

各種のテキスト文字列を連結するのではなく、すべてのテキストを含む文字列を1つ作成します。通常、テキスト文字列を連結すると、言語固有の文法、語順、スペルに違反するため、多言語に対応できません。

- 固有名詞の1文字目は大文字にします。
- 特定の状況で非表示にする必要のあるフィールドやコントロールは、FDAで[Visible(可視)]に設定する必要があります。これらのフィールドのフィールドやコントロールは、イベント・ルールで表示または非表示にすることができます。フォームに表示されることのないフィールドまたはコントロールの場合にのみ、[Visible]オプションを無効にしてください。FDAで[Visible]オプションが無効になっているフィールドやコントロールは翻訳できず、フォームには英語で表示されます。
- ユーザー定義コード(UDC)テーブルに関連するすべてのコントロールには、スペースが許す限り関連テキストを付けます。翻訳されるのは[Description 1(記述 1)]カラムのテキストのみで、[Description 2]カラムのテキストは翻訳できません。[Description 1]の文字の続きを[Description 2]に入力しないようにしてください。



- ユーザー定義コード翻訳記述テーブルを無視したビジネス関数は使用しないでください。翻訳されたユーザー定義コードの記述は、ユーザー定義コード翻訳記述テーブル(F0004DとF0005D)に保管されます。UDC記述をユーザーの使用言語で表示するには、Get UDCを呼び出してSL LanguagePreferenceを手作業で割り当て、次の例に示すX0005のように使用言語を渡す操作が必要になる場合があります。

誤

Function Name : GetUDC
Function Description : Get UDC
Source Module : X0005 Data Structure : D0005

Available Objects

- System Value
- SL XmlHandle
- SL WebServerName
- SL LoginEnvironment
- SL ReportName
- SL CountryCode
- SL TargetEnvironment
- SL SourceEnvironment
- SL LanguagePreference**
- SL VersionName

Data Structure

Value	Dir	Data Item
STAW	→	szDataDictionaryItem
00	→	szSystemCode
WS	→	szRecordTypeCode
<NOT Assigned>	⊗	szUserDefinedCode
1.00	→	mnKeyFieldLength
<NOT Assigned>	⊗	szLanguagePreference
GC Status	←	szDescription001

Business Function Notes Structure Notes Parameter Notes

None / None

正

Function Name : GetUDC
Function Description : Get UDC
Source Module : X0005 Data Structure : D0005

Available Objects

- System Value
- SL XmlHandle
- SL WebServerName
- SL LoginEnvironment
- SL ReportName
- SL CountryCode
- SL TargetEnvironment
- SL SourceEnvironment
- SL LanguagePreference**
- SL VersionName

Data Structure

Value	Dir	Data Item
STAW	→	szDataDictionaryItem
00	→	szSystemCode
WS	→	szRecordTypeCode
<NOT Assigned>	⊗	szUserDefinedCode
1.00	→	mnKeyFieldLength
SL LanguagePreference	→	szLanguagePreference
GC Status	←	szDescription001

Business Function Notes Structure Notes Parameter Notes

None / None

- グリッドには、次の特性が必要です。

- 外観を整えるため、グリッドには使用可能なスペースをすべて利用します。最初のグリッドには、カラムの一部分や余分なスペースはありません。見出しが長いのにカラムが2、3しかない場合は、フォーム見出しと同じサイズのボックスを作成し、その中央にグリッドを配置します。
- すべてのグリッド行がカスタム・グリッド行の場合は、QBE 行を削除します。
- 該当する場合は、カラムを重ねて表示/非表示のプロパティを変更するのではなく、グリッド変数を使用してカラム見出し名を変更します。
- フォームには、不要な用語一時変更を表示しないでください。
- メモ欄、イメージ、OLE オブジェクトなどのメディア・オブジェクトの参照は、添付データとして識別します。
- ハードコード化されたテキストの代わりにテキスト変数を使用します。スタティック・テキストをユーザーの使用言語で表示するには、そのテキストを翻訳可能にする必要があります。ER でハードコード化されているテキストは翻訳できません。システムでは、ハードコード化された時点での言語がデフォルト値として使用されます。

対話型アプリケーションのフォーム機能

フォーム機能には、会計年度別フィルタ、データの合計、メッセージの表示、タブの順序設定、ヘルプへのアクセス、ビジュアル・アシストの使用などがあります。フォーム機能は、フォーム自体またはフォーム・コントロールに適用できます。フォーム機能の設定には、それぞれの機能に応じてデータ辞書、フォーム設計およびイベント・ルール設計ツールを使用できます。

対話型アプリケーションのフォーム開発時には、次のガイドラインが適用されます。

次のことを確認してください。

- 自動採番を事前ロードしないでください。
- ユーザーがフォーム・エグジットやロー・エグジットにアクセスしないように、次のいずれかのアクションを使用します。
 - エグジットを使用不可にします。
 - エラーを設定します。
 - メッセージ・フォームを表示します。
- 会計年度フィルタには4桁のデータ項目 FYR(会計年度)を使用します。
- ブランクとゼロを区別できるように、フォームに会計年度を表示するには英字フィールドを使用します。フォームに会計年度を2桁の数値として入力すると、0(ゼロ)~9年度は1桁として表示され、ユーザーが空白とゼロを区別できない可能性があります。会計年度には表示フィールド[FYOW]を使用して、次のロジックを組み込んでください。

IF not blank convert FYOW to FY

- [Subledger(補助元帳)]および[Subledger Types(補助元帳タイプ)]をフィルタ・フィールドとして使用する場合、[Subledger]のデフォルト値にはアスタリスク(*)、[Subledger Type]のデフォルト値には空白を使用します。
- フィールドや変数をロードする場合は、イベント・ルールなどの中でハードコード化されたテキスト文字列ではなく、テキスト変数を使用します。テキスト変数を利用する理由の1つは、テキスト文字列の方が翻訳が容易であることです。

- 次のことを確認します。
 - グリッド合計では、同じデータ・タイプのデータのみを合計します。たとえば、異なる通貨や小数点以下桁数の異なる値は合計しないでください。
 - 通常、フォーム・レベルの合計は、グリッドを囲むグループ・ボックス内で行います。
 - JDE.INI の[Everest]セクションで ShowAlias オプションが 1 に設定されている場合は、フィールドを右クリックしてデータ項目のエイリアスを表示できます。
 - [Row(ロー)]メニューのオプションが選択されたが、先にグリッドでレコードが選択されていない場合は、[No records selected(レコードが選択されていません)]というエラー・メッセージが表示されるようにします。
 - 非表示のグリッド・カラムは、表示されるカラムとカラムの間に配置します。これをテストするには、水平スクロール・バーが左端から右端へと完全に移動できるかどうかを確認します。
 - [F1]キーと[What's this?(ポップヒント)]ヘルプを、すべての入力可能フィールドでできるようにします。
 - 検索フィールドと UDC フィールドでは、ビジュアル・アシストを使用できるようにします。
- タブ順序には、次の特性があります。
 - アプリケーションでは、フォーム・タブを論理的な順序で並べます。[Tab]キーを押したときにカーソルが各フィールドへと順番に移動するように、タブの物理的な順序とタブ順序が一致していることを確認します。
 - フォームでは、タブ順序は各グループ・ボックスに適用されます。グループ・ボックスに複数のカラムがある場合は、タブがコントロールの左端のカラムの一番下まで移動した後、右横のカラムを下へ移動するようにします。
 - グリッドは 1 つのタブ・ストップです。
 - 追加モードでは、タブ順序はキー・フィールドから始めます。
 - 変更モードでは、タブ順序は入力不可になっていない最初のフィールドから始めます。

標準タブ順序の例外

関連するコントロールが複数のカラムに並べて表示される場合は、列方向へ移動するようにタブ順序を作成するか、フィールドの順序を並べ替えてください。

例: タブ順序

次の例に、上記の例外に必要なタブ順序を示します。

The screenshot shows a software form with the following elements:

- Input fields at the top: "Order Number" (containing 2, 3, 4), "Business Unit" (containing 5), "Supplier" (containing 6), and "ADDRESS NUMBER".
- A table below the input fields with the following columns: "Order Number", "Or Ty", "Order Co", "Supplier", and "Supplier Description".
- The table contains a single row with the number 7 in the center.

対話型アプリケーションの会計フォーム

会計アプリケーションでフォーム・タイプを開発する場合は、常に次のガイドラインが適用されます。

- 住所番号が表示されるすべてのフォームでは、[Address Book Number(住所番号)]のデータ項目(AN8)ではなく、[Long Address Number(詳細住所番号)]のデータ項目(ALKY)を使用してください。これは、ALKYでは20文字まで入力できるためです。情報が必要な場合は、ALKYを使用してAN8を呼び出します。入力可能な住所番号コントロールは、入力値として代替番号を受け入れるようにする必要があります。デフォルトの住所番号は、〈Address Book Constants(住所録固定情報)〉で使用される記号によって決定されます。この操作には、ビジネス関数 B0100016、Scrub Address Number を使用してください。
- ASII など未定義のフォーマットで資産番号を入力すると、〈Fixed Asset Constants(固定資産固定情報)〉で使用された記号によって決定された番号が、プライマリ資産番号として戻されます。そのためには、ビジネス関数 X1202-F1201、Validate Asset Number を使用してください。

対話型アプリケーションの人事管理フォーム

次のガイドラインは、人事管理アプリケーションのすべてのフォーム・タイプの開発に適用されます。

次のことを確認してください。

- [Address Book Number](AN8)は、[Employee Number(従業員番号)]または[Employee No(従業員 No)]に名前を変更します。
- 職務タイプおよび職階には、関連記述を使用しません。職務タイプ/職階の記述は、職務情報テーブル(F08001)から取り込みます。

対話型アプリケーションの製造および流通フォーム

次のガイドラインは、製造または流通アプリケーションのすべてのフォーム・タイプの開発に適用されます。

次のことを確認してください。

- [Branch/Plant(事業所)]は、右上隅に配置します。
- 該当する場合は、[Branch/Plant]を MCU または MMCU のスタティック・テキストとして使用します。
- 品目番号を UTM などの未定義のフォーマットで入力する場合は、入力したのと同じフォーマットで番号が戻されることを確認します。

対話型アプリケーションのローカライゼーション・フォーム

次のガイドラインは、ローカライゼーション・アプリケーションのすべてのフォーム・タイプの開発に適用されます。

次のことを確認してください。

- 基本アプリケーションからローカライゼーション要件フォームへのフォーム・エグジットとロー・エグジットには、[Regional Info(地域情報)]というラベルを付けます。
- [Country System(国システム)]がブランクの場合は、[No User Country Preference Set or No Specific Logic exists for Country Preference(ローカライゼーション国コードが設定されていないか、このアプリケーションにはローカライズ・ロジックがありません)]というメッセージ・フォームを表示します。

通貨コントロールを使用する検索/表示フォーム

通貨コントロールを使用する検索/表示フォームの開発には、次のガイドラインが適用されます。

次のことを確認してください。

- 国内通貨と外貨の両方の金額が使用可能な場合は、グリッドに両方の金額を表示します。
- グリッドの全レコードに同じ通貨が反映される場合は、フォームの見出し部分に通貨コード、為替レート、および基本通貨を表示します。
- 各レコードの通貨コード、為替レート、または基本通貨が異なる可能性がある場合は、この情報をグリッドに表示します。
- 複数の通貨を含むカラムには合計を表示しません。必要に応じて合計レコードを非表示にします。
- 通貨処理が無効化されている場合は、Dialog is Initialized のため、通貨関連のコントロールとグリッド・カラムをすべて非表示にします。通貨関連フィールドを非表示にするには、[Currency Processing(通貨処理)]のシステム値を"N"にしてテストします。
- 検索/参照フォームには、外貨と国内通貨の両方が表示されるため、[Currency Mode(通貨モード)(CRRM)]は表示しません。
- 金額がグリッドのメイン部分に表示される場合は、国内金額と通貨コードを表示します。外貨金額は、右にグリッドをスクロールして表示される場所に配置してもかまいません。

注:

基本通貨は、会社レベルで指定されている通貨です。[Base Currency(基本通貨)]フィールドを QBE ローに組み込むか、フィルタ・フィールドとして組み込む必要がある場合は、トランザクション・テーブルを会社固定情報テーブル(F0010)に結合することを検討してください。これにより、QBE で使用可能な[Base Currency]フィールドに、データベースから直接アクセスできるようになります。

通貨コントロールを使用する対話型アプリケーション・フォーム

通貨コントロールを使用する全フォーム・タイプの開発に、次のガイドラインが適用されます。

次のことを確認してください。

- 通貨記号は、グリッドの真上に次の順序で表示します。
 1. 通貨(CRDC)
 2. 為替(CRR)
 3. レート基本(CRCD)
 4. 外貨オプション
- 通貨フィールドは、長さ 18 桁以上にします。

検索/表示フォームの開発ガイドライン

検索/表示フォームは、通常、アプリケーションへのエントリー・ポイントとなります。このフォームでは、必要に応じて QBE 行を使用できるため、グリッドのどのデータベース・フィールドでも検索が可能です。使用不可になっている QBE カラムは、ビジネス・ビューにないため、QBE 機能がありません。検索/表示フォームのタイトルは、通常、次のように「Work With～(～の処理)」とします。

Address Number	Alpha Name	Long Address	Industry Class	Sch Typ
20	Marketing Company		7000	O
27	Eastern Area Distribution Center		7000	F
28	Prueba - Argentina - 28		7000	O
50	Project Management Company		7000	O
60	Financial Reporting Company		6000	O
70	French Company		7000	O
75	M.C. Company		7000	O
77	Canadian Company		7000	O
80	Colombian Company		7000	O

検索/表示フォームの外観

フォームの外観には、グループ・ボックスの使用、フィールド・ラベル、グリッドのローの罫線、フォーム名などの項目が含まれます。これらの項目は、〈Forms Design Aid〉ツール(FDA)を使用して定義します。検索/表示フォーム開発時には、次のガイドラインが適用されます。

次のことを確認してください。

- フォーム名は、〈Work With Addresses(住所の処理)〉のように「Work With～」とします。
- フォーム・タブを使用する場合、追加選択基準とカテゴリ・コードにはフォーム・タブからアクセスします。タブ名は、それぞれ[*Additional Selection*(追加選択)]および[*Category Codes*(カテゴリ・コード)]とします。
- キー・フィールドは見出しに表示します。
- すべてのフィールドは、グループ・ボックスに入れます。
- 見出しフィールドを囲むグループ・ボックスには、タイトルを付けません。
- スキップ先を指定するフィールドには、次のラベルを付けます。
 - スキップ先が範囲の場合は、[*Skip From*]および[*Skip Through*]
 - スキップ先が単一項目の場合は[*Skip To*]

- グリッドには、次の特性があります。
 - ローの罫線(水平線)は表示しません。
 - グリッドには、すべてのフィルタ・フィールドを反映させます。
 - グリッドが選択基準グループ・ボックスと同じサイズの場合は、グリッドを囲むグループ・ボックスを表示しません。グリッドが選択基準グループ・ボックスより小さい場合は、選択基準グループ・ボックスと同じサイズのグループ・ボックスで囲み、その中央に配置します。

例: 検索/表示フォームでローの罫線を表示しない場合

次のフォームは、検索/表示フォームでローの罫線を表示しないよう設定しています。

The screenshot shows a software window titled "Enter/Change Order - [Work With Manufacturing Work Orders]". It has a menu bar (File, Edit, Preferences, Row, Window, Help) and a toolbar with icons for Select, Find, Add, Copy, Del..., Close, Seg..., New..., Dis..., and Ago. Below the toolbar is a "Branch/Plant" dropdown and a "Skip to Order Number" input field containing "400000". The main area contains a table with the following data:

Order No	Type	2nd Item Number	Item Description
400004	WO		
400012	WO		
400021	WO		
400048	WO		
450001	WO	REPLACE INTAKE FILTERS	PM to replace intake Filters
450010	WO	REPLACE LAMPS	PM to replace lamps
450028	WO	REPLACE DRYER FILTERS	PM for replacing dryer filters
450036	WO	INSPECT EXHAUST FAN MOTOR	Pm to inspect exhaust motors
450044	WO	LUBRICATE AIR COMPRESSOR	PM to lubricate air compressor
450052	WO	CLEAN/ INSPECT SPRAY HEAD	PM to clean/inspect spray head
450061	WO	INSPECT BEARINGS	PM to inspect bearings

At the bottom right, it says "Row:1".

検索/表示フォームのフォーム機能

検索/表示フォームのフォーム機能には、グリッドの事前ロード、ロー・エグジット、フィルタの使用などがあります。フォーム機能の設定には、それぞれの機能に応じてフォーム設計およびイベント・ルール設計ツールを使用できます。

検索/表示フォーム開発時には、次のガイドラインが適用されます。

次のことを確認してください。

- 検索/表示フォームがメニューから呼び出される場合、開始時にはグリッドを事前ロードしません(自動検索機能はありません)。グリッドを事前ロードできるのは、検索/表示フォームが他のアプリケーションから呼び出される場合のみです。
- 変更があった場合にも、他のフォームから検索/表示フォームに戻った後は、自動検索機能を実行しません。

- フィルタ・コントロールは次の目的で使用します。
 - 事業所や会社など、選択値の事前ロード
 - 必要なコントロールの選択
 - 日付などの範囲の選択
- [Select]やハイパー・コントロール・エグジットなど、ロー・レベルのすべてのエグジットでは、複数選択を可能にします。ただし、このルールには例外があります。ロー・エグジットが別のフォームのモードレス呼出しを実行する場合、そのエグジットにはイベント・ルール(ER)の反復マークを付けません。

人事管理の検索/表示フォーム

次のガイドラインは、人事管理アプリケーションの検索/表示フォームの開発に適用されます。

次のことを確認してください。

- [Address Book Number (AN8)]がフィルタ・フィールドの場合は、このフィールドを非表示にし、仮のフィルタ・フィールドとしてデータ辞書項目 ENDYOW を使用します。[Address Book Number]は、ビジネス関数 N0800002 により自動入力されます。この関数は、[ENDYOW]フォーム・コントロール上で *Control is Exited/Changed Inline* イベントから呼び出されます。[ENDYOW]により、従業員番号、社会保障番号、代替従業員番号または英字の名称検索文字列をフォーム・コントロールに入力できるようになります。
- [Address Book Number (AN8)]がフィルタ・フィールドの場合は、[Employee Number (AN8)]、[Social Security Number (SSN)]および[Alternate Employee Number (OEMP)]をすべてグリッドに表示します。

製造および流通の検索/表示フォーム

次のガイドラインは、製造および流通アプリケーションの検索/表示フォームの開発に適用されます。

- 品目関連フォームの場合、[Second Item (LITM)]をメイン・グリッド領域に表示する必要があります。[3rd Item Number(第3品目)](AITM)および[Short Item No(略式品目番号)](ITM)は、スクロール先のグリッド領域に表示します。

例:取引によって異なる通貨

次のフォームは、多くの取引レコードで使用される異なる通貨を示しています。

Sub	Base Curr	Foreign Amount To Receive	Unit Cost	Curr	Foreign Unit Cost	Buyer Number	Transaction Originator
	USD		.1200	USD	.0000	8444	DEMO
	USD		.1200	USD	.0000	8444	DEMO
	USD		.1300	USD	.0000	8444	DEMO
	USD		.1250	USD	.0000	8444	DEMO

修正/検査フォームの開発ガイドライン

修正/検査フォームでは、新規のレコードをテーブルに追加したり、既存のレコードを更新することができます。修正/検査フォームには、[OK]ボタンと[Cancel]ボタンがあります。[OK]をクリックすると、テーブル、または呼出し元フォーム(Work With...)などのグリッドに、レコードが書き込まれるか、更新または追加されます。[Cancel]をクリックすると、変更内容が失われ、レコードは変更されません。修正/検査フォームでは、一度に1レコードしか追加または更新できないため、グリッドはありません。

修正/検査フォームの外観

フォームの外観には、フォーム名およびグループ・ボックスの使用に関する項目が含まれます。プログラムは、J.D. Edwards の〈Forms Design Aid〉で定義します。

修正/検査フォームの開発時には、次のガイドラインが適用されます。

- 〈Work With...〉フォームから呼び出される修正/検索フォームにの名称には、〈Work With...〉フォームと同じ名詞を使用し、それに続けてフォームの機能を記述する単語を使用します。たとえば、〈Work With Item Master (品目マスターの処理)〉から呼び出される修正/検査フォームの場合は、タイトルを〈Item Master Revisions (品目マスターの改訂)〉とします。
- すべての情報はグループ・ボックスに表示します。つまり、ボックスの外にはフィールドを配置しません。
- フォームに表示するグループ・ボックスは 5 個以内とします。

修正/検査フォームのフォーム機能

フォーム機能には、フォーム・コントロールでのブランクとデフォルト値の使用、コントロールからの事前ロード、呼出し元フォーム (検索/表示フォームなど、修正/検査フォームを呼び出したフォーム) への戻り、キー・フィールドの使用不可などがあります。フォーム機能は、フォーム自体またはフォーム・コントロールに適用できます。フォーム機能の設定には、それぞれの機能に応じてデータ辞書、フォーム設計およびイベント・ルール設計ツールを使用できます。

修正/検索フォームの開発時には、次のガイドラインが適用されます。

次のことを確認してください。

- 追加モードでは、次の機能が必要です。
 - ブランクのフォーム・コントロール (デフォルト値を除く)。

例外

ユーザーが使用しやすいように、キー・データを自動入力できます。たとえば、品目マスターからの情報を〈Unit of Measure (計量単位)〉フォームに自動入力できます。

- 修正/検査フォームで [OK] をクリックしても、検索/表示フォームには戻りません。
- 変更モードでは、次の機能が必要です。
 - フォーム・コントロールには、呼出し元フォームで選択されたレコードが事前ロードされます。
 - 修正/検査フォームがモードレス・フォームとして呼び出された場合を除き、この種のフォームで [OK] をクリックすると、検索/表示フォームに戻ります。
 - 見出しのキー・フィールドはすべて使用不可にします。
 - フォームを表示専用にする場合は、入力可能フィールドを使用しません。すべてのコントロールは使用不可にして、ツールバーには [OK] ボタンを表示しません。

通貨コントロールを使用する修正/検査フォーム

通貨コントロールを使用する修正/検査フォームの開発には、次のガイドラインが適用されます。

次のことを確認してください。

- 通貨処理オプションが無効の場合、Dialog is Initialized イベント中は通貨コントロールを非表示にします。
- [Foreign(外貨)]オプションはタブ停止にしません。
- [Exchange Rate(為替レート)]フィールドのサイズは 115 ピクセルにします。
- [Base Currency(基本通貨)]フィールドには値のみを表示し、入力不可にします。[Base Company Currency Code(基本会社通貨コード)]を取得するには、ビジネス関数を使用します。
- 取引通貨と基本通貨が同一の場合は、[Foreign]オプションを使用不可にします。
- 受注オーダーなど、特定のトランザクションについては、変更モードでの[Currency Code(通貨コード)]および[Exchange Rate]フィールドを入力不可にします。

例: 修正/検査フォーム

次のフォームは、修正/検査フォームの開発ガイドラインに従ったものです。

The screenshot shows a software window titled "Enter Purchase Orders - [Order Header]". It has a menu bar with "File", "Edit", "Preferences", "Form", "Window", and "Help". Below the menu is a toolbar with icons for "OK", "Can...", "Dis...", "Ab...", "Links", "Quote...", "OLE...", and "Internet". The form is divided into several sections:

- Order Information:** Order Number (2060), OP (00001), Branch/Plant (30).
- Currency and Exchange:** Currency (USD), Exchange Rate (empty), Base (USD), Foreign (checkbox).
- Address Numbers:** Supplier (4343), Ship To (6031), Buyer (empty), Carrier (empty), Pmt. Remark (empty), Description (empty).
- Dates:** Order Date (5/10/2005), Requested (5/12/2000), Promised Delivery (5/12/2000), Cancel Date (empty).
- Tax and Hold Codes:** Tax Expl Code (empty), Tax Rate/Area (empty), Certificate (empty), Tax ID (611483910), Person/Corp. ID (C), Hold Code (empty), Blank - Hold Codes 42/HC.
- Ordering Information:** Retainage % (empty), Ordered By (JG5941598), Order Taken By (empty).
- Messages:** A section at the bottom for messages.

人事管理の修正/検査フォーム

次のことを確認してください。

- [Address Number](AN8)のデータ項目を非表示にし、代わりに[Employee Identification](ENDYOW)を使用します。会社固定情報テーブル(F0010)の値に応じて、[ENDYOW]フィールドに[Employee Number](AN8)、[Social Security Number](SSN)、または[Alternate Employee Number](OEMP)を表示します。[ENDYOW]の記述を、値を正しく表すように変更します。
- 追加機能を最初に使用する場合を除き、[Employee Identification]コントロール(ENDYOW)は常に使用不可にします。

見出し詳細と見出しなし詳細のガイドライン

見出し詳細フォームと見出しなし詳細フォームには、同じ開発ガイドラインが適用されます。

見出し詳細

見出し詳細フォームを使用すると、2つの異なるテーブルからのデータを処理できます。このフォームを使用して単一の見出しレコードを追加または更新することができます。また、同じフォームから複数の詳細レコードを追加、更新、または削除することもできます。

見出し詳細フォームには入力可能グリッドがあり、詳細レコードを追加または更新できます。フォーム上で[OK]をクリックすると、両方のテーブルの更新または追加が実行されます。[Cancel]をクリックすると、変更は保存されずにフォームが閉じます。

例: 見出し詳細フォーム

Order Number	Or Ty	Order Co	Line Number	Hd Cd	Sold To	Sold To Name	Description 1
121	SQ	00001	1.000		4242	Capital System	Mountain Bike, Red
121	SQ	00001	2.000		4242	Capital System	Touring Bike, Red
121	SQ	00001	3.000		4242	Capital System	Touring Bike, Blue
121	SQ	00001	4.000		4242	Capital System	Touring Bike, Green
121	SQ	00001	5.000		4242	Capital System	Commuter Bike

見出しなし詳細

見出しなし詳細フォームには、正規化されていない単一テーブルから複数のレコードが表示されます。このフォームは単一テーブルの更新にのみ使用するため、フォームに添付できるビジネス・ビューも1つのみです。

見出しなし詳細フォームには入力可能グリッドがあり、詳細情報を追加または更新できます。フォームの見出し部分には、グリッドの全詳細レコードに共通するデータが表示されます。見出し情報と詳細情報は、どちらも同じビジネス・ビューから取り込まれます。

[OK]をクリックすると、テーブルに対する更新または追加が実行されます。[Cancel]をクリックすると、変更は保存されずにフォームが閉じます。

見出し詳細および見出しなし詳細フォームの外観

見出し詳細フォームと見出しなし詳細フォームの外観には、フォーム名、垂直および水平グリッド線、およびグリッド・カラム要件などの項目が含まれます。フォームの外観は、J.D. Edwards の〈Forms Design Aid〉で定義したコントロール・プロパティにより確定されます。

アプリケーションの見出し詳細フォームと見出しなし詳細フォームの開発には、次のガイドラインが適用されます。

次のことを確認してください。

- 〈Work With...〉フォームから呼び出される見出し詳細または見出しなし詳細フォームにの名前には、〈Work With...〉フォームと同じ名詞を使用し、それに続けてフォームの機能を記述する単語を使用します。たとえば、〈*Work With Item Master*〉から呼び出される見出し詳細または見出しなし詳細フォームのタイトルは、〈*Item Master Detail* (品目マスター詳細)〉または〈*Item Master Revisions*〉となります。
- 見出しなし詳細フォームにフォーム・タブを作成する場合は、フォーム・タブに追加の選択条件を表示します。タブ・タイトルは[*Additional Selection* (追加選択)]とします。
- フォーム・タブを使用する場合は、見出しにキー・フィールドを表示します。
- 詳細フォームがある場合は、グリッドのすべてのカラムを詳細の修正/検査フォームに表示します。
- ビットマップ表示を許可するには、ロー見出しのプロパティ・オプションを有効にします。
- 垂直(カラム)と水平(ロー)のグリッド線はどちらも必須です。
- [Skip To]フィールドには次のようなラベルを付けます。
 - スキップ先が範囲の場合は、[Skip From]および[Skip Through]
 - スキップ先が単一項目の場合は[Skip To]

見出し詳細および見出しなし詳細フォームのフォーム機能

見出し詳細フォームと見出しなし詳細フォームのフォーム機能には、ブランク値の許可、デフォルト値のロード、複数グリッド選択の許可、フォーム・コントロールの事前ロード、キー・フィールドの使用不可などの項目が含まれます。フォーム機能は、フォーム自体またはフォーム・コントロールに適用できます。フォーム機能の設定には、それぞれの項目に応じてデータ辞書、フォーム設計およびイベント・ルール設計ツールを使用します。

見出し詳細フォームと見出しなし詳細フォームの開発には、次のガイドラインが適用されます。

次のことを確認してください。

- グリッドは、複数選択を許可するように設定します。ロー・エグジットが別のフォームのモードレス呼出しを実行する場合、そのエグジットにはイベント・ルールの反復マークを付けません。
- 主なトランザクション・プログラムの場合は、マスター・ビジネス関数(MBF)BeginDoc または EditLine が最初に正常に実行された後に、重要なフィールドを変更不可にします。イベントと関数は、アプリケーションの設計に応じて異なります。重要なフィールドとは、キー、元帳日付、通貨情報を指します。
- 追加モードの場合は、次のことを確認してください。
 - フォーム・インターコネクトからロードされるデフォルト値を除き、フォームはブランクにします。
- 変更モードの場合は、次のことを確認してください。
 - フォームには、呼出し元フォームで選択されたレコードから事前ロードします。
 - 見出しのキー・フィールドは使用不可にします。

通貨コントロールを使用する見出し詳細フォームと見出しなし詳細フォーム

見出し詳細フォームと見出しなし詳細フォームの開発には、次のガイドラインが適用されます。

次のことを確認してください。

- 通貨処理オプションを有効にして、Dialog is Initialized イベント中は通貨コントロールを非表示にします。
- 追加モードの場合は、次のことを確認してください。
 - 取引通貨と基本通貨が異なる場合は、[Foreign]オプションを有効にします。両方の通貨が同一の場合は無効にします。
 - 外貨建てトランザクションについては、ユーザーがトランザクションを国内通貨で入力できるように[Foreign]を有効にします。
- 変更モードの場合は、次のことを確認してください。
 - [Foreign]オプションは、トランザクションの当初入力時の値に基づいて表示します。

親/子フォームの開発ガイドライン

親/子フォームを使用すると、アプリケーションで親子関係を表すことができます。親/子フォームでは、検索/表示フォームでグリッドが表示される位置に、親/子コントロールが配置されます。フォームの左側には複合コントロールがあり、親子関係を視覚的に表すツリー・ビューが表示されます。複合コントロールの右側には、表示モードのグリッドが表示されます。グリッドには、ツリーの子ノードの詳細レコードが表示されます。

親/子フォームは、複合コントロール、[Select]ボタンおよび[Close]ボタンを使用して作成されます。

親/子フォームの外観

次のガイドラインは、親/子フォームの開発に適用されます。

次のことを確認してください。

- フォームには、データに応じて親/子構造またはグリッドと親/子構造の両方を表示します。表示中にツリー・ノードの記述よりも詳細な情報が必要な場合は、グリッドを表示します。
- グリッドには、カラムまたはノードを 1 つのみ表示します。

親/子フォームのフォーム機能

次のガイドラインは、親/子フォームの開発に適用されます。

次のことを確認してください。

- 〈Event Rules Design〉で親子関係を設定すると、ランタイム・エンジンによりツリーがロードされ、該当する場合はグリッドもロードされます。
- 親/子関係が存在しない場合は、〈Event Rules Design〉の親/子システム関数を使用してツリーとグリッドをロードします。

注:

その他、検索/表示フォームに関するルールがすべて適用されます。

例: 親/子フォーム

次に、親/子フォームの例を示します。

Item / Branch / Batch / Type	2nd Item Number	Description	Branch/Plant
2001 / M30 / 0 EA /	2001	Cro-Moly Frame, Red	M30
2004 / M30 / 0 EA /	2004	Cro-Moly Frame	M30
9001 / M30 /	9001	25 mm Cro-Moly Tubing	M30
9002 / M30 /	9002	50 mm Cro-Moly Tubing	M30
9004 / M30 /	9004	50 mm Cro-Moly Bar	M30
9011 / M30 / 0 EA /	9011	Paint, Red	M30
9031 / M30 / 0 EA /	9031	Primer	M30
9026 / M30 / 0 EA /	9026	Acid	M30
2005 / M30 / 0 EA /	2005	Chain Stay	M30

メッセージ・フォームの開発ガイドライン

メッセージ・フォームを使用して、メッセージを表示したりユーザーによるアクションを要求します。このタイプのフォームはモーダルであり、サイズ変更はできません。このフォームに対して実行できるのは、スタティック・テキストとプッシュ・ボタンの追加のみです。[OK]、[Cancel]、[Yes]、[No]など、標準プッシュ・ボタンを使用できるのは、このフォームのみです。削除確認メッセージは、メッセージ・フォームの適切な使用例です。このフォーム・タイプには、ビジネス・ビューはありません。

メッセージ・フォームの外観

次のガイドラインは、メッセージ・フォームまたは確認フォームの開発に適用されます。フォームについて次のことを確認してください。

- ツールバーがありません。

注:

ツールバーなしでボタンを使用するフォーム・タイプは、メッセージ・フォームのみです。

- [OK]ボタンと[Cancel]ボタンがあります。
- メッセージが表示されるスタティック・テキスト・フィールドがあります。メッセージ・テキストは、連続する1つのテキスト文字列として作成する必要があります。スタティック・テキスト領域は、翻訳の文字数を考慮して30%以上大きいサイズに変更する必要があります。

- テキスト・メッセージをバインドするグループ・ボックスがあります。

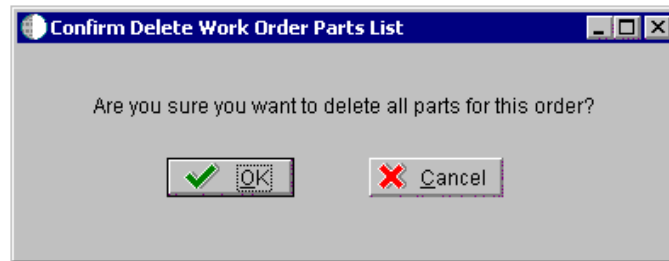
メッセージ・フォームのフォーム機能

次のガイドラインは、メッセージ・フォームの開発に適用されます。次のことを確認してください。

- このフォームには、データベースの更新や照会機能はありません。このフォームはメッセージ専用です。
- フォームとの間で結果フラグを受け渡しできるように、フォームにデータ構造体を関連付けます。
- フォーム・レベルのイベント・ルール処理でサポートされるのは、Dialog Is Initialized イベントのみです。
- ボタンのイベント・ルール処理については、イベント Button Clicked および Post Button Clicked を使用してイベント・ルールを定義します。
- 〈フォーム・プロパティ(Form Properties)〉で、[Maximize(最大化)]、[Minimize(最小化)]、および[Resize(サイズ変更)]オプションを使用不可にします。

例:メッセージ・フォーム

次に、メッセージ・フォームの例を示します。



検索/選択フォームの開発ガイドライン

検索/選択フォームでは、値を検索してその値を呼出し元フィールドに戻すことができます。検索/選択フォームの呼出しには、ビジュアル・アシスト(フラッシュライト)またはハイパーコントロールを使用します。

検索/選択アプリケーションを作成した後、検索/選択フォームを対象のデータ項目に関連付ける必要があります。この操作には、データ辞書のビジュアル・アシスト・トリガー、またはコントロールのプロパティ・シートでの一時変更を使用します。

このフォームは情報表示専用であり、フィールドの情報を編集することはできません。したがって、このフォームに含まれるボタンは[Select]と[Close]のみです。

このフォームのデータ構造体には、要素を1つのみ含める必要があります。データ項目は、検索/選択フォームが関連付けられているコントロールまたはグリッド・カラムから自動的に入力されます。検索/選択フォームをコントロールまたはグリッドに関連付けるには、データ辞書のビジュアル・アシスト・トリガーを使用します。たとえば、UDC ビジュアル・アシストなどです。コントロールに UDC ビジュアル・アシスト・トリガーがあると、コントロールの値が UDC 検索/選択フォームのデータ構造体に自動的に渡されます。

検索/選択フォームにはグリッドがあり、1つのテーブルの複数レコードを表示できます。グリッドには有効な値が表示されます。グリッドから値を選択して[Select]をクリックすると、その値が呼出し元フィールドに自動的に表示されます。

検索/選択フォームには1つのテーブルからのレコードのみが表示されるため、このフォームに関連付けできるビジネス・ビューも1つのみです。

検索/選択フォームのフォーム機能

検索/選択フォームの作成には、次のガイドラインが適用されます。

- このフォームは検索ウィンドウに使用します。
- 通常は、パフォーマンス上の理由から、このフォームには事前ロードしません。ただし、UDC検索/選択フォームなどの例外はありません。
- 検索フォームに、同じ検索フォームに対応するビットマップがある場合は、ビジュアル・アシストを使用します。
- 単一値を送って戻される場合は、データ辞書またはデータ辞書一時変更のデータ項目に対して定義されたビジュアル・アシストを使用して、検索/選択フォームを呼び出します。
- 複数の値を送って戻される場合は、ハイパーコントロールまたはメニュー・バー項目を使用して検索/選択フォームを呼び出します。

注:

その他、検索/表示フォームに関するルールがすべて適用されます。

バッチ・アプリケーション設計ガイドライン

J.D. Edwards ソフトウェア用に新規レポートまたはバッチ・アプリケーションを作成する際には、バッチ・アプリケーション・ガイドラインに従う必要があります。これらのガイドラインに従うと、合計や総合計の表示、エラー・メッセージやジョブ・ステータス・メッセージの使用、レポート見出しの配置と必須項目、および表紙の使用など、さまざまな項目の処理に役立ちます。

ツールセットにより自動的に設定される標準

レポートやバッチ・アプリケーションを新しく作成する場合は、システムにより一定の標準が適用されます。設定の多くは変更できますが、変更するとバッチ・アプリケーション設計の標準に違反することになります。J.D. Edwards 開発ツールセットを使用すると、次の標準が自動的に設定されます。

フォント	7pt、Arial、標準フォント
レポート名	左上隅に表示 (R09800 など)
実際の実行日付/時刻の値	1 行目と 2 行目の右側に表示
ラベル・ページ(ページ番号の次)	右上隅に表示
レポート・タイトル	レポート・ヘッダーの中央に表示
会社名	レポート・タイトルの 1 行目に表示

レポートの外観

レポートの外観には、次のガイドラインが適用されます。

次のことを確認してください。

- 英大文字と英小文字の両方を使用します。
- 承認済みの略語のみを、レポート・セット全体で一貫性のある方法で使用します。
- 固定テキストとテキスト一時変更は、できるだけ使用しないでください。
- 可視のレポート・セクションで翻訳が必要なテキストを定義します。非表示セクションのテキストは、翻訳対象として抽出されません。
- ER などでは、ハードコード化されたテキスト文字列を使用してフィールドや変数をロードしないでください。代わりにテキスト変数を使用します。ハードコード化されたテキスト文字列は、翻訳対象として抽出されません。
- できるだけ、データベース項目と関連記述のみを使用します。
- カラム間にスペースを挿入します。デフォルトのカラム間隔は 5 文字分です。
- 次のガイドラインに従ってレポートのカラムのデータを位置揃えします。
 - 数字 - 右揃え
 - 文字列 - 左揃え
 - 文字 - 中央揃え

- 日付 – 中央揃え

注:

数字、文字列、および日付については、システムはカラム・データの位置揃えを標準に合わせているため、デフォルトの位置揃えをそのまま使用できます。ただし、文字データについては、デフォルトの位置揃えを中央揃えに設定する必要があります。

- レポートの方向は横長にします。
- レポートはレーザー・プリンタで印刷するように設定します。
- 特別な書式を処理する場合を除き、レポートは米国の標準用紙サイズである 8 1/2" × 11" を使用するように設定します。
- カラム見出しには下線を付け、カラム幅で中央揃えします。
- 合計金額の上には一重線を付けます。
- 総合計の場合は、上に一重線、下には二重下線を付けます。
- 合計金額は、合計する金額フィールドの真下に位置揃えします。
- 標準の J.D. Edwards レポートには、ページ・フッターやレポート・フッターは付けません。

レポートの表示

エンドユーザーに表示するレポートの開発には、次のガイドラインが適用されます。

次のことを確認してください。

- レポートのレベル 1 セクションは、テーブルから任意のカラムのデータを選択できるように、テーブルのすべてのカラムを含むビジネス・ビューを基にします。
- レベル 1 セクションとそのすべての関連セクションをグループ化します。
- 次の条件付きセクションを最下部に配置します。
 - 呼び出されない条件付きセクション
 - 複数のレベル 1 セクションに関連する条件付きセクション
- 印刷可能な出力を生成しない処理には、グループ・セクションを使用します。これらのセクションのプロパティは、非表示および条件付きとして定義します。
- グローバル変数を使用する必要がある場合は、グループ・セクションを使用し、条件付きマークを付けます。

注:

グローバル変数ではなくイベント・ルール変数を使用するようにしてください。

- 非表示セクションや呼び出されない条件付きセクションにコメントを配置する場合は、定数を使用します。これらのコメントは、レポートに表示できます。セクション名とセクション記述を含む定数は、これらのセクションの標準コメントとなります。

- [Report View(レポート・ビュー)]タブをクリックすると、非表示セクションのレポート変数が表示されます。〈Section Properties(セクション・プロパティ)〉で[Visible(表示)]が無効に設定されていると、そのセクションはレポート出力に表示されません。
- 表示セクションで使用するために非表示セクションのテキスト変数を定義しないでください。非表示のレポート・セクションは、翻訳対象として抽出されません。

出力するレポート

印刷出力を生成するレポートの開発には、次のガイドラインが適用されます。

次のことを確認してください。

- ページ・ヘッダーは、最上部に配置します。
- 共通レポートには、レベル 1 セクション、合計セクション、およびレベル区切りヘッダー・セクションを含めます。レベル 1 セクション、次に合計セクションとレベル区切りヘッダー・セクションが表示されます。
- レポートのデモ・バージョンは、表紙を印刷しないように設定します。
- エラーのみを印刷するエラー・レポートの場合は、エラーがなければ、レポート・ヘッダーに続いて確認のために「No Errors」という 1 行を印刷します。
- 出力、注記、エラー・メッセージを生成しないレポートの場合は、バッチ・ジョブの入力者にそのジョブが正常終了したかどうかを示すメッセージを送信します。このメッセージの送信には、メッセージ送信用のシステム関数を使用します。テンプレート・メッセージを使用すると、メッセージが関連しているジョブのみでなく、そのジョブが失敗した理由の詳細を示すことができます。

ファイルに出力するレポート

ファイルへの出力を生成するレポートの開発時には、バッチ・プログラムに標準ページ・ヘッダー・セクションが含まれていないことを確認してください。

通貨を含むレポート

通貨を含むレポートの開発には、次のガイドラインが適用されます。

次のことを確認してください。

- 通貨金額フィールド用の各カラムには、できるだけ 21 桁分のスペースをとるようにします。
- 複数通貨が使用されている金額については、合計を表示しません。

エラー・リスト

エラー・リストの出力先を選択するための処理オプションを作成する場合は、次の設計ガイドラインが適用されます。

次のことを確認してください。

- エラー・リストの出力先オプションとして、ワーク・センターとレポートを用意します。エラーはどちらにも表示されない場合があります。

- レポートにエラー・リストを出力するには、次のフォーマットを使用します。
085X--このレコードは正しくありません。
- 特に親子関係を伴う場合には、エラーが繰り返されないようにし、意味のある順序で表示されるようにします。
- テキスト変数をエラー・メッセージとして使用しないでください。
- 警告タイプのエラー・メッセージでは、処理を停止しないでください。エラー・タイプのメッセージでは、処理を停止する必要があります。

命名規則

開発者およびユーザーに一貫性を提供するために、すべての J.D. Edwards オブジェクトは標準の命名規則に従っています。命名規則では、テーブルやレポート、対話型アプリケーション、メニューなどの各オブジェクトには固有名を指定する必要があります。命名規則に従うと、オブジェクトのタイプを識別して、重複する名前のオブジェクトを作成しないように防ぐことができます。

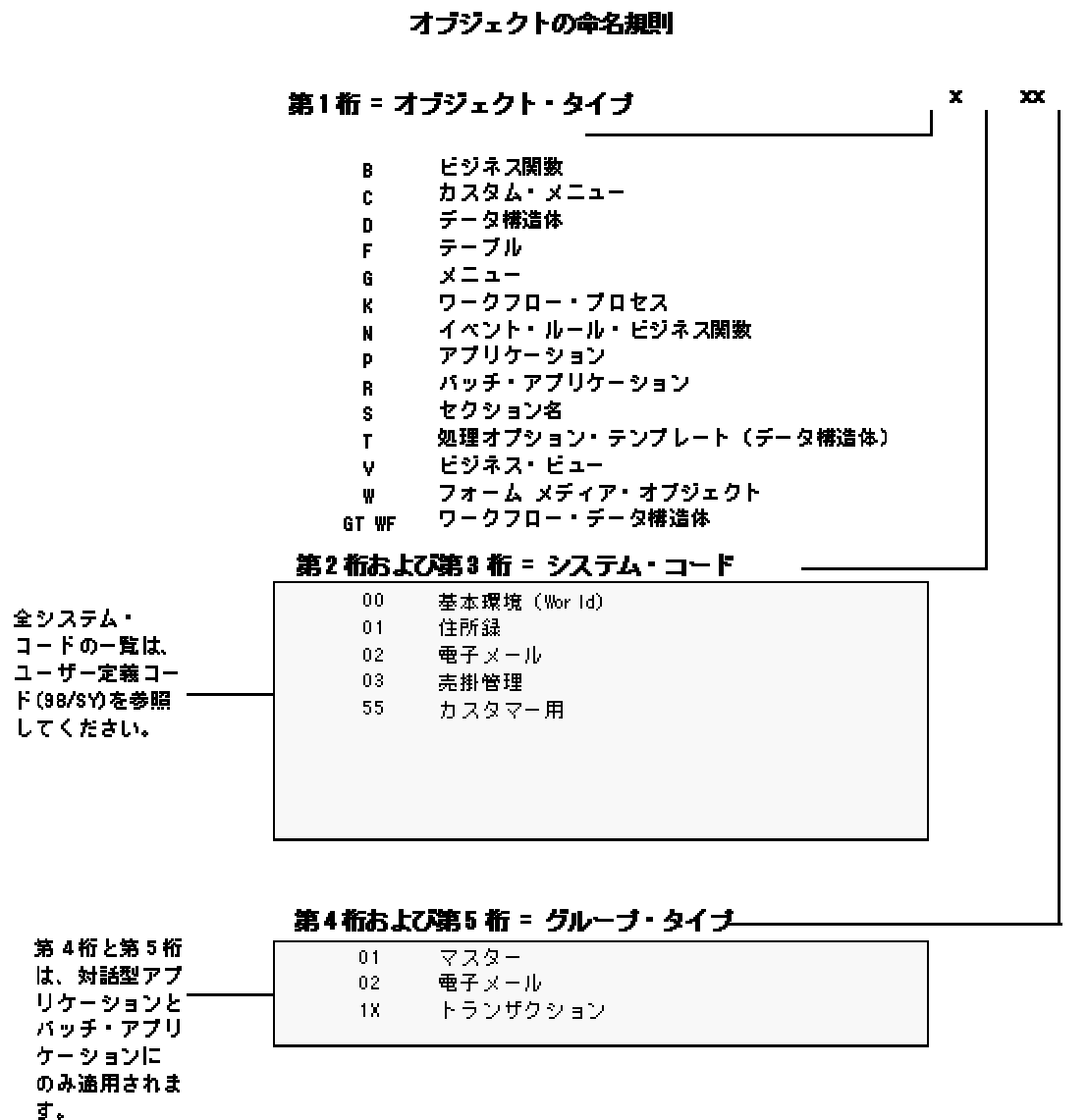
命名規則の理解

アプリケーションは複数のオブジェクトから構成されています。オブジェクト内で特性を定義することができます。たとえばテーブルを作成する際には、そのテーブルの複数のフィールドで構成されるキーを指定することができます。テーブルのインデックスを作成する際には、標準に従ってインデックスを命名します。

新しいオブジェクトを作成する際は、オブジェクトに名前を付けて説明を加えてください。命名規則を使用すると、作成する各オブジェクト・タイプの標準を使用できます。

オブジェクト命名規則

次の図は、オブジェクトに名前を付ける際のステップを示しています。



BとNは、ビジネス関数名を表します。これらの関数名には自動採番が使用されます。

Dは、ビジネス関数で使用するデータ構造体を表します。データ構造体には、ビジネス関数の場合と同じ命名規則が適用されます。テーブル変換には必ず R89*を使用してください。

システム・コード

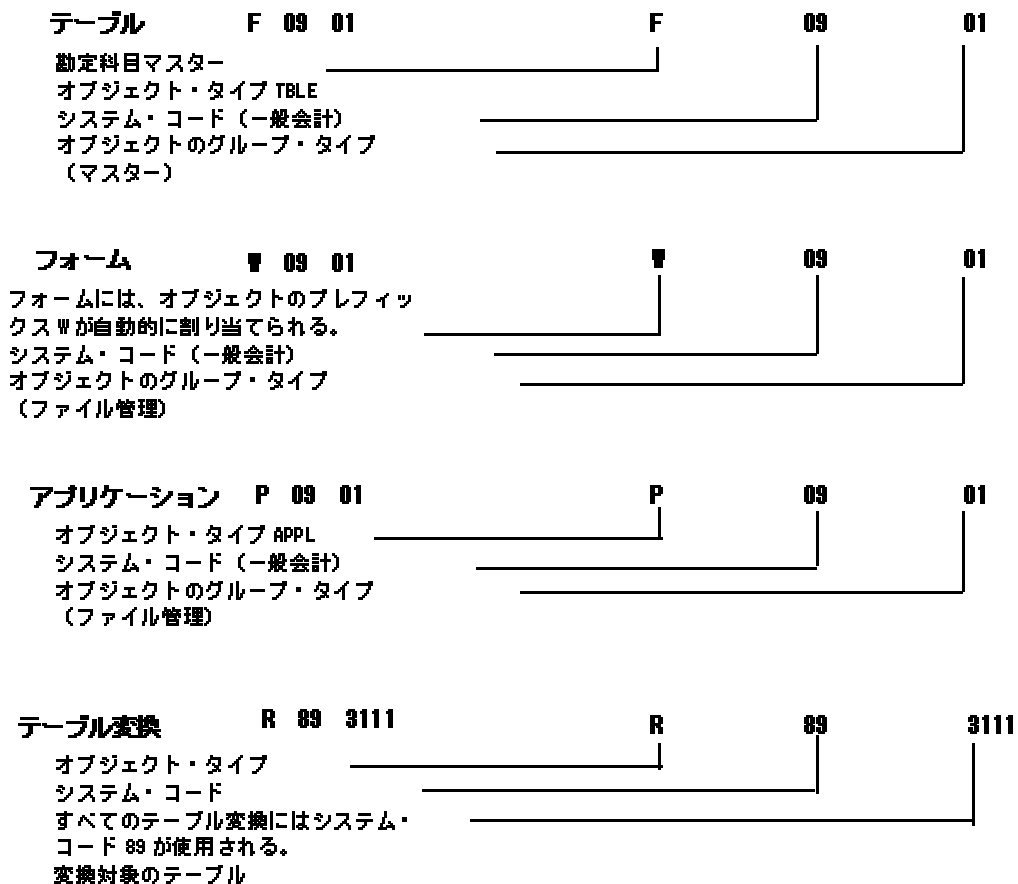
システム・コードはオブジェクト名に含まれています。システム・コードについては UDC テーブル (98/SY)を参照してください。

Custom Works を導入している場合は、システム・コード 60～69 を使用してください。

例: プログラムおよびファイル名

次の図は、テーブル、フォーム、およびアプリケーションの命名規則の例を示しています。

例: プログラムおよびファイル名



テキストおよびアプリケーション一時変更

このソフトウェアでは、異なる用語や言語を使用できるように、フォームやレポートのテキストを一時変更することができます。ただし、一時変更する場合は次の点に注意してください。

- データ辞書では、アプリケーション一時変更を使用してシステム全体のテキストを一時変更できますが、フォーム設計ツールやレポート設計ツールでテキストを再度一時変更する場合は、アプリケーション一時変更用語は表示されません。

- テキスト変数を使って、条件によって異なるテキストを表示することができます。ただしこの場合、表示するフォームやレポートで翻訳に十分なスペースがあるかどうかを判断するのが難しくなります。

データ辞書命名規則

データベースの整合性を確保し、データ項目が他のデータ項目で上書きされるのを防ぐために、データ辞書命名規則に従う必要があります。

参照

- 『開発ツール』ガイドの「データ項目の定義」

データ項目エイリアス

データ項目エイリアスは、5 文字以上の英字コードです。データ項目エイリアスは、ビジネス関数で使用する API (アプリケーション・プログラム・インターフェイス) など、データベース・ルーチンでの検索時や、テーブルを作成する際の〈Table Design Aid (テーブル設計ツール)〉での検索時に使用されます。エイリアスには作成するテーブルごとのプレフィックスが付けられ、それぞれのテーブルに固有のものとなります。たとえば、エイリアス ABMCU は、住所録アプリケーションで使用するデータ項目 MCU を示します。データ項目は、その名称や名称記述でも識別できます。

重要:

データ項目を追加した後は、その名称やエイリアスを変更できません。

エイリアスを割り当てる際には、次のことを確認してください。

- 文字 TIP または TERM で始まるエイリアスは使用しません。TIP で始まるエイリアスはワンポイント・ヒント用、TERM で始まるエイリアスは用語解説用に確保されています。
- ブランクおよび文字%、&、,、.、+は使用しません。ブランクやこれらの文字は、J.D. Edwards ソフトウェアのデータ項目エイリアスには使用できません。

外部データ辞書項目のエイリアス

外部データ辞書項目は、J.D. Edwards の外部の開発者により、J.D. Edwards ソフトウェアで使用するために作成されるものです。外部データ辞書項目を作成するときには、データ項目名の最初の文字に Y か Z を使用して、J.D. Edwards データ辞書項目と区別してください。

外部データ項目の場合、データ辞書エイリアスは 8 文字以内の英数字とし、次のフォーマットを使用します。

Ysssdddd

Y または Z = J.D. Edwards が割り当てる外部システム・コードの 1 桁目です。この文字は、外部データ辞書項目であることを示します。

sss = システム・コード番号。エンタープライズ・レベルの新規モジュール開発の場合は 55x~59x、J.D. Edwards カスタム開発の場合は 60x~69x です。

dddd = データ項目名です。

データ項目名

データ項目名は、データ項目を識別し、定義する 32 文字の英字フィールドです。このフィールドでは、翻訳を考慮して英文テキストの 30%程度の長さのスペースを設けてください。データ項目は、エイリアスや名称記述によっても識別できます。

データ項目名は、ビジネス関数、データ構造体およびイベント・ルールで使用される C 言語コードのデータ名 (たとえば、AddressNumber など) を形成します。

重要:

データ項目を追加した後は、その名称やエイリアスを変更できません。

空白および文字%、&、,、.、+は使用しません。空白やこれらの文字は、J.D. Edwards ソフトウェアのデータ項目エイリアスには使用できません。

外部データ辞書項目のデータ項目名

外部データ辞書項目を作成するときには、データ項目名の最初の文字に Y か Z を使用して、J.D. Edwards データ辞書項目と区別してください。

データ項目名には最大 32 文字の英数字を使用でき、次のフォーマットを使用します。

Yss

Y または Z = J.D. Edwards が割り当てる外部システム・コードの 1 桁目です。この文字は、外部データ辞書項目であることを示します。

sss = システム・コード番号。新規モジュールエンタープライズ・レベルの新規モジュール開発の場合は 55x~59x、J.D. Edwards カスタム開発の場合は 60x~69x です。

dddddddddddddddddddddddddddddd = データ項目名です。

データ項目記述

データ項目記述により、J.D. Edwards データ辞書で検索できるようにデータ項目が分類されます。新規データ項目の作成時には、そのタイプに応じて次の規則に従って記述を指定します。

住所番号 すべての住所番号 (従業員、得意先、所有者など) を Address Number で開始

金額 すべての単位、数量、および容量フィールドを Amount で開始

コード すべてのコード・フィールドを Code で開始

日付 すべての日付フィールドを Date で開始

要素 すべての要素フィールドを Factor で開始

名前	30 バイトの記述フィールドをすべて Name で開始
プロンプト	すべての Y/N プロンプト・フィールドを Prompt で開始
数量	すべての単位、数量、および容量フィールドを Units で開始

ロー記述

フォームとレポートのフィールド記述に表示される記述です。ロー記述は、翻訳後で最大 40 文字です。つまり、英語のテキストの場合は、翻訳時に 30%長くなることを見込む必要があります。略語の使用が必要な場合は、できるだけ承認済みの略語を使用してください。

カラム・タイトル

フォームとレポートのカラム見出しに表示される 1 行または 2 行の記述を指定できます。この記述は、データ項目サイズを超えないようにしてください。カラム見出しが 1 行で済む場合は、[Column Heading 1 (カラム見出し 1)] フィールドに記述を入力します。1 行の記述では明確にならない場合は、[Column Heading 2] フィールドを使用します。

カラム・タイトルの英語のテキストは、翻訳文字数が 30%長くなることを見込む必要があります。

データ辞書用語解説記述

データ項目名を指定した後に、用語解説記述を入力する必要があります。データ項目の用語解説記述を入力する際には、次のガイドラインが適用されます。

- G/L Date (データ辞書でのエイリアス GLD) のように、それぞれの単語の 1 文字目を大文字にします。
- 記述を翻訳する場合を考慮して、使用可能な文字スペースの 70%以上を使用しないようにします。これにより、翻訳時に最大 30%の余裕を持たせることができます。

注:

用語解説の入力は必須です。[Description] フィールドにはピリオドを単独で入力しないでください。

有効値リストのフォーマット

有効な値のリストには、次のガイドラインが適用されます。

次のことを確認してください。

- リストは [Valid values are: (有効な値は)] という語句で始めます。
- この語句の後に 1 行のブランクを入れて有効値リストを続けます。
- それぞれの値は 1 行に入力し、その記述を次の行に入力します。
- 各記述と次の値は 1 行のブランクで区切ります。
- リストでは項目をインデントしません。

- 値を引用符で囲みません。

次に、有効値リストの例を示します。

有効な値は次のとおりです。

N

勘定科目またはビジネスユニットは転記できません。

B

勘定科目には予算のみを入力できます。

S または L

すべての取引について補助元帳タイプを入力する必要があります。

- 有効な値の前に次のテキストを使用します。

有効な値は次のとおりです。

このテキストの後にハード改行を 1 つ入力し、続けて有効値のリストを入力します。

- 有効な値をリストする際には、値(数値またはテキスト)に続けてハード改行 1 つと値の記述を入力します。
- 有効な値として空白が頻繁に使用される場合は、リストの先頭に入力します。
- 有効な値は、関連 UDC テーブルと同じ順序でリストします。
- ハード改行を使用して有効値の間に空白行を挿入します。
- その値の影響を受ける処理または結果およびシステムがある場合は、それを記述します。情報がすべての値に適用される場合、または他の一般情報がある場合は、その情報を有効な値のリストの後に記述します。

箇条書きリストのフォーマット

箇条書きリストのブレットには、英小文字の o を使用します。o の前後にそれぞれスペースを 2 つずつ入力してください。リストの前と各リスト項目の間には、それぞれ 1 行の空白を挿入します。

例

勘定科目コードには次のいずれかのフォーマットを使用できます。

- o 標準勘定科目コード
- o 第 3 勘定科目コード

項番付きリストのフォーマット

項番付きリストでは、項番をインデントしないでください。それぞれの番号の後にピリオドとスペースを 1 つずつ入力します。リストの前と各リスト項目の間には、それぞれ 1 行の空白を挿入します。

例

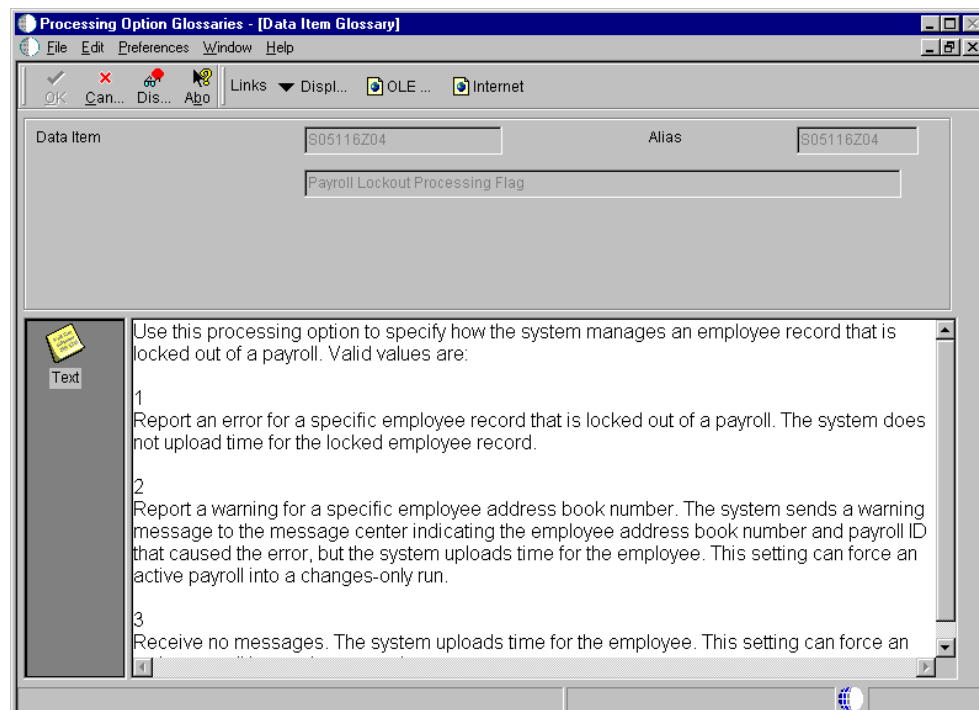
解決方法. . 次の手順を実行してください。

1. [Reverse/Void(逆仕訳/無効化)]フィールドに“V”を入力して取引を無効にしてから、バッチを再転記します。
2. 仕訳を再入力します。
3. 転記前に、[Reverse/Void]フィールドに“R”を入力して取引の逆仕訳を行います。
4. 再入力した仕訳バッチを転記します。

テーブル

現在、編集ツールには、テーブル用のフォーマット・オプションがありません。手作業のフォーマットを使用してテーブルを作成しないでください。

用語解説は次のようになります。



処理オプション・データ項目

処理オプションは、対話型アプリケーションとバッチ・アプリケーションで使用され、ユーザーはこのオプションによってアプリケーションの機能を指示するパラメータを入力できます。たとえば、処理オプションを使用して、フォーム上の特定のフィールドのデフォルト値を指定したり、情報をレポートに印刷するフォーマットを制御したり、フォームの情報の表示方法を変更したり、追加のロジックをアクティブ化することができます。ユーザーは、処理オプションに〈Processing Option Tab〈処理オプション・

タブ) フォームからアクセスします。このフォームには、1 つまたは複数の処理オプション・フィールドを含めることができます。

処理オプション・フィールドは、データ辞書で定義されています。これは、データ辞書項目のみでなく、データ項目ヘルプ一時変更(処理オプション用語解説)にも関連付ける必要があります。

処理オプションに使用する用語解説グループ

処理オプションにヘルプ・データ辞書項目を追加する際は、用語解説グループ H を使用します。

処理オプション・ヘルプ項目のデータ項目名

各アプリケーションまたはレポートの処理オプション・ヘルプ項目 (F1 データ項目テキスト) ごとに、エイリアスを個別に作成する必要があります。適用可能な場合は類似したテキストを共有することもできますが、処理オプションにはそれぞれ固有のエイリアスが必要です。処理オプション・ヘルプ項目の命名規則は、次のとおりです。

Syyyyyyzz

S = 処理オプション

yyyyyy = プログラム番号

zz = 連続番号

たとえばレポート R12855 の場合、最初の処理オプション・データ項目は S1285501 となります。

処理オプションの用語解説記述

処理オプション・データ項目名を指定した後に、用語解説記述を入力する必要があります。処理オプション・データ項目の用語解説記述を入力する際には、次のガイドラインが適用されます。

- データ項目記述フィールドには、〈Processing Option Tab〉フォームの処理オプション・タイトルと同じテキストを使用します。
- G/L Date (データ辞書でのエイリアス GLD) のように、それぞれの単語の 1 文字目を大文字にします。
- 記述を翻訳する場合を考慮して、使用可能な文字スペースの 70% 以上を使用しないようにします。これにより、翻訳時に最大 30% の余裕を持たせることができます。
- 処理オプション・データ項目を使用するタブ上で、処理オプションに番号を付ける必要がありますが、データ辞書の記述ではその番号で処理オプションを参照しないでください。

注:

用語解説の入力は必須です。[Description] フィールドにはピリオドを単独で入力しないでください。『開発スタンダード: アプリケーション設計』ガイドの「処理オプション用語解説記述」を参照してください。

有効値リストのフォーマット

有効な値のリストには、次のガイドラインが適用されます。

次のことを確認してください。

- リストは[Valid values are:]という語句で始めます。
- この語句の後に 1 行のブランクを入れて有効値リストを続けます。
- それぞれの値は 1 行に入力し、その記述を次の行に入力します。
- 各記述と次の値は 1 行のブランクで区切ります。
- リストでは項目をインデントしません。
- 値を引用符で囲みません。

次に、有効値リストの例を示します。

有効な値は次のとおりです。

N

勘定科目またはビジネスユニットは転記できません。

B

勘定科目には予算のみを入力できます。

S または L

すべての取引について補助元帳タイプを入力する必要があります。

- 有効な値の前に次のテキストを使用します。

有効な値は次のとおりです。

このテキストの後にハード改行を 1 つ入力し、続けて有効値のリストを入力します。

- 有効な値をリストする際には、値(数値またはテキスト)に続けてハード改行 1 つと値の記述を入力します。
- 有効な値としてブランクが頻繁に使用される場合は、リストの先頭に入力します。
- 有効な値は、関連 UDC テーブルと同じ順序でリストします。
- ハード改行を使用して有効値の間にブランク行を挿入します。
- その値の影響を受ける処理または結果およびシステムがある場合は、それを記述します。情報がすべての値に適用される場合、または他の一般情報がある場合は、その情報を有効な値のリストの後に記述します。

箇条書きリストのフォーマット

箇条書きリストのブレットには、英小文字の o を使用します。o の前後にそれぞれスペースを 2 つずつ入力してください。リストの前と各リスト項目の間には、それぞれ 1 行のブランクを挿入します。

例

勘定科目コードには次のいずれかのフォーマットを使用できます。

- 標準勘定科目コード
- 第3勘定科目コード

項番付きリストのフォーマット

項番付きリストでは、項番をインデントしないでください。それぞれの番号の後にピリオドとスペースを1つずつ入力します。リストの前と各リスト項目の間には、それぞれ1行のブランクを挿入します。

例

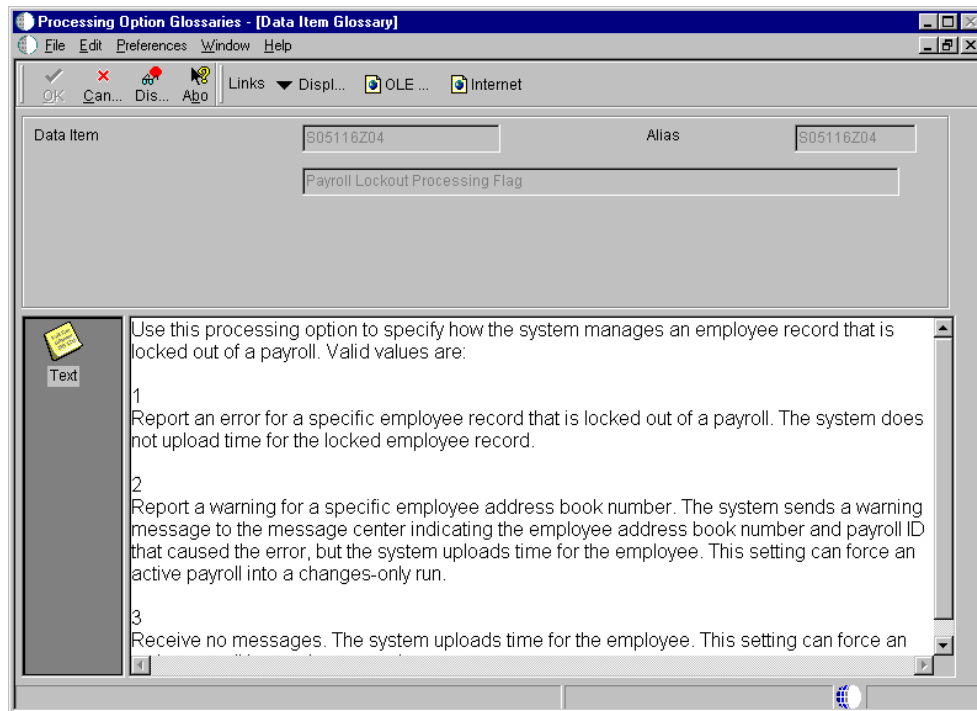
解決方法... 次の手順を実行してください。

1. [Reverse/Void]フィールドに“V”を入力して取引を取り消してから、バッチを再転記します。
2. 仕訳を再入力します。
3. 転記前に、[Reverse/Void]フィールドに“R”を入力して取引の逆仕訳を行います。
4. 再入力した仕訳バッチを転記します。

テーブル

現在、編集ツールには、テーブル用のフォーマット・オプションがありません。手作業のフォーマットを使用してテーブルを作成しないでください。

用語解説は次のようになります。



参照

- 『開発ツール』ガイドの「処理オプション」
- 『開発ツール』ガイドの「処理オプション・データ構造体の作成」

ワークフロー・メッセージ・データ項目

ワークフロー・メッセージまたは送信メッセージの名前を付ける際には、次のフォーマットに従ってください。LMxxxx

LM = ワークフロー・メッセージまたは送信メッセージ

xxxx = 任意の 4 桁の番号

システム・コード 5000～9999 は、顧客用に予約されています。

エラー・メッセージ・データ項目

エラー・メッセージの作成時には、エイリアスとデータ項目名を確定する必要があります。

注:

エラー・メッセージ 5000～9999 は、顧客用に予約されています。

エラー・メッセージの用語解説には、CAUSE(原因)と RESOLUTION(解決方法)という見出しを使用するようにしてください。翻訳作業でメモリ・ツールを利用する場合があるため、すべてのエラー・メッセージについて用語解説の一貫性を維持する必要があります。

記述名

記述名の作成には、次のガイドラインが適用されます。

- 記述は、できるだけ略語を使用せずに 30 文字以内に制限します。30 文字を超える場合も、できるだけ簡潔にしてください。
- 長い名詞文字列(3 語以上)は使用しないでください。
- 通常の文と同じように大文字を使用します。つまり、最初の単語の 1 文字目と、固有名詞または一般名詞の 1 文字目のみを大文字にします。

用語解説

用語解説の作成には、次のガイドラインが適用されます。

フォーマット

全記述に次のフォーマットが適用されます。

原因 原因の説明 . .

解決方法 . . 問題の解決方法の説明 . .

例

原因 入力された税率が 100%を超えています。

解決方法 . . 100%以下の税率を入力してください。

次のガイドラインに従ってください。

- 説明の見出しとなる「原因」と「解決方法」には、通常の文と同じように大文字を使用します。
- 「原因」および「解決方法」に続くコロンとそれぞれの説明の間に、スペースを 1 つだけ入力します。

- 原因には問題の原因、解決方法には問題の解決方法を記述する必要があります。次の例には、原因を示す明確な文も、解決策を示す明確な文も含まれていません。

原因 ログ・ファイルを削除しようとしています。

解決方法 . . ログ・ファイルを削除しようとしていることを確認してください。

- 原因に解決方法が含まれていたり、解決方法に原因が含まれている場合、または同じ事柄を異なる表現で述べている場合は、一方または両方をリライトする必要があります。次の例では、解決方法にも原因が記述されています。

原因 入荷確認が検収状況になっていません。

解決方法 . . 検収状況になっていない入荷確認は選択できません。

- 原因および解決方法というフォーマットでは必要な情報を明確に伝達しきれないと思われる場合は、次の例のように全記述に 1 つまたは複数の文を使用します。

伝票タイプが AE の仕訳を無効にすることはできません。

メッセージ語句の重複を避ける

フォームの記述名および全記述に最初に表示されるプロンプトは、繰り返さないようにします。たとえば、次の記述名と全記述には、「警告」という語は不要です。

警告 - 無効なテスト結果値

原因 警告 - 入力されたテスト結果値は、テストの最小値および最大値の範囲内にありません。

有効値リストのフォーマット

有効な値のリストには、次のガイドラインが適用されます。

次のことを確認してください。

- 「Valid values are: (有効な値は次のとおりです。)」という文章で始めます。
- この語句の後に 1 行のブランクを入れて有効な値を入力します。
- それぞれの値は 1 行に入力し、その記述を次の行に入力します。
- 各記述と次の値は 1 行のブランクで区切ります。
- リストでは項目をインデントしません。
- 値を引用符で囲みません。

次に、有効値リストの例を示します。

有効な値は次のとおりです。

N

勘定科目またはビジネスユニットは転記できません。

B

勘定科目には予算のみを入力できます。

S または L

すべての取引について補助元帳タイプを入力する必要があります。

- 有効な値の前に次のテキストを使用します。

有効な値は次のとおりです。

このテキストの後にハード改行を 1 つ入力し、続けて有効値のリストを入力します。

- 有効な値をリストする際には、値(数値またはテキスト)に続けてハード改行 1 つと値の記述を入力します。
- 有効な値として空白が頻繁に使用される場合は、リストの先頭に入力します。
- 有効な値は、関連 UDC テーブルと同じ順序でリストします。
- ハード改行を使用して有効値の間に空白行を挿入します。
- その値の影響を受ける処理または結果およびシステムがある場合は、それを記述します。情報がすべての値に適用される場合、または他の一般情報がある場合は、その情報を有効な値のリストの後に記述します。

箇条書きリストのフォーマット

箇条書きリストのプレットには、英小文字の o を使用します。o の前後にそれぞれスペースを 2 つずつ入力してください。リストの前と各リスト項目の間には、それぞれ 1 行の空白を挿入します。

例

勘定科目コードには次のいずれかのフォーマットを使用できます。

- o 標準勘定科目コード
- o 第 3 勘定科目コード

項番付きリストのフォーマット

項番付きリストでは、項番をインデントしないでください。それぞれの番号の後にピリオドとスペースを 1 つずつ入力します。リストの前と各リスト項目の間には、それぞれ 1 行の空白を挿入します。

例

解決方法 . . 次の手順を実行してください。

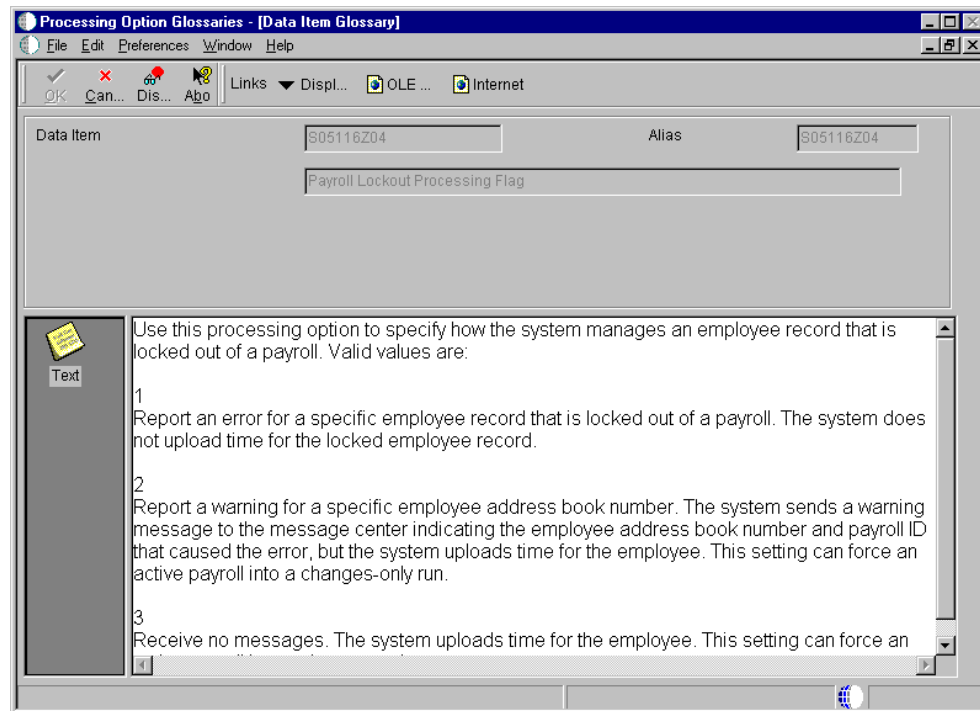
1. [Reverse/Void]フィールドに“V”を入力して取引を無効にしてから、バッチを再転記します。
2. 仕訳を再入力します。
3. 転記前に、[Reverse/Void]フィールドに“R”を入力して取引の逆仕訳を行います。

4. 再入力した仕訳バッチを転記します。

テーブル

現在、編集ツールには、テーブル用のフォーマット・オプションがありません。手作業のフォーマットを使用してテーブルを作成しないでください。

用語解説は次のようになります。



テーブル I/O データ項目

テーブル I/O では、テーブルのデータ項目は、テーブル・レコードを操作するためのハンドルとして使用されます。データ項目は、そのテーブルに固有のものとして作成されます。データ項目名には、最大 8 文字まで使用でき、HFxxxxxx というフォーマットにします。

HF = テーブル I/O データ項目

xxxxxx = テーブル名で使用されているシステム・コードとグループ・タイプ

たとえば、受注明細テーブル(F4211)のテーブル I/O データ項目名は HF4211 になります。

オブジェクト命名規則

オブジェクト命名規則は、アプリケーションで使用されるオブジェクト・ファイル名を識別するための方式です。対話型アプリケーション、バッチ・アプリケーション、またはレポートは、テーブル、ビジネス・ビュー、フォーム、およびイベント・ルールなど、複数のオブジェクトから構成されます。対話型アプリケーション、バッチ・アプリケーションまたはレポートの作成を開始する前に、そのアプリケーションに必要なオブジェクトを追加する必要があります。

テーブル

テーブルのオブジェクト管理ワークベンチ名は、最大 8 文字までとし、Fxxxxyyy フォーマットを使用することをお勧めします。

F = データ・テーブル。

xx(第 2 桁と第 3 桁) = 次のようなシステム・コード。

00 - OneWorld ファンデーション環境

01 - 住所録

03 - 売掛管理

xx(第 4 桁と第 5 桁) = 次のようなグループ・タイプ。

01 - マスター

02 - 残高

1X - トランザクション

yyy(第 6 桁から第 8 桁まで) = オブジェクト・バージョン。たとえば、同じような機能を実行しても特定の処理でわずかに異なる次のようなプログラムなど。

JA～JZ - テーブル結合

テーブルの内容を 60 文字以内で記述します。

テーブル記述はテーブルのトピックです。テーブルが AS/400 で作成されたものである場合は、住所録マスター(F0101)や品目マスター(F4101)など、それが表わすファイル名と同じ名前にします。

ただし、ワークテーブルの場合は、記述に「ワークテーブル」という名称を含め、システム・コードの後に「UI」を挿入してください。たとえば、組織構造レポート・ワークテーブル(F10UI005)となります。

また、Z テーブルに関する考慮事項があります。Z テーブルは、バッチ処理のみでなく、他のシステムからデータをインポートする際にも使用されます。Z テーブルの命名時には、文字 Z を 6 桁目に使用してください。たとえば、住所録アップロード・テーブル(F0101Z1)となります。

データ項目プレフィックス

J.D. Edwards テーブルでは、テーブルのカラムがそれぞれデータ項目を表します。〈Table Design Aid〉では、各カラム、つまりデータ項目にテーブル・カラム・プレフィックスが割り当てられます。ソフトウェアではカラム名がテーブル名で修飾されるため、テーブルに割り当てるカラム・プレフィックスは固有でなくてもかまいません。たとえば、住所録マスター(F0101)のカラム・プレフィックスは AB で、AN8(住所番号)はこのテーブルのデータ項目 AB です。システムでは、AN8 が F0101_ABAN8 として参照されます。もう 1 つのテーブル F740101 でも AN8 および同じプレフィックス AB が使用されている場合、システムではそのカラムも固有になるように F740101_ABAN8 として参照されます。

テーブルの追加

新規テーブルを追加する前に、アプリケーションに必要なデータ項目を含んでいる既存のテーブルの有無を確認してください。既存のテーブルがない場合は、新規テーブルを追加する必要があります。

新規テーブルを追加する際には、次の監査証跡カラムを含める必要があります。

- User ID(ユーザーID)(USER)
- Program ID(プログラム ID)(PID)
- Machine Key(マシン・キー)(MKEY)
- Date Updated(更新日付)(UPMJ)
- Time of Day(時刻)(UPMT)

インデックス

インデックスにフィールドが 1 つしかない場合は、住所番号のように、そのフィールドをインデックス名として使用します。

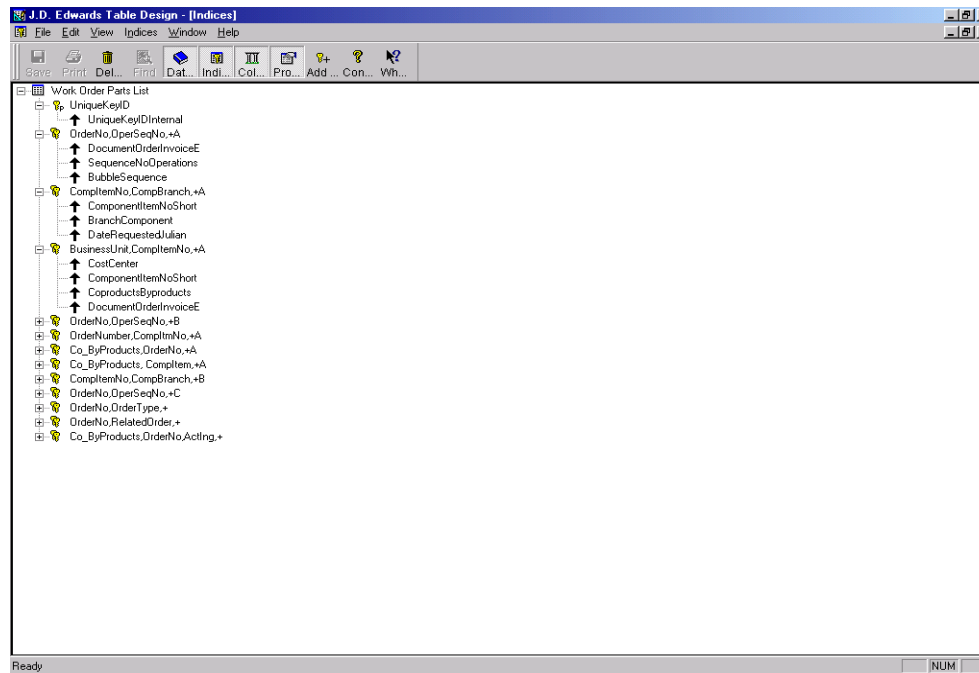
インデックスが 2 つのフィールドで構成される場合は、Address Number, Line Number ID のように順番にリストします。

インデックスが 3 つ以上のフィールドで構成され、最初の 2 つのフィールドが他のインデックスの最初の 2 つのフィールドと同一の場合は、最初の 2 つのフィールドの後に英文字 A を付けます。たとえば、Address Number, Line Number, A, となります。それ以外の場合は、2 つのフィールドに続けて + を指定します。たとえば、Item Number, Branch, + となります。

各インデックス・フィールドの間、および最後のインデックス・フィールドとプラス記号の間は、カンマとスペース(,)で区切ります。インデックスのフィールド数は 10 以下にしてください。

インデックスが 2 つ以上のフィールドを持つ場合のインデックス名の合計長は 19 文字以下です。20 文字以上にすると、[Re-definition is not identical…(再定義が一致しません…)]という警告メッセージが表示されます。これはフェッチに影響し、ビジネス関数で間違ったインデックス ID が使用されます。

次の例に、作業オーダー部品リスト・テーブル(F3111)に対して定義されている複数のインデックスを示します。



テーブルに関する外部開発者の考慮事項

外部開発とは、弊社の開発者以外の人々が特定の顧客向けにカスタム・アプリケーションを作成するプロセスです。テーブルの命名時には、出荷時から製品に含まれているオブジェクトとそれ以外のオブジェクトを区別できるように注意する必要があります。新規テーブルの作成時には、次のフォーマットを使用してください。Fxxxxyyy

F = データ・テーブル

xxxx = 企業に適用可能なシステム・コード

yyy = 企業内で固有の自動採番または文字パターン

参照

- 『開発ツール』ガイドの「インデックスの定義」
- 『開発ツール』ガイドの「テーブルの追加」

ビジネス・ビュー

ビジネス・ビューのオブジェクト管理ワークベンチ(OMW)名は最大 10 文字までとし、次のフォーマットを使用します。VzzzzzzzzA

V = ビジネス・ビュー。

zzzzzzzz = 基本テーブルの文字。

A = ビューを指定する文字。たとえば、V0101A は住所録マスター(F0101)の最初のビューを表し、V0101B は同じテーブルの 2 番目のビューを表します。

ビジネス・ビューを表わす記述を 60 文字以内で指定します。記述では、〈Item Master Browse (品目マスターのブラウズ)〉や〈Item Master Revisions〉など、アプリケーション記述にフォームのタイプがわかるようにします。

プライマリ・ユニーク・キー・フィールドはビジネス・ビューでも使用します。このフィールドは再編成しないでください。

注:

各テーブルには、すべてのカラムを含むビジネス・ビューが 1 つだけが必要です。このビジネス・ビューは、テーブルに基づくすべてのレポートのレベル 01 セクションで使用します。

また、見出し/詳細フォームを除き、フォーム・タイプごとに使用できるビジネス・ビューは 1 つのみです。見出し/詳細フォームの場合は、2 つのビジネス・ビューを選択できます。一方はフォームの見出し部分、他方は詳細部分に使用されます。

結合ビュー

結合ビューの名前には、結合する 2 つのテーブルの名前をスラッシュで区切って指定します。先にプライマリ・テーブル名を指定する必要があります。

たとえば、住所録マスター(F4101)と事業所品目テーブル(F4102)の結合ビューで、F4101 がプライマリ・テーブルの場合は、結合ビュー名として F4101/F4102 を使用します。

ビジネス・ビューに関する外部開発者の考慮事項

外部開発とは、弊社の開発者以外の人々が特定の顧客向けにカスタム・アプリケーションを作成するプロセスです。ビジネス・ビューの命名時には、出荷時から製品に含まれているオブジェクトとそれ以外のオブジェクトを区別できるように注意する必要があります。標準テーブルに対する新規ビジネス・ビューを作成する場合は、次のフォーマットを使用します。Vssss9999

V = ビジネス・ビュー

ssss = 企業用のシステム・コード

9999 = 企業内で固有の自動採番または文字パターン

参照

- 『開発ツール』ガイドの「ビジネス・ビューの追加」

処理オプション

処理オプションには、次の 4 つの要素が含まれます。

- 処理オプション・データ構造体
- タブ・タイトル
- データ項目およびオプション・タイトル

処理オプション・データ構造体

処理オプション・データ構造体の OMW 名は、最大 10 文字とし、次のフォーマットを使用します。

Txxxxxyyyy

T = 処理オプション・データ構造体

xxxxxyyyy = アプリケーションやレポートのプログラム番号

たとえば、アプリケーション P0101 の処理オプション・データ構造体名は T0101 になります。

処理オプションのタブ

処理オプションのタブを作成する際には、タブ名と属性を指定する必要があります。タブ・タイトルを定義する際には、次のガイドラインが適用されます。

- タブ・タイトルには略語を使用しません。
- 重複するタブ・タイトルは使用しません。タブには、必要な数だけ処理オプションを含めることができます。たとえば、[Display(表示)]というタブを作成し、そこに表示関連の処理オプションをすべてリストすることができます。[Display 1]、[Display 2]などを作成しないでください。
- 各タブにはタブ・トピック ID を割り当てます。タブ・トピック ID は、タブ・ヘルプの取込みに使用されます。
- 将来使用予定の処理オプションには、「Future(将来使用予定)」という語を付けて現在は使用可能でないことを示します。タブ全体が使用できない場合は、タブの詳細記述に“Future”と入力します。1 つの処理オプションが使用できない場合は、データ項目記述に“Future”と入力します。
- できるだけ標準タブ・タイトルを使用して、処理オプションをグループ化します。次の表に、標準タブ・タイトルについて推奨する順序、詳細記述、および各標準タブ・タイトルの目的を示します。

タブ・タイトル	詳細記述	目的
Defaults(デフォルト)	デフォルト値	フィールドにデフォルト値を割り当てます。
Display(表示)	表示オプション	フィールドをフォームに表示するかどうか、または入力時のフォームの表示フォーマットを決定します。
Edits(編集)	データ編集	情報がシステムで検証されるかどうかを指定します。

Process(プロセス)	プロセス制御	アプリケーションのプロセス・フローを制御します。
Currency(通貨)	通貨オプション	通貨に固有の処理オプションが含まれます。
Categories(カテゴリ)	カテゴリ・コード	デフォルトのカテゴリ・コードを指定します。
Print(印刷)	印刷オプション	レポートの出力を制御します。
Versions(バージョン)	実行するバージョン	このアプリケーションから呼び出すアプリケーションのバージョン情報が含まれます。
Taxes(税)	税金処理	税に固有の処理オプションが含まれます。
Interoperability(インタオペラビリティ)	インタオペラビリティ	インタオペラビリティに固有の処理オプションが含まれます。

処理オプションのデータ項目およびオプション・タイトル

〈Processing Option Design Aid(処理オプション設計ツール)〉では、処理オプション・タブに追加するデータ項目を指定します。データ項目 EV01、OneWorld Event Point の場合と同様に、フィールド名をより適切な名前に変更することが必要となる場合があります。ほとんどの処理オプションは単一のフィールドで構成されますが、複数のフィールドを使用することも可能です。

処理オプション・テンプレートに処理オプション・データ項目を追加する際には、次のガイドラインが適用されます。

- 処理オプション・フィールドを、目的別、機能別にグループ化します。
- 通常、処理オプション・フィールドのタイトルにはデータ項目記述を使用します。ただし、例外があります。次に例を示します。
 - 処理オプション・フィールドを将来使用するために確保しておく場合は、フィールド名の横にテキスト(Future)を追加します。
 - 処理オプション・フィールドが必須フィールドの場合は、フィールド名の横にテキスト(Required)を追加します。
- 必要に応じて、データ項目の名前を説明調に変更します。たとえば、一般にフラグとして使用される EV01 – OneWorld Event Point という名前を、処理オプションの機能を示すように変更します。
- 処理オプション・データ項目には、Syyyyzz フォーマットを使用して、該当するヘルプー時変更データ項目を割り当てます。たとえば、P0801 の最初の 3 つの処理オプションは、S080101、S080102、および S080103 となります。S は必ず英大文字にします。
- データ項目要素名を変更する場合は、イベント・ルール変数の命名標準に従い、エイリアスを付けます。たとえば、szCategoryCode3_CT03 とします。
- G/L Date(データ辞書でのエイリアス GLD)のように、それぞれの単語の 1 文字目を大文字にします。
- 処理オプション・データ項目を使用するタブでは、処理オプションに番号を付ける必要がありますが、データ辞書のデータ項目記述ではその番号で処理オプションを参照しないでください。各タブ・フォームでは、フィールド名を番号 1 で始めます。たとえば、プログラムに 5 つのタブがある場合は、番号 1 で始まる処理オプションが 5 つあることになります。

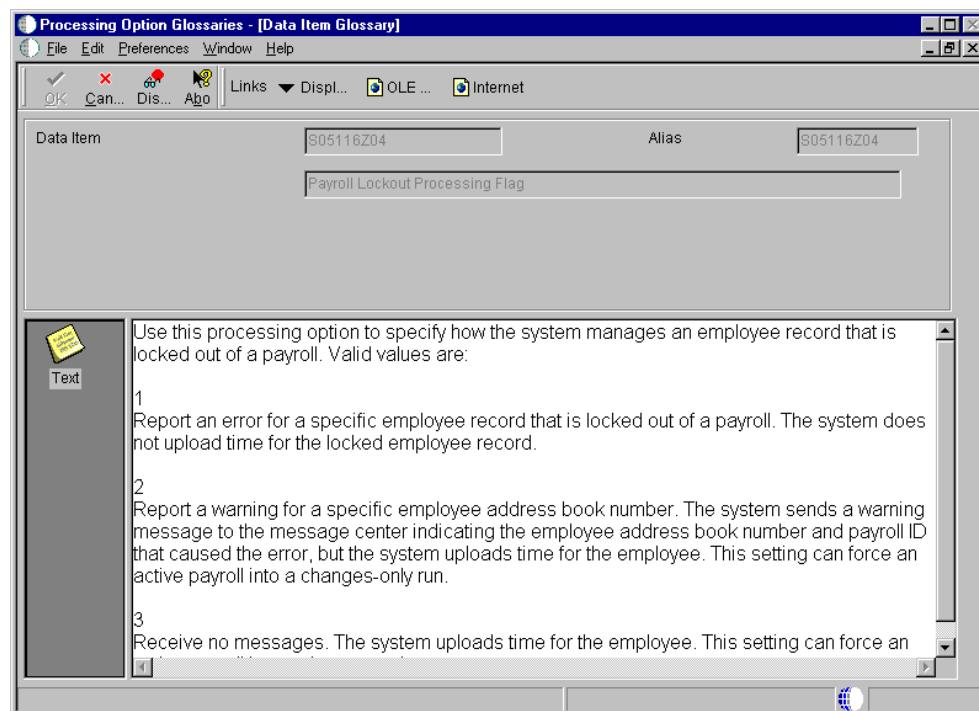
- フィールド名には、数字、ピリオド、2 つのスペース、およびタイトルを含めます。たとえば、次のようになります。

1. G/L Date(元帳日付)

処理オプションの有効な値とテキスト

有効な値のリストがソフトウェア上と印刷文書の両方に表示されるように、有効な値をデータ項目テキストとタブ・フォームの両方に組み込みます。有効な値は、使用経験の少ないユーザーに詳細を説明するフィールド・ヘルプのベースとなります。タブでは、経験豊富なユーザーを対象として簡潔な説明を表示するため、有効な値は短くする必要があります。

次に、処理オプションに有効な値を示す方法の例を示します。



テンプレートに処理オプションの値とデータ項目テキストを追加する際には、次のガイドラインが適用されます。

- 有効な値は、処理オプション・タイトルの下で左揃えにします。これは、翻訳後にテキストの文字数が増えて長くなり、折り返される傾向があるためです。折返しのあるテキストには、タブのインデントが適用されません。
- 有効な値のリストは、シングル・スペースを使用します。処理オプション・タイトルと有効な値のリストの間には、ダブル・スペースを 2 つ挿入します。
- 有効な値は、代替データ辞書項目およびユーザー定義コード(UDC)テーブルと同じ順序でリストします。
- 有効な値として空白が使用される場合は、それを先頭にリストします。
- 有効な値に続けて簡潔な記述を入力します。この記述は、データ辞書用語解説よりも少なくします。PO GUI には、コンテキスト情報を含めません。処理オプションの概念に関する情報は、

ヘルプ一時変更データ項目の用語解説に入れます。値をリストし、それに続けてスペース 1 個、等号 1 個、スペース 1 個、簡潔な記述を入力します。たとえば、次のようになります。

2. 請求書の印刷日付

ブランク = 現在日付

1 = 元帳日付

2 = 請求書日付

処理オプション用語解説

各処理オプション・フィールドは、基本的な用語解説情報を使用してデータ辞書で定義されます。ただし、処理オプション用語解説はこれとは異なります。処理オプション用語解説は、処理オプション・フィールドに関連付ける必要のある代替データ項目（ヘルプ一時変更 ID）として定義されます。処理オプション用語解説は、使用経験の少ないユーザーが知っておく必要のある追加情報を提供します。処理オプション・フィールドごとに、個別の代替データ項目が必要です。

用語解説グループ

ヘルプ・データ辞書項目を追加する際は、用語解説グループ H を使用します。

処理オプション・ヘルプ項目のデータ項目名

各アプリケーションまたはレポートの処理オプション・ヘルプ項目（F1 データ項目テキスト）ごとに、エイリアスを個別に作成する必要があります。適用可能な場合は類似したテキストを共有することもできますが、処理オプションにはそれぞれ固有のエイリアスが必要です。処理オプションの名前には、次のフォーマットを使用します。Syyyyzz

S = 処理オプション

yyyy = プログラム番号

zz = 連続番号

たとえばレポート R12855 の場合、最初の処理オプション・データ項目は S1285501 となります。

処理用語解説記述

処理オプション・データ項目名を指定した後に、用語解説記述を入力する必要があります。処理オプション・データ項目の用語解説記述を入力する際には、次のガイドラインが適用されます。

- データ項目記述フィールドには、〈Processing Option Tab〉フォームの処理オプション・タイトルと同じテキストを使用します。
- G/L Date（データ辞書でのエイリアス GLD）のように、それぞれの単語の 1 文字目を大文字にします。
- 記述を翻訳する場合を考慮して、使用可能な文字スペースの 70%以上を使用しないようにします。これにより、翻訳時に最大 30%の余裕を持たせることができます。
- 処理オプション・データ項目を使用するタブでは、処理オプションに番号を付ける必要がありますが、データ辞書の記述ではその番号で処理オプションを参照しないでください。

処理オプション用語解説の記述

処理オプション・データ項目の用語解説を記述する際には、次のガイドラインが適用されます。

- 用語解説は次のテキストで始めます。
この処理オプションを使用して...
- 受動態ではなく能動態を使用します。たとえば、次のようになります。
受動態: 現在の日付が使用されます。

能動態: システムは現在の日付を使用します。
- 意味が不明確になる場合を除き、処理オプション・フィールドには引用符を使用しません。
たとえば、次のような語句には引用符を使用することができます。
"As of" Date (基準日)

有効な値と処理オプション用語解説

タブ・フォームのオプション・タイトル・テキストとオプション用語解説の両方に、有効な値をリストします。

- 有効な値の前に次のテキストを使用します。
有効な値は次のとおりです。

その後ハード改行を挿入し、有効な値のリストを続けます。
- 有効な値をリストする際には、値(数値またはテキスト)に続けてハード改行 1 つと値の記述を入力します。
- 有効な値としてブランクが頻繁に使用される場合は、リストの先頭に入力します。
- 有効な値は、関連 UDC テーブルと同じ順序でリストします。
- ハード改行を使用して有効な値の間にブランク行を挿入します。
- その値の影響を受ける処理や結果、システムなどがある場合、それを記述します。情報がすべての値に適用される場合、または他の一般情報がある場合は、その情報を有効な値のリストの後に記述します。

参照

- 『開発ツール』ガイドの「処理オプション」
- 『開発ツール』ガイドの「処理オプション・データ構造体の作成」

バージョン

バージョンの目的を示すには、60 字以内で説明を加えてください。説明では、そのバージョンの処理オプションの設定を参照してレポートが実行する内容を説明します。

注:

XJDE バージョンは、デモに使用し、通常はバッチ・アプリケーションです。

メニューから呼び出すと、バッチ・アプリケーションにバージョン・リストが表示され、ここで本稼動用のバージョンを作成することができます。

XJDE バージョンは J.D. Edwards が所有しているため、インストール時に上書きされる可能性があります。

ZJDE バージョンはデフォルトとして使用され、通常、別のアプリケーションから呼び出される対話型アプリケーションまたはバージョンです。これらのバージョンは通常、メニューに添付されています。顧客はこれらのバージョンを設定できます。

メニューをダブルクリックすると、あらかじめ定義された処理オプションの値に基づいて、処理オプションが表示されずに対話型アプリケーションが起動します。

B73.3 より前のリリースでは、ZJDE バージョンは J.D. Edwards により所有されています。B73.3 以降では、ZJDE バージョンは顧客が所有するため、インストール時に上書きされることはありません。

インストールを行うと、既存のバージョンがマスター・バージョンで置き換えられます。

参照

- 『エンタープライズ・レポート・ライティング』ガイドの「バッチ・バージョンの作成」

対話型アプリケーション

アプリケーションのオブジェクト管理ワークベンチ(OMW)名は、最大 8 文字とします。ソフトウェアでは最大 10 文字まで使用できますが、8 文字を超える入力切り捨てられます。名前には Pxxxxyyy フォーマットを使用します。

P = アプリケーション

xxxx = システム・コード

yyy = 001 や 002 など、次の番号

記述は最大 60 文字までとします。記述は、アプリケーションのフォームの内容を反映するものにします。

フォームの命名規則

〈Forms Design Aid〉では、WzzzzzzzzA フォーマットを使用してフォーム名が自動的に割り当てられます。

W = フォーム。

zzzzzzzz = アプリケーション名。

A = アプリケーションで最初に作成されるフォーム。通常は、アプリケーションへのエントリ・ポイントとなるフォームですが、そうでない場合もあります。2 番目のフォームには B、3 番目のフォームには C というように、後続のフォームには英字を順に割り当てます。

たとえば、アプリケーション P01012 には 2 つのフォームがあります。最初のフォーム〈Work With Addresses〉には、W01012A という名前が割り当てられます。2 番目のフォーム〈Address Book Revisions(住所録の改訂)〉には、W01012B という名前が割り当てられます。

フォーム・タイプに基づいてフォーム記述を入力してください。次に例を示します。

検索/表示

Work With に続けてアプリケーションの件名を入力します。たとえば、
〈*Work With Companies*(会社の処理)〉、〈*Work With Constants* (固定情報の処理)〉などとなります。

修正/検査、見出し詳細/見出しなし詳細

フォームのトピックを反映するタイトルを使用します。たとえば、〈*Supplier Information*(仕入先情報)〉、〈*Item Master Revisions*〉、〈*Purchase Order Entry*(購買オーダー入力)〉などとなります。

下位レベルのウィンドウ

ウィンドウのトピックを反映させたタイトルに、呼出し元フォームのタイトルを追加します。たとえば、〈(伝票入力 - 勘定科目 貞応)〉などとなります。ウィンドウ・タイトルに動詞が含まれる場合は、名詞形にせずに、〈*Work With Vouchers*(伝票の処理)〉のように動詞を使用します。

フォーム・インターコネクト・データ構造体

フォーム・インターコネクト・データ構造体は、J.D. Edwards ツール・セットにより、ビジネス・ビューのキー・フィールドを使用して自動的に作成されます。

データ項目名と記述を変更し、フォーム間で渡される項目を記述する必要があります。

メッセージ・フォームにはデータ構造体がないため、少なくとも 1 つはデータ構造体を追加する必要があります。

参照

- 『開発ツール』ガイドの「対話型アプリケーションの追加」
- 『開発ツール』ガイドの「フォームの作成」

バッチ・アプリケーション

オブジェクト命名規則により、一貫性を維持し、バッチ・アプリケーションを検索しやすくします。バッチ・アプリケーション名は、8 文字以内で、Rxxxxxxx フォーマット(R09800、R30440 など)を使用する必要があります。

R = バッチ(レポート)アプリケーション。

xx = システム・コード。

yyyyy = AS/400 と同じ命名規則に従ってください。

[Function Use(関数の使用)]フィールドでは、AS/400 と同じ命名規則に従います。

130～139 = バッチ処理

160～169 = レポート

レポート・カテゴリ・コードはフォーム設計と同じ命名規則に従ってください。

セクション名

レポートのセクション名は、10 文字以内で、SzzzzzzzzA フォーマット (S09800A、S30440B など) を使用する必要があります。

S = レポート・セクション名

zzzzzzzz = プログラム名

A = 順番に割り当てられた文字

ツール・セットでは自動採番が使用され、自動的にセクション名が割り当てられます。S1、S2、S3 などがあります。

セクション記述には、バッチ合計セクション、支払レベル区切りヘッダー・セクションなどの、セクション・タイプが含まれます。

レポートの取込時には、セクションは論理的に並んでいる必要があります。

テーブル除去プログラム

〈Table Conversion-Batch Delete (テーブル変換バッチ削除)〉は、J.D. Edwards ソフトウェアの汎用的な除去プログラムで、選択したレコードをテーブルから削除し、データをバックアップ・ファイルに保管します。このバッチ・プログラムを使用してテーブルを除去するには、新規バージョンを作成せずに、まずオブジェクト管理ワークベンチ(OMW)でテーブル変換を作成する必要があります。

除去テーブル変換名は 8 文字以内で、Pxxxxxxp フォーマットを使用する必要があります。

P = 除去テーブル

xxxxxxp = テーブル(ファイル)名

注:

WorldSoftware で除去プログラムを使用すると、選択したレコードが削除され、指定したバックアップに保管されます。除去される各ファイルには、新しい基本テーブルで新しいバージョンが作成されます。新しいバージョンはシステムにより作成されるものではなく、テーブル変換を作成する必要があります。

参照

『エンタープライズ・レポート・ライティング』ガイドの次のトピックを参照してください。

- 「グループ・セクションおよびカラム・セクションの処理」
- 「表セクションの処理」
- 「バッチ・バージョンの作成」
- 「レポートを保存するには」

変数

ある条件が真になるまで、1つの値を持つ変数を定義します。この場合、変数の値を変更します。変数を使用して、関数または宣言ステートメントの流れを制御します。関数が進行する間に特定の条件を確認できます。

バッチ・イベント・ルール変数

レポートのイベント・ルール変数名には、xxx_yyzzzzzz_AAAA フォーマットを使用する必要があります。

xxx = スコープに応じて、システムが自動的に割り当てるプレフィックス。次に例を示します。

evt_(イベント・スコープ)

rpt_(レポート・スコープ)

sec_(セクション)

yy = C 変数のハンガリア表記法。次の例があります。

c - 文字

mn - 数字

sz - 文字列

jd - ユリウス日付

id - ポインタ

zzzzzz = プログラマにより指定される変数名。各用語は大文字で入力します。

AAAA = データ辞書エイリアス(すべて大文字)。

たとえば、項目イベント・ルール変数は、rpt_mnItemNumber_ITM となります。スペースは入れないでください。

レポート・グローバル変数を使用する場合、グローバル変数は呼び出されない条件付きのグループ・セクションで定義されます。このセクションは「定義済みグローバル変数」と呼ばれます。グローバル変数は、論理グループでのセクションに配置されています。固定情報を使用すると、グローバル変数の使用にコメントを加えることができます。

イベント・ルール変数

イベント・ルール変数には、C 変数と同様の名前を設定し、xxx_yyzzzzzz_AAAA フォーマットを使用する必要があります。

xxx = スコープに応じて、OneWorld が自動的に割り当てるプレフィックス。システムにより自動的にプレフィックスが割り当てられます。たとえば次の例があります。

frm_(フォーム・スコープ)

evt_(イベント・スコープ)

yy = C 変数のハンガリア表記法。次の例があります。

c - 文字

h - ハンドル要求

mn - 数字

sz - 文字列

jd - ユリウス日付

id - ポインタ

zzzzzz = プログラマにより指定される変数名。各用語の最初の文字は大文字にします。

AAAA = データ辞書エイリアス(すべて大文字)。

たとえば、Branch/Plant(事業所)イベント・ルール変数は、evt_szBranchPlant_MCU という名前になります。スペースは入れないでください。

テキスト変数

システムにより名前が TVzzzzzzzz というフォーマットで自動的に割り当てられます。

TV = テキスト変数

zzzzzzzz = プログラマにより指定される変数名

参照

- 『開発ツール』ガイドの「イベント・ルール変数の処理」

ビジネス関数

ビジネス関数のソース・コードには、Bxxxxyyy または Nxxxxyyy フォーマットを使用する必要があります。

B = C ビジネス関数(B3101260 など)

N = イベント・ルール・ビジネス関数(NER)(N0400121 など)

xxx = システム・コード

yyyy = 連番(それぞれのアプリケーション・グループの現行のプロシージャに従って割り当てられる番号)

注:

ビジネス関数とイベント・ルール・ビジネス関数では、そのデータ構造体(Dの付くオブジェクト)を保持するため、採番を共有にしないでください。

ビジネス関数データ構造体

イベント・ルール・ビジネス関数とビジネス関数のデータ構造体名には、次のフォーマットを使用する必要があります。DxxxxyyyyyA

D = データ構造体

xxx = システム・コード

yyyy = 連番(それぞれのアプリケーション・グループの現行のプロシージャに従って割り当てられる番号)

A = 1つの関数に複数のデータ構造体がある場合に、データ構造体名の最後に付けるA、B、Cなどの英字。たとえば、ビジネス関数B3101260のデータ構造体は、D3101260A、D3101260B、D3101260Cです。

データ構造体のデータ要素には、ハンガリアン表記法を使用して、データ項目エイリアスを付加する必要があります。たとえば、データ構造体要素のエイリアスがLANOの場合、要素名はmnSite_LANOとなります。

既存のデータ構造体にパラメータを追加する場合は、そのパラメータをリストの最後に追加します。また、既存のデータ構造体の順序を並べ替えないでください。データ構造体の順序を並べ替えたり、途中にパラメータを追加すると、実行時メモリ・エラーの原因となる可能性があります。

参照

- 『開発ツール』ガイドの「ビジネス関数データ構造体の作成」
- 『開発ツール』ガイドの「イベント・ルール・ビジネス関数の作成」
- 『開発スタンダード:ビジネス関数プログラミング』ガイドの「開発標準」
- 『開発ツール』ガイドの「ビジネス関数の処理」
- 『開発ツール』ガイドの「Business Function Builder の処理」

ワークフロー・プロセス

ワークフロー・プロセス名は最大10文字とし、Kxxxxyyyyy フォーマットを使用する必要があります。

K = ワークフロー・プロセス

xxxx = 最大4桁のシステム・コード(コード55~59は顧客固有のプロセスに使用)

yyyyy = 連番

ワークフロー・プロセスの目的を示す記述も、32文字以内で設定する必要があります。

ワークフロー・データ構造体

ワークフロー・プロセスには、キー・データおよび追加データという 2 つのデータ構造体が必要になります。キー・データは、プロセスのインスタンスを一意的に識別するデータ項目です。追加データには、プロセスがそのプロセス・フローを完了するために必要なすべてのデータが含まれています。

B73.3.1 以降は、〈Process Master(プロセス・マスター)〉プログラム(P98800)で、ワークフロー・プロセスを定義するときにワークフロー・データ構造体を作成できます。〈Process Master〉プログラムでワークフロー・データ構造体を作成すると、キー・データ名または追加データ名は自動的に割り当てられます。ただし、このデータ構造体名は新規の名前を入力することで変更できます。キー・データ構造体および追加データ構造体には、最後の 1 文字を除き同じ名前を使用してください。どちらの構造体名も WF で始めて、WFxxxxyyyA または WfxxxxyyyB フォーマットを使用します。

WF = ワークフロー・データ構造体

xxxx = システム・コード

yyy = 連番(それぞれのアプリケーション・グループの現行のプロシージャに従って割り当てられる番号)

A = キー・データ構造体

B = 追加データ構造体

参照

- 『エンタープライズ・ワークフロー管理』ガイドの「Naming Conventions for Workflow Processes(ワークフロー・プロセスの命名規則)」
- 『エンタープライズ・ワークフロー管理』ガイドの「Key and Additional Data Structures(キー・データ構造体および追加データ構造体)」
- 『エンタープライズ・ワークフロー管理』ガイドの「Creating a Workflow Process(ワークフロー・プロセスの作成)」

メディア・オブジェクト

メディア・オブジェクトのオブジェクト・ライブラリアン名は、最大 8 文字とし、GtxxxxyyA フォーマットを使用します。

GT = メディア・オブジェクト

xxxx = テーブル名(文字 F を除きます)

yy = 自動採番

A = 1 つのファイルに複数のメディア・オブジェクトがある場合に、メディア・オブジェクト名の最後に付ける A、B、C などの英字

最大 60 文字の記述を入力します。記述には、メディア・オブジェクトの件名を反映させてください。

参照

- 『開発ツール』ガイドの「メディア・オブジェクト・コントロールの作成」

メニュー

メニュー名は最大 9 文字とし、Gxxxxxyyy フォーマットを使用します。

G = メニュー。

xx(第 2 桁と第 3 桁) = システム・コード。番号 55～59 は、顧客固有のプロセスのために予約されています。

xx(第 4 桁と第 5 桁) = メニューの付加的 ID(任意)。

y(第 6 桁) = 表示レベルまたはスキル・レベル。

1 - 基本。日次処理など。

2 - 中級。定期処理など。

3 - 上級。上級操作または技術的操作など。

4 - システム管理。システム・セットアップなど。

y(第 7 桁) = スキル・レベルが同じである同一システムの 2 つのメニューを区別する追加の 1 文字。

たとえば、G0911 では次の項目を指定します。

G = メニュー・プレフィックス

09 = システム・コード

1 = 基本スキル・レベル

1 = 複数のメニューのうちの最初のメニュー

メニューに関する外部開発者の考慮事項

外部開発とは、J.D. Edwards コンサルタントなど、J.D. Edwards 以外の組織に属する開発者が、特定の顧客向けにカスタム・アプリケーションを作成するプロセスです。メニューの命名時には、J.D. Edwards オブジェクトと J.D. Edwards 以外のオブジェクトを区別できるように注意する必要があります。新規メニューの作成時には、Gxxxxyy フォーマットを使用します。

G = メニュー・プレフィックス。

xx(第 2 桁と第 3 桁) = カスタム・メニューであることを示す 55～59 の番号。

xx(第 4 桁と第 5 桁) = システム・コード。

y(第 6 桁) = 表示レベルまたはスキル・レベル。この桁を使用するのは、各アプリケーションに複数のカスタム・メニューが必要な場合のみです。

1 - 基本。日次処理など。

2 - 中級。定期処理など。

3 - 上級。上級操作または技術的操作など。

4 - システム管理。システム・セットアップなど。

y(第 7 桁) = スキル・レベルが同じである同一システムの 2 つのメニューを区別する追加の 1 文字。

たとえば、G550911 は次の要素から成り立っています。

G = メニュー・プレフィックス

55 = カスタム・メニュー

09 = システム・コード

1 = 基本スキル・レベル

1 = 複数のメニューのうちの最初のメニュー

参照

- 『開発ツール』ガイドの「新規メニューの定義」

テーブル変換

テーブル変換名は最大 10 文字とし、R89xxxxyyy フォーマットを使用する必要があります。

R89 == 変換プログラム

xxxx = システム・コード

yyy = テーブル名またはファイル名

テーブル変換の記述は最大 60 文字とします。この記述は、[ファイル名] Conversion From yyy To zzz フォーマットにする必要があります。

yyy = テーブルの変換元リリース

zzz = テーブルの変換先リリース

参照

- 『テーブル・コンバージョン』ガイドの「Table Conversions Overview(テーブル変換の概要)」

タスク

タスク設計には、タスクを効率的に設計して管理するための機能が用意されています。すべての J.D. Edwards アプリケーション間で他のタスクとの一貫性が保たれるように、タスク標準に従って J.D. Edwards タスクを作成してください。

タスク構造

タスク構造の作成時には、次のタスク階層を使用します。

GXX – システム・タスク

GXXYY – モジュール記述

GXX10 – 日次処理

GXX20 – 定期処理

GXX31 – 上級および技術的操作

GXX41 – システム・セットアップ

タスク処理オプション

対話型アプリケーションまたはバッチ・アプリケーション用にタスクを作成する場合に、そこで使用する処理オプションを指定できます。タスクの処理オプションは、対話型アプリケーションまたはバッチ・アプリケーションの実行方法を決定します。たとえば、アプリケーションのバージョンを求めるプロンプトを表示するか、プロンプトを表示せずにアプリケーションを実行するかなどです。

ユーザー定義コード 98/CD は、タスク処理オプションを定義するときに役立ちます。このユーザー定義コード 98/CD には、〈Task Selection Revisions(タスク項目の改訂)〉フォーム(W0082C)の [Task Design(タスク設計)] からアクセスします。

通常、ユニバーサル・バッチ・エンジン(バッチ・アプリケーション、UBE)に関連付けられている処理オプションがある場合は、バージョンを求めるプロンプトを表示するようにタスクの UBE を設定します。バッチ・アプリケーションに複数のバージョンがある場合、ユーザーはアプリケーションを実行する前にバージョンを選択する必要があります。

対話型アプリケーションの場合は、タスクに [Blind Execution(非表示で実行)] を設定してください。[Blind Execution] オプションを使用してタスクにアプリケーションを設定すると、そのアプリケーションはユーザーとの対話なしで実行されます。

次の表に詳細を示します。

オプション・コード 98/CD	ZJDE0000	XJDE0000	ブランク(またはバージョンが未定義)
ブランク = 処理オプションなし	警告: 現在は、この設定によってバージョン・リストが生成されます。バージョン・リストを呼び出すと、ZJDE バージョンの定義と目的に矛盾することになります。オプション・コードを 1 または 3 に設定します。	OK: 警告はありません。バージョン・リストが表示されます。	OK: バージョンが存在しないか、複数の UBE バージョンが存在します。バージョン・リストが表示されます。バージョンのない対話型アプリケーションの場合は、このセットアップを使用します。
1 = 非表示で実行	OK: 非表示の投入が発生します。ZJDE バージョンの対話型アプリケーションまたはバッチ・アプリケーションに使用します。	警告: 通常、XJDE は非表示で実行の投入ではありません。処理オプションをブランクまたは 2 に設定するか、バージョンを ZJDE にする必要があるかどうかを判断します。	警告: 非表示で投入する場合は、ZJDE バージョンを定義しておく必要があります。 解決方法... 定義済みのバージョンを判別し、それに応じてオプション・コードを設定します。
2 = バージョン・リストの表示	警告: ZJDE は非表示バージョンの投入です。ZJDE バージョンでバージョン・リストの表示を求めるのは不正です。処理オプションを 1 または 3 に変更するか、バージョンを XJDE にする必要があるかどうかを判断します。	OK: 複数の XJDE バージョンが存在するか、ユーザー定義バージョンが存在し、バージョン・リストから選択する必要があります。オプション・コードをブランクに設定すると、バージョン・リストが表示されます。	OK: バージョン・リストが表示されます。
3 = 処理オプションの表示	OK: 処理オプションが表示され、自動起動が発生します。	OK: この問題は発生する可能性があります。この問題はクライアント・サイトで発生するものと思われます。	警告: バージョンを設定していない場合、処理オプションを表示するのは不正です。バージョンが存在しない場合は、オプション・コードをブランクに設定します。

ハイパーコントロール

J.D. Edwards アプリケーション開発では、標準と非標準という 2 つのタイプのハイパーコントロールから選択できます。どちらのタイプもドロップダウン・メニューに表示されます。

標準ハイパーコントロール

標準ハイパーコントロールは、J.D. Edwards アプリケーションで現在使用されているメニュー・オプションです。

このタイプのハイパーコントロールがあれば、[Account Ledger(取引明細)]と[A/L]のように、類似するハイパーコントロールが複数存在する場合にも、1 つのメニュー・オプションを使用させることができます。フォームに標準ハイパーコントロールを設定するには、事前定義済みのメニュー・テキストとステータス・バーの記述を使用します。

非標準ハイパーコントロール

非標準ハイパーコントロールも、フォームに設定する必要があるメニュー・オプションです。ただし、メニュー・テキストとステータス・バーの記述を定義する必要があります。

標準ハイパーコントロール

すべてのアプリケーション間で整合性を維持する必要があるハイパーコントロールのリストが提供されています。このリストに新規ハイパーコントロールを追加する場合は、弊社担当者を通じて Application Design Standard Committee (アプリケーション設計標準委員会) に連絡する必要があります。

次のリストに、ドロップダウン・メニューに表示される略式記述 (A/R など)、フォーム最下部のステータス・バーに表示される詳細記述 (売掛管理など)、およびアクセス・キー (P など) を示します。

A

A/R、売掛管理、P

A/P、買掛管理、R

AAI、AAI (自動仕訳)、A

取引明細、取引明細、L

勘定科目マスター、勘定マスター順序、A

追加選択、追加選択基準、S

追加情報、アプリケーション固有、I

住所録、住所録、B

承認、アプリケーション固有、V

資産マスター、資産マスター、A

添付、メディア・オブジェクトおよび添付、A

在庫状況、アプリケーション固有、V

B

銀行勘定、アプリケーション固有、B

銀行情報、アプリケーション固有、B

バッチ、バッチ、B

部品表、部品表、B

BOM 照会、部品表照会、B

事業所、事業所、C

予算、アプリケーション固有、B

当初予算、アプリケーション固有、O

予算の改訂、アプリケーション固有、B

ビジネスユニット、ビジネスユニット、B

C

解約行、解約行、C

カタログ、カタログ、C

カテゴリ・コード、カテゴリ・コード、C

カテゴリ・コード 1-20、カテゴリ・コード、1

カテゴリ・コード 21-30、カテゴリ・コード、2

変更履歴、変更履歴、C

価格チェック、価格チェック、K

クリア、クリア、C

連産品/副産物、連産品/副産物、Y

カラム、カラム、C

構成品、構成品、C

コントロール、コントロール、C

コピー、コピー、C

原価分析、原価分析、C

原価要素、原価要素、C

原価明細、原価明細、C

原価の改訂、原価の改訂、N

与信チェック、与信チェック、C

カスタマー・ルール、カスタマー・ルール、C

カスタマー・サービス、カスタマー・サービス、C

D

期間パターン、期間パターン、D

日付、日付、D

削除、アプリケーション固有、D

すべて削除、アプリケーション固有、D

納入分析、納入分析、D

納入詳細、納入詳細、D

詳細、アプリケーション固有、D

処分、処分、D

伝票の選択、伝票の選択、D

伝票タイプの例外、伝票タイプの例外、D

図面、図面、D

E

ECO マスター、設計変更マスター、E

ECO ワークベンチ、ECO ワークベンチ、E

EDI、アプリケーション固有、E

編集、アプリケーション固有、E

設備検索、アプリケーション固有、E

F

要素、要素、F

機能、機能、F

ファイル、ファイル、F

検索、検索、I

予測、予測、F

フォーム、フォーム・エグジット、M

凍結、アプリケーション固有、F

G

勘定科目情報、アプリケーション固有、G

生成、アプリケーション固有、G

H

ヘルプ、アプリケーション固有、H

時間数、アプリケーション固有、H

I

イメージ、アプリケーション固有、I

原料、アプリケーション固有、I

中間品、アプリケーション固有、I

在庫、在庫、I

在庫状況、アプリケーション固有、A

事業所項目、事業所項目、B

品目原価、品目原価、C

品目明細、品目明細、D

品目照会、品目照会、I

品目元帳、品目元帳、L

品目マスター、品目マスター、M

品目注記、品目注記、N

品目の改訂、品目の改訂、R

品目検索、品目検索、S

J

作業の改訂、アプリケーション固有、J

会社別作業の改訂、アプリケーション固有、C

作業状況の照会、作業状況の照会、I

仕訳入力、仕訳入力、J

L

保管場所、保管場所、L

保管場所の改訂、保管場所の改訂、R

保管場所の検索、保管場所の検索、S

ロケータ、構成ロケータ、L

ロット・マスター、アプリケーション固有、L

M

製造データ、アプリケーション固有、F

複数レベル、アプリケーション固有、M

O

オープン、アプリケーション固有、O

オーダー、アプリケーション固有、O

P

部品リスト、アプリケーション固有、P

支払、アプリケーション固有、P

ペギング、アプリケーション固有、G

保留、アプリケーション固有、P

購買オーダー明細の表示、購買オーダー明細の表示、B

購買オーダー明細の改訂、購買オーダー明細の改訂、R

購買オーダー入力、購買オーダー入力、E

購買オーダー照会、購買オーダー照会、I

購買オーダー集計、購買オーダー集計、S

印刷、アプリケーション固有、P

購買履歴、購買履歴、L

Q

品質、アプリケーション固有、Q

数量、アプリケーション固有、Q

R

運賃/諸掛、アプリケーション固有、R

入荷確認、アプリケーション固有、R

関連、アプリケーション固有、R

削除、アプリケーション固有、R

レポート、アプリケーション固有、O

改訂、アプリケーション固有、V

作業工程、アプリケーション固有、R

ロー、ロー・エグジット、R

S

スケジュール・ワークベンチ、アプリケーション固有、S

選択、選択、S

出荷、顧客へのお荷、S

不足分、アプリケーション固有、S

シミュレート、アプリケーション固有、S

単一レベル、アプリケーション固有、S

受注明細の改訂、受注明細の改訂、D

受注見出し改訂、受注見出し改訂、H

販売、顧客への販売、O

仕入先、仕入先マスター、S

需要/供給、需要/供給、S

T

税、アプリケーション固有、T

タイム・フェイズ、アプリケーション固有、T

U

更新、アプリケーション固有、U

更新の再表示、再表示による更新、U

V

ビュー、アプリケーション固有、V

W

人名録、人名録、W

WO 入力、アプリケーション固有、W

ワークベンチ、アプリケーション固有、W

参照

- 『開発ツール』ガイドの「メニュー/ツールバー・エグジットの処理」

非標準ハイパーコントロール

非標準ハイパーコントロールの作成時には、次のガイドラインが適用されます。

次の点を守ってください。

- 承認済みの略語のみを使用する。
- 特殊文字は使用しない。
- revision や revisions など、単数形または複数形を使用する。
- insert や view などの動詞は命令形で使用する。
- 詳細記述は process や calculate などの能動態動詞で開始する。

アクセス・キー

アクセス・キーは、特定のコマンドに固有の[Alt]キーと他のキーの組合せを使用して、ボタン、メニュー・タイトル、またはメニュー項目を実行します。たとえば、英語では、[Alt]キーを押しながら[F]キーを押すと、通常は[File(ファイル)]メニューのコマンドが実行されます。アクセス・キーを定義する際には、標準アクセス・キーを割り当ててください。

標準ボタン

標準ボタンは、作成するフォームのタイプに応じて自動的にツールバーに1つまたは複数が表示されます。たとえば、[OK]、[Select]、[Find]、[Add]、[Copy]、[Delete]、[Close]、[Sequence]、[New Format(新規フォーマット)]、[Display Errors(エラーの表示)]、[About OneWorld(OneWorld情報)]などがあります。次の表に、標準ボタンとそれに対応するアクセス・キーを、ツールバーでの標準的な表示順序に従って示します。

OK	[Alt] + [O]
Select(選択)	[Alt] + [S]
Find(検索)	[Alt] + [I]
Add(追加)	[Alt] + [A]
Copy(コピー)	[Alt] + [Y]
Delete(削除)	[Alt] + [D]
Close(閉じる)または Cancel(キャンセル)	[Alt] + [C]
Sequence(順序)	[Alt] + [Q]

New Format(新しいフォーマット) [Alt] + [N]

Display Errors(エラーの表示) [Alt] + [L]

About OneWorld(プロ
グラム情報) [Alt] + [B]

メニュー・タイトル

メニュー・タイトルは、アプリケーション・ウィンドウの上部のメニュー・バーに表示されるオプションです。メニュー・タイトルには、メニュー項目、つまりコマンドのリストが表示されます。たとえば、[File]メニューには、ユーザーが実行できる複数のメニュー項目が含まれています。メニュー・タイトルには、システムおよびユーザーという2つのタイプがあります。

システム・メニュー・タイトル

システム定義のメニュー・タイトルは、アプリケーションのメニュー・バーに表示されます。次の表に、標準メニュー・タイトルとそれに対応するアクセス・キーを表示順に示します。

File(ファイル)	[Alt] + [F]
Edit(編集)	[Alt] + [E]
Preferences(環境設定)	[Alt] + [P]
Tools(ツール)	[Alt] + [T]
Window(ウィンドウ)	[Alt] + [W]
Help(ヘルプ)	[Alt] + [H]

ユーザー・メニュー・タイトル

アプリケーションでは、システム・メニュー・タイトルに加えてユーザー・メニュー・タイトルを使用できます。次の表に、ユーザー・メニュー・タイトルとそれに対応するアクセス・キーを示します。

Form(フォーム)	Form Exits、[Alt] + [M]
Row(ロー)	Row Exits、[Alt] + [R]
Reports(レポート)	Reports、[Alt] + [O]
Applications(アプリケーション)	Applications、[Alt] + [A]
View(ビュー)	View、[Alt] + [V]

参照

- 『開発ツール』ガイドの「メニュー/ツールバー・エグジットの処理」

メニュー項目

メニュー項目は、メニュー・タイトルのリストに表示されるコマンドです。たとえば、[Attachments (添付)]は[Form]または[Row]メニュー・タイトルのメニュー項目です。標準のボタンやメニュー・タイトルと同様に、メニュー項目にもアクセス・キーを使用できます。

1 つのメニュー項目に、下位のメニュー項目が含まれる場合があります。その場合は、メニュー項目名の最後に省略記号を付けます。メニュー項目ラベルに省略記号(...)を使用する場合は、次のように Windows の標準に従ってください。

「メニュー項目が、処理の実行のために追加の情報を必要とするコマンドである場合は、コマンドの後に省略記号(...)を付けてください。省略記号は、追加の情報が必要であることをユーザーに対して示します。」

『Windows Interface Guidelines for Software Design』、Microsoft Press 刊、1995 年

参照

- 『開発スタンダード: アプリケーション設計』ガイドの「メニュー項目のタイトル、詳細記述、およびアクセス・キー」
- 『開発スタンダード: アプリケーション設計』ガイドの「ユーザー・メニュー項目に使用するアクセス・キーの選択方法」

メニュー項目のタイトル、詳細記述、アクセス・キー

フォーム上にメニュー項目を設定する際に、メニュー・タイトル、詳細記述、およびアクセス・キーを定義します。

参照

- 『開発スタンダード: アプリケーション設計』ガイドの「ユーザー・メニュー項目に使用するアクセス・キーの選択方法」

ユーザー定義メニュー項目に使用するアクセス・キーの選択方法

ユーザー定義メニュー項目のアクセス・キーを選択する際には、次のガイドラインが適用されます。

- 標準メニュー項目記述(略式および詳細)と標準アクセス・キーがある場合は、それを使用します。
- アクセス元となるメニュー(ドロップダウンまたはカスケード)内で固有のアクセス・キーを使用します。
- エグジットの標準アクセス・キーが定義されていない場合は、メニュー項目名の最初の文字を使用します。ただし、他の文字の方がそのメニュー項目に適していて覚えやすい場合は除きます。
- 最初の文字を使用できない場合は、そのメニュー項目名の子音の中から 1 文字を使用します。また、使用できる子音がない場合は、母音から選択します。

参照

- 『開発ツール』ガイドの「メニュー/ツールバー・エグジットの処理」
- 『開発スタンダード: アプリケーション設計』ガイドの「メニュー項目のタイトル、詳細記述、およびアクセス・キー」

人事管理用のアクセス・キー

次の表に、人事管理アプリケーション用に定義されているアクセス・キーを示します。

Attachments(添付)	[Alt] + [A]	Organizational Assg(組織割当て)	[Alt] + [N]
Address Book(住所録)	[Alt] + [B]	Organizational Structure(組織構造)	[Alt] + [O]
UD Category 1-10(ユーザー定義カテゴリ 1~10)	[Alt] + [C]	Employee(従業員)	[Alt] + [P]
UD date 1-10(ユーザー定義日付 1~10)	[Alt] + [D]	Required Activity(必須アクティビティ)	[Alt] + [Q]
Employee/App Master(従業員/応募者マスター)	[Alt] + [E]	Labor Distribution(労務費配賦)	[Alt] + [R]
Nat'l/Fiscal Data(国内/会計データ)	[Alt] + [F]	SDB Multiskill(SDB 複数スキル)	[Alt] + [S]
Regional Information(地域情報)	[Alt] + [G]	Personal(個人情報)	[Alt] + [S]
Employee DBA Instruction(従業員 DBA 指示)	[Alt] + [I]	Supp Data Entry(補足データ入力)	[Alt] + [T]
Job Information(職務情報)	[Alt] + [J]	Supp Data Inquiry(補足データ照会)	[Alt] + [U]
Eligibility/NDT(適格性/非差別)	[Alt] + [L]	Future Value(将来値)	[Alt] + [V]
Basic Compensation(基本給)	[Alt] + [M]		

テーブル I/O イベント・ルールのガイドライン

テーブル I/O を使用するイベント・ルールの作成には、次のガイドラインが適用されます。

次の点を守ってください。

- テーブルの更新時には、日付、時刻、ユーザー、プログラム名を更新する。
- テーブル I/O は、アプリケーションから直接実行するのではなく、イベント・ルール・ビジネス関数またはビジネス関数から実行する。
- テーブルごとにビジネス関数を作成し、そのテーブルからのデータを取得、挿入、削除、更新するための API を提供する。単純な取込み、挿入、削除、更新には、〈Event Rules Design〉のテーブル入出力を使用します。
- テーブルを更新する場合、更新するテーブル以外のパーティカルなビジネス関数を使用しない。ビジネス関数が複数のテーブルにアクセスする場合は、テーブル I/O や API をそのビジネス関数と同じパーティカルのものに限定します。ビジネス関数が他のパーティカルからデータを取り込む場合は、必ず追加の関数を呼び出します。
- すべてのテーブルにマスター・ビジネス関数(MBF)を組み込み、そのテーブルに対する変更はすべてマスター・ビジネス関数を介して行う。
- ワークテーブルのデータ操作には、〈Event Rules Design〉のテーブル I/O を使用する。

参照

- 『開発ツール』ガイドの「イベント・ルール設計の処理」
- 『開発ツール』ガイドの「フォーム・インターコネクトの作成」
- 『開発ツール』ガイドの「ビジネス関数の関連付け」
- 『開発ツール』ガイドの「イベント・ルール変数の処理」

パフォーマンスに関する考慮事項

フォームの作成時には、J.D. Edwards 推奨のパフォーマンスに関するガイドラインを考慮する必要があります。これらのガイドラインに従うと、フォームのパフォーマンスを最適化することができます。

すべてのフォームに関するパフォーマンスの考慮事項

すべてのフォーム・タイプに、パフォーマンス向上のための標準として次のガイドラインが適用されます。

- グリッドのカラム数をアプリケーションによる必要最小限の数に制限します。
- ビジネス・ビューのカラム数をアプリケーションによる必要最小限の数に制限します。
- フォーム・コントロールは、表示/非表示にかかわらず、アプリケーションによる必要最小限の数に制限します。
- イベント・ルール変数は、非表示のフォーム・コントロールではなく、ワーク・フィールドとして使用します。
- フォーム・コントロールとグリッド・コントロールでは、編集やデフォルト値などの不要なデータ辞書機能を使用不可にします。このガイドラインは、コントロールの表示/非表示にかかわらず適用されます。
- 各グリッド・ローで実行される入出力の量は、アプリケーションで必要な最小限の制限します。たとえば、関連記述などではできる限り省きます。
- 不要なイベント・ルールの処理をスキップできるときには、常にシステム関数の Stop Processing を使用します。
- 一時データの保管には、その時点で使用できる最も効率的な方法を使用します。たとえば、キャッシュ、リンク・リスト、ワークテーブルなどの相対効率を考慮します。
- フォームにデータをロードする際にパフォーマンスが低下する場合は、自動メディア・オブジェクト機能を使用可能にする代わりに、メディア・オブジェクト・システム関数を使用して添付データの編集や表示を行います。メディア・オブジェクト・システム関数を使用すると、ビットマップを表示する前に添付データの有無を確認する必要がなくなります。自動メディア・オブジェクト機能を使用する場合は、ビットマップの表示前に添付データの有無を確認する必要があります。

検索/表示フォームのパフォーマンスの考慮事項

検索/表示フォームには、パフォーマンス向上のための標準として次のガイドラインが適用されます。

- パフォーマンスを低下させるため、QBE 割当てでは使用しないでください。
- グリッド上のソート順序は、J.D. Edwards ソフトウェアで定義されたインデックスと AS/400 上で定義されたロジックの両方と部分的または完全に一致させます。ロジックとインデックスには、少なくともグリッド・ソートのすべてのフィールドを含んでいる必要があります。グリッド・ソート用のフィールドは、ロジック・フィールドおよびインデックス・フィールドと同じ順序で選択する必要があります。インデックスまたはロジックには、グリッド・ソートにない追加フィールドがあってもかまいません。たとえば、部分的な一致で、グリッド・ソートが KIT, MMCU である場合、ロジックとインデックスには、KIT, MMCU, TBM, BQTY が含まれていることがあります。

標準イベント・ルールのガイドライン

テーブル I/O を含め、すべてのイベント・ルールの作成に、次のガイドラインが適用されます。

次のことを確認してください。

- ワーク・フィールド名は、ITM-Short Item Number (wf)のように、エイリアスで始めて、後に名前および(wf)を付けます。
- ビジネス関数から戻されるオプションは、文字ではなく数値を使用するように設定します。数値の方が国際的に採用されています。たとえば、TRUE/FALSE を表すには、T と F または Y と N を使用する代わりに、TRUE の場合は 1 を、FALSE の場合は 0 を使用します。
- 各コメントの前後に空白行を 1 行ずつ挿入します。イベント・ルールの論理セクションは、ダッシュの行で区切ります。
- ワーク・フィールドがグリッド・カラムの場合は、グリッド変数を使用します。
- イベント・ルールなどでは、ハードコード化されたテキスト文字列を使用してフィールドや変数をロードしないでください。代わりにテキスト変数を使用します。
- データベースの更新には、データ項目 Program ID (PID)を使用します。たとえば、対話型アプリケーションからの Address Book イベント・ルールの場合は、P0101 を使用します。
- バッチ・アプリケーションの場合は、必ずプログラム ID を Rxxxxx に更新します。
- ビジネス関数を組み込むときには、必ず方向を示す矢印を使用します。パラメータを使用しない場合は、Ø 記号を使用します。この記号は、ビジネス関数を呼び出すアプリケーションがパラメータを使用しないことを示します。また、他のユーザーがコードを読むときにもわかりやすくなります。
- 処理オプションやフォーム・インターコネクトの値が空白でない(not equal to blank)かどうかを検査するときには、値が NULL でないかどうかとも検査します。
- 対話型アプリケーションでは、エントリ・ポイントとなるフォームの DialogIsInitialized の最初に、バッチ・アプリケーションでは InitializeSection の最初に、改訂ログを含めます。改訂ログには、日付、ユーザー、およびアプリケーションに対して行われた修正のソフトウェア・アクション・リクエスト(SAR)番号が記録されます。

参照

- 『開発ツール』ガイドの「フォーム設計」

見出し詳細/見出しなし詳細フォームのパフォーマンスの考慮事項

見出し詳細/見出しなし詳細フォームには、パフォーマンス向上のための標準として次のガイドラインが適用されます。

- グリッド上のソート順序は、J.D. Edwards ソフトウェアで定義されたインデックスと AS/400 上で定義されたロジックの両方と部分的または完全に一致させます。ロジックとインデックスには、少なくともグリッド・ソートのすべてのフィールドを含んでいる必要があります。グリッド・ソート用のフィールドは、ロジック・フィールドおよびインデックス・フィールドと同じ順序で選択する必要があります。インデックスまたはロジックには、グリッド・ソートにない追加フィールドがあってもかまいません。たとえば、部分的な一致で、グリッド・ソートが KIT, MMCU である場合、ロジックとインデックスには、KIT, MMCU, TBM, BQTY が含まれていることがあります。
- ビジネス・ビューのすべてのカラムは、表示、非表示に関わらずグリッドに組み込みます。ビジネス・ビューにあって、グリッドにないカラムのデータ値は、更新の実行時に削除されます。

参照

- 『開発ツール』ガイドの「フォーム設計」

翻訳の問題

J.D. Edwards ソフトウェアは、複数の異なる言語に翻訳されます。J.D. Edwards では、翻訳標準に準拠することによって、コンポーネントが正確に翻訳されるようにしています。次のソフトウェア・コンポーネントが翻訳対象となります。

- データ辞書項目 (名称記述、ロー記述、およびカラム記述)
- データ辞書用語解説 ([F1] ヘルプで使用)
- メニュー
- タスク
- ユーザー定義コード (UDC) (カラム 1 の記述のみ)
- レポート
- フォーム
- フォームとレポートのテキスト変数
- 処理オプション
- 処理オプション用語解説 ([F1] ヘルプで使用)
- リソース・ファイル

翻訳を考慮した記述

短い全文を使用します。文はできるだけ簡潔でわかりやすいものにします。通常は、能動態を使用します。能動態を使用すると、その処理を実行するユーザーまたはプログラムなどが明確になり、通常は受動態よりも直接的で、しかも語数が少なくなります。次の 2 つの例を比較してください。

能動態: 「このプログラムを使用して伝票を入力...」

受動態: 「このプログラムは伝票を入力するために使用され...」

一貫性のある用語の使用

用語は一貫性のある方法で使用します。「1 用語、1 つの概念」の規則に従ってください。つまり、同じ概念をさまざまな用語で表現したり、1 つの用語でさまざまな概念を表現するのは避けます。次に、同じ概念を表現するために使用されることのある用語の例を示します。

- 突合せと調整
- 配賦 (spread、distribute、および allocate)
- 移動と転送 (振替)
- 変更、改訂、修正

次に、異なる概念を表現するために使用されることのある用語の例を示します。

- 項目 (品目)
- オーダー (順序)

- レート(運賃)
- スケジュール

1 つの語を名詞または動詞として使用できる場合があります。このような場合は、どちらか一方の使用方法に統一するようにしてください。たとえば、「デフォルト」は名詞としてだけ使用します。つまり、

システムにより値がデフォルト設定されます。

と記述する代わりに、次のように記述します。

システムによりデフォルト値が入力されます。

英語における省略表記の回避

「英語における省略表記」とは、文字数を減らすために単語を省略表記することを指します。たとえば、冠詞や代名詞はしばしば省略されます。形容詞や is、are などの連結動詞も、省略される場合があります。このような表記法による英語はあいまいになりがちです。たとえば、次のメッセージがあります。

Empty File

Empty が動詞である(ファイルを空にする)のか、形容詞であるのか(ファイルが空です)がはっきりしません。エラー・メッセージを評価し、省略表記されているために意味があいまいになっている場合は、省略されている語を追加してください。次のメッセージには、動詞かどうかを判断しにくい 2 つの語が含まれています。

Quantity Changes Impact Rate Master

Changes が動詞、Impact が形容詞の場合は、「The quantity changes the impact rate master.」のように書き換えます。Changes が名詞の複数形、Impact が動詞の場合は、「Changes in quantity impact the rate master」のように書き換えます。

プレースホルダーの識別

プレースホルダー(&n)を使用する場合は、その内容を識別する名詞で始めます。翻訳者が正しく翻訳するには、名詞が男性名詞であるか女性名詞であるかを知る必要があります。次に例を示します。

試験&2 の&1、事業所&1、有効期間&1～&5 は承認済みです。

&2 と&3 が何であるかは、それぞれ名詞「試験」と「事業所」で示されているためわかります。ただし、&1 が何であるかはわかりません。&4 と&5 は日付であると仮定できますが、あくまでも文脈からの判断であり、間違っている場合もあります。

次の例では、すべてのプレースホルダーが正しく識別されています。

指定された月&2 と年&3 は、事業所&1 の作業日カレンダー・テーブル(F0007)で定義されていません。

技術的な特殊用語、スラング、アメリカ英語の回避

技術的な特殊用語、スラング、およびアメリカ英語は、翻訳が困難です。次の例で、「ハイパー項目」という用語は技術的な特殊用語です。

ハイパー項目オプションは、選択されたローには有効ではありません。

アメリカ英語の例には、「on the fly」や「beef up the functionality」などがあります。

略語と頭字語の適正使用

アメリカ英語では、他の言語や文化に比べて略語が多用されます。翻訳者が略語を常に理解できるとは限らず、翻訳できない場合もあります。中国語や日本語など、一部の言語には略語がありません。したがって、略語や頭字語を適正に使用することが重要になります。次のガイドラインに従ってください。

- 標準的で一般的な略語のみを使用します。
- J.D. Edwards が作成した略語と頭字語は濫用しないでください。
- スペースに制約がある場合でも、独自の略語を使用しないでください。
- 略語を使用する場合は、その意味を 1 つに限定します。たとえば、LT は、Ledger Type (元帳タイプ) と Less Than (より小さい) の両方を意味します。

関係節における that の使用

英語では、関係代名詞 that がしばしば省略されます。ほとんどのヨーロッパ言語では、関係代名詞を必ず使用する必要があります。英語の場合も、that を使用すると理解しやすくなります。次に例を示します。

Verify the draft is at the appropriate status.

読者は、最初は「Verify the accuracy of the draft. (手形の正確さを確認する)」という意味かと考えます。that を挿入すると、このような誤解がなくなって理解しやすくなります。

Verify that the draft is at the appropriate status. (手形が該当する状況になっていることを確認します)

文に誤解の余地がないと思われる場合にも、that を使用するようにしてください。

Changes that you have made will affect the total quantity requested for this rate.

仮主語の回避

仮主語とは、文や句の主語として分析時には実際には意味のない it や there を使用する構文です。実際の主語が文から欠落しているか隠れているため、明確ではありません。たとえば、「It is raining.」は英語の一般的表現です。ただし、この場合の it は何でしょう。通常、仮主語を示す構文は「It is …」、「There is …」、「There are …」の 3 つです。

英語では仮主語が一般的であり、英語らしくなり、一般に英語を使用するユーザーにとっては明確です。しかし、他のほとんどの言語には、このような慣用語法はありません。仮主語を含む文は実際の主語がわかりにくいいため、翻訳者が翻訳するのは困難です。

仮主語を含む文のほとんどは、主語がわかるように簡単に書き換えることができます。次に例を示します。

There are currently no logs on this server.

文の構造から there が主語のように見えますが、実際の主語は logs です。この文は次のように書き換えることができます。

No logs are currently on this server.

リストにおけるパラレル構造の使用

箇条書きリストや項番付きリストを作成する場合は、すべてのリスト項目に同じ構造を使用してください。たとえば、すべての項目を命令形で始めるか、または名詞で始めます。また、すべての項目を文にするか、すべての項目を句にします。

一貫性のある正しい大文字使用

大文字を一貫性のある正しい方法で使用してください。ほとんどの技術的ドキュメントは、大文字を多用しすぎる傾向があります。通常、翻訳者は大文字で始まる語をプログラム、フォーム、テーブル、フィールドなどであるとみなします。大文字は次の場合に使用します。

- 文の最初の語の最初の文字
- 頭字語
- 見出しおよび名称
 - 見出しでは、冠詞 (the、a、an)、接続詞 (and、or、but など)、および前置詞 (in、to、on、from など) を除き、すべての語の最初の文字を大文字にします。
 - システム、プログラム、フォーム、テーブル、フィールドなどの名称は、語の最初の文字を大文字にします。通常、名称の前に the を付けます。たとえば、「access Speed Invoice Entry」ではなく「access the Speed Invoice Entry form」とします。
 - 見出しの表記規則に矛盾する場合でも、名称にはソフトウェアに表示されるとおりの大文字表記を使用します。

同じ用語が名称として使用され、他の文脈では最初の文字を大文字にして表記している場合でも、一般的な意味に使用する場合は大文字を使用しません。たとえば、「Enter a pay code in the Pay Code field」という文で「pay code」に大文字表記が使用されるのは、それがフィールド名の場合のみです。

次の用語は、一般的に使用する場合にしばしば最初の文字に大文字を使用して表記されます。これらの語は、名称として使用する場合にのみ大文字表記で使用する必要があります。

- address book (住所録)
- automatic accounting instructions (AAI: 自動仕訳)
- category codes (カテゴリ・コード)
- chart of accounts (勘定科目表)
- company constants (会社固定情報)
- detail area (グリッド)

- processing options (処理オプション)
- user defined codes (ユーザー定義コード)
- multicurrency (多通貨)
- general ledger (総勘定元帳)

翻訳ガイドライン

J.D. Edwards では、J.D. Edwards ソフトウェア・コンポーネントの翻訳が正しく行われるようにするために、次のガイドラインを使用しています。

- テキストの長さは、割り当てられているスペースの 70%以内になるように制限します。翻訳すると、語や句が多くなり、サイズが大きくなります。したがって、翻訳後のテキストが最大 30% 長くなることを考慮して、すべてのフィールドのサイズを確保します。割り当てられたスペースを超えると、イベント・ルール(ER)で Warning Message (警告メッセージ)が戻されます。このメッセージは無視しないでください。
- プッシュ・ボタンの場合は、翻訳時にテキストが長くなっても、それに対応してサイズを変更できるようになっていることを確認します。
- 承認済みの頭字語および略語のみを使用します。
- ハードコード化されたテキストではなく、テキスト変数を使用します。テキスト変数は翻訳可能ですが、ハードコード化されたテキストは翻訳できません。
- 短縮形は使用しません。
- 長い名詞文字列や曖昧な名詞文字列を使用しないでください。
- コントロールは<Properties (プロパティ)>では表示されるように設定しておき、ER で表示/非表示機能を使用します。

コントロールのプロパティで非表示 ([Visible] チェックボックスがオフ) になっているコントロールは、翻訳対象として抽出されないため翻訳できません。まったく表示されないコントロールの場合は、[Visible] オプションを無効にします。表示される場合と表示されない場合があるコントロールについては、[Visible] オプションをオンにして、ER で表示/非表示機能を使用してください。

- ユーザー定義コード(UDC)記述の取込みにテーブル I/O を使用する場合は、ユーザーのログオン言語設定に応じて、ユーザー定義コード・テーブル(F0005)またはユーザー定義コード翻訳記述テーブル(F0005D)から取り込めるようにします。

翻訳後の UDC 記述と UDC タイプ記述は、すべての言語で同じテーブルには保管されません。英語の場合は、それぞれユーザー定義コード・タイプ・テーブル(F0004)とユーザー定義コード・テーブル(F0005)に保管されます。他の言語の場合は、いずれもユーザー定義コード翻訳記述テーブル(F0004D)およびユーザー定義コード翻訳記述テーブル(F0005D)に保管されます。

読みやすい翻訳のガイドライン

新規アプリケーションの作成時や既存アプリケーションの拡張時には、次のガイドラインが適用されます。次のガイドラインに従わないと、翻訳作業に時間がかかり、コストが増大します。翻訳作業の労力とコストを適正化するために、次の問題を確認してください。

略語と頭字語	承認済みの略語と頭字語のみを使用しているか
テキストの連結	テキストを連結していないか
コントロール	イベント・ルール(ER)に表示するコントロールの[Visible]オプションが有効になっているか
言語固有の表現	スラングや言語固有の表現は削除されているか
データ辞書	データ辞書用語解説は標準に従って記述され、フォーマットされているか
フォント一時変更	フォント一時変更は削除されているか
ハードコード化されたテキスト	ハードコード化されたテキストは削除され、テキスト変数に置き換えられているか
アイコンなどのイメージ	アイコンや他のイメージからテキストが削除されているか アイコンはすべてのターゲット市場で十分に理解できるものか
テキスト領域とボタンのサイズ	テキスト領域は、翻訳すると長くなることを考慮して最大幅まで拡張されているか ボタンは、翻訳するとテキストが長くなることを考慮して十分な幅にサイズ設定されているか
ソース・テキスト	ソース・テキストは文法的に正しく、理解しやすいか
用語	用語は一貫性のある方法で使用しているか
テキスト変数	テキスト変数を ID に割り当てているか
UDC	UDC はユーザーの使用言語で記述を取り込むか

翻訳をトリガーする処理

翻訳対象として抽出されるコンポーネントを作成または変更する場合、初回の翻訳時または再翻訳時にシステムで必要に応じてコンポーネントにフラグが設定されます。コンポーネントのレイアウト、タブ順序、またはコントロールの位置を変更すると、再翻訳はトリガーされなくなります。次の処理によって、システムで再翻訳がトリガーされます。

- テキストの追加
- テキストの削除
- テキストの変更（誤字や句読点の修正を含む）
- テキストのフォーマット、位置揃え、および行のインデントの変更
- テキスト間隔の追加または変更
- フィールド・サイズの変更
- 行区切りの追加または削除

- メニューの順序変更(テキストを変更しない場合も含む)
- 処理オプション・タブ上の処理オプションの順序変更
- メニューのツールバー・エグジットの追加または変更

注意:

翻訳の締切後に、再翻訳をトリガーするような方法で項目を変更すると、その項目の翻訳は現行のリリースに反映されません。

テキスト文字列

長いテキスト文字列を使用しないようにする必要があります。名詞文字列とは、3 つ以上の名詞を並べた文字列のことです。テキスト文字列は、語と語の関係が明確でないため翻訳が困難になります。次に例を示します。

Manual G/L Transactions Entry

これは、「元帳取引の手動入力」と「手動元帳取引の入力」のどちらを意味するのでしょうか。名詞文字列を書き換える場合は、語順を変更し、前置句を使用して関係を明確にすることをお勧めします。手始めに、最後の単語から先頭へと順序を逆にしてみるとよいでしょう。

Manual Entry of G/L Transactions

名詞句(動名詞)がある場合は、動詞に戻します。

Entering G/L Transactions Manually

スペースに制約がある場合は、ハイフンを使用して語と語の関係を示します。

Manual G/L-Transactions Entry

次のいずれかの方法でテキスト文字列を回避できます。

- of、for、to などの語を挿入します。
- 何が行為者で何が行為の対象であるかを示すために ing や ed を追加します。

たとえば、*Install System Code* を、その用途に応じて次のように書き換えてください。

- Installed System Code
- Install the System Code
- Code for Install System
- System Code to Install
- Install Code for System
- Code the Install System

この例は、install と code がどちらも動詞になり得るため、特に混乱しがちです。この句は、非常に長い 1 つの名詞と捉えられると同時に、アクションの要求または既に行われた動作と解釈することもできます。

テキストを正しく翻訳するために、通常、翻訳者は英語ユーザーよりも多くの情報を必要とします。つまり、誰(何)がアクションを実行しているかを知る必要があります。

また、女性名詞であるか男性名詞であるかが問題になる言語もあります。単語のつながり方によって、その語が女性名詞にも男性名詞にもなる可能性があります。

長い名詞文字列の区切りがはっきりしない場合は、名詞の中に動詞がないかどうかを確認します。動詞がある場合は、the、of、forなどを挿入するか、動詞の時制を変更します。不要と思われる語を削除して、長い名詞文字列を短くすることも検討します。*Install System Code*の場合は、*Install Code*または *System Code* とする方が翻訳が簡単です。

J.D. Edwards ソフトウェアで使用されるテキスト文字列

翻訳者が最初に文字列に含まれる語が名詞であるか動詞であるかを判断する必要があるため、翻訳が困難なテキスト文字列があります。たとえば、*Install System* というフィールド名では、install という語は動詞にも名詞にも判断できます。この場合、install system は複合名詞文字列です。多くの開発者は、J.D. Edwards における用法に慣れているため、この文字列を理解できます。しかし、翻訳者や英語以外のユーザーにとっては、明確ではありません。

次の表に、J.D. Edwards ソフトウェアで現在使用されているテキスト文字列の例と、翻訳者や英語以外のユーザーが混同しがちな内容を示します。

フィールド名	翻訳者からの質問
Log File Name	ファイル名のログを記録するのか、ログ・ファイル名か
Setup Function	機能を設定することか、セットアップ機能か
Setup Menu	メニューを設定することなのか、セットアップ・オプションを含むメニューなのか
Install Data	データをインストールすることなのか、インストールに関連するデータのことなのか
Install Data Sources	データ・ソースをインストールすることなのか、インストールに関連するデータ・ソースのことなのか
Install Environments	環境をインストールすることなのか、インストールに関連する環境のことなのか
Install Hosts	ホストをインストールすることなのか、インストールに関連するホストのことなのか
Add Following	followingという語を追加するのは、何かの後に追加するのか
LineNumber	語がスペースで区切られていないのはなぜか(パラメータなのか、行番号なのか)

承認済みテキスト文字列

次のリストに、承認済みの標準テキスト文字列を示します。より正確に理解し、翻訳しやすくし、ソフトウェア全体での使用方法を一貫させるために、フィールドに名前を付ける際にはこのリストを参照してください。

テキスト文字列 用途

Data Structure Data structure は名詞文字列です。Data structure とは、データの構造体です。J.D. Edwards ツール・セットには、数タイプの構造体があります。data structure という文字列の前にあるテキストはすべて、データ構造体のタイプを表し、形容詞の役割を果たします。

例：

- Business function data structure (ビジネス関数データ構造体)
- Form data structure (フォーム・データ構造体)
- Media object data structure (メディア・オブジェクト構造体)
- Processing option data structure (処理オプション・データ構造体)
- Report data structure (レポート・データ構造体)

[noun] Design J.D. Edwards ツール・セットには多くの設計ツールがあり、各ツールは特定のオブジェクト・タイプを作成するための異なるタイプのツールです。たとえば、Table Design ツールは、テーブル作成ツールです。

例：

- Application Design (アプリケーション設計ツール)
- Business View Design (ビジネス・ビュー設計ツール)
- Data Dictionary Design (データ辞書設計ツール)
- Event Rule Design (イベント・ルール設計ツール)
- Form Design (フォーム設計ツール)
- Parameter Design (パラメータ設計ツール)
- Table Design (テーブル設計ツール)

[noun または verb] Event J.D. Edwards には多数のイベント(アクティビティ)があります。イベント・タイプの前には、名詞、動詞、または名詞と動詞の組合せによる文字列が付きます。どの場合にも、event という語の前に付くテキスト文字列は形容詞であり、イベントの目的を説明するものです。

例：

- Button Clicked event (Button Clicked イベント)
- Row is Exited event (Row is Exited イベント)

High-level Default Trigger High-level は、名詞文字列 default trigger の形容詞です。high-level default trigger (上位デフォルト・トリガー) は、あるフィールドのデータに対して自動的に評価される基準です。

Install [noun] Install は、動詞ではなく形容詞です。

例：

- Install system (インストール・システム)
- Install Data (インストール・データ)
- Install Data Sources (インストール・データ・ソース)
- Install Environments (インストール環境)
- Install Hosts (インストール・ホスト)

Line Number	行番号。
Menu Revisions	Menu Revisions は名詞文字列です。これは、対話型アプリケーションとバッチ・アプリケーションのメニューを管理する J.D. Edwards ツールです。
Object Librarian	Object Librarian は名詞文字列です。これは、アプリケーションを構成するオブジェクトまたはビルディング・ブロックを管理する J.D. Edwards ツールです。
Object Type	Object type は名詞文字列です。Object type とはオブジェクトのタイプを意味します。
Process Function	プロセスの機能を意味します。フォーム上では、process function は名詞文字列で、この場合は process が function を修飾しています。
Process Usage	プロセスの使用方法です。フォーム上では、process usage は名詞文字列で、この場合は process が usage を修飾しています。
Set Up	set と up の間のスペースは、これが動詞であることを示します。
Setup [noun]	<p>Setup は、動詞ではなく形容詞です。</p> <p>例：</p> <ul style="list-style-type: none"> • Setup Function (セットアップ機能) • Setup Menu (セットアップ・メニュー)

頭字語と略語

J.D. Edwards は、J.D. Edwards アプリケーションで使用する頭字語と略語のリストを管理しています。頭字語や略語を使用する前に、このリストを必ず参照してください。このリストにない頭字語や略語を使用する場合は、アプリケーション開発管理者に連絡して追加する必要があります。

このリストには、ダブルバイト言語とシングルバイト言語の翻訳に必要なスペースの欄を設けてあります。翻訳時に適応できるように、できるだけフィールドを大きくしてください。

多くの言語には、英語の頭字語や略語に相当するものはありません。英語の頭字語や略語に相当するものがない場合は、代わりに記述を翻訳してください。次に示す Accounts Payable の頭字語である A/P のフランス語とドイツ語の翻訳を参考にしてください。

英語の頭字語または略語	フランス語翻訳	ドイツ語翻訳
A/P	C. frns	Kreditorenbuchhaltung

中国語や日本語のようなダブルバイト言語では、頭字語や略語がないため、一般的に最も多くのスペースが必要になります。

注:

頭字語や略語には、アンパサンド(&)記号を含むものがあります。&記号を含む頭字語や略語を使用してフォーム・コントロールまたはメニューを定義する場合は、&を1つ入力するのではなく、&&と2つ入力してください。2つ入力しないと、ランタイム・エンジンでは&がアンダースコア(_)として解釈されます。

次のリストに、承認済みの頭字語と略語を示します。

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
A/B または AB	Address Book (住所録)	10	2
A/P	Accounts Payable (買掛管理)	8	15
A/R	Accounts Receivable (売掛管理)	8	14
A/V	According to Value (値により)	8	2
AAI	AAI (自動仕訳)	14	3
AAP			18
AB			2
ABC	Activity-Based Costing (活動基準原価計算)	24	3

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
ABI	Affirmative Action Planning(アファーマティブ・アクション計画)	18	3
ABM	Aktiebolag(スウェーデン語)	翻訳しない	3
ACD	Automatic Call Distributor(自動呼出し流通業者)	44	38
ACE	Adjusted Current Earnings(調整後当初利益)	18	3
ACH	Automated Clearing House(自動支払処理装置)	14	3
ACP	Actual Contribution Percentage(実績支払パーセント)	16	3
ACP	Average Contribution Percentage(平均支払パーセント)	18	3
ACRS	Accelerated Cost Recovery System(加速原価回収法)	18	4
AD&D	Accidental Death and Dismemberment(不慮の死亡および事故)	16	4
ADA	Americans with Disabilities Act(アメリカ障害者法)	12	3
ADDL	Additional(その他)	10	3
ADJ	Adjustment(調整)	10	12
ADP	Actual Deferral Percentage(実績繰延パーセント)	16	3
ADR	Assets Depreciation Range(資産減価償却範囲)	14	3
AEC	Architecture, Engineering, and Construction(設計、エンジニアリング、建設)	18	3
AF	Advanced Forecasting(予測管理)	10	2
AFE	Authorization for Request(要求の承認)	10	3
AFRA	Average Freight Rate Assessment(平均運賃査定)	16	4
AFS	Available for Sale(販売可)	10	3
AG	Aktiengesellschaft(ドイツ語)	翻訳しない	2
AGI	Adjusted Gross Income(調整済み総所得)	14	14
AGM	Auto Generate Master(自動生成マスター)	16	3

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
AGVS	Automated Guided Vehicle System(自動誘導車両システム)	22	3
AIA	American Institute of Architects(米国建築家協会)	16	3
AIX	Advanced Interactive Executive(AIX、IBM 独自に開発した UNIX のバージョン)	32	3
AKA または aka	Also Known As(通称、別称)	6	5
Amt	Amount(金額)	8	4
AMT	Alternative Minimum Tax(代替ミニマム税)	12	3
AN	Address Number(住所番号)	8	8
ANSI	American National Standards Institute(米国規格協会)	16	4
AOQL	Average Outgoing Quality Level(平均出荷品質レベル)	16	3
AP	Accounts Payable(買掛管理)	8	6
AP/C	Agricultural Products, Crops(農産物、農作物)	14	10
APA	Advanced Price Analysis(上級価格設定分析)	14	3
APD	Application Program Driver(アプリケーション・プログラム・ドライバ)	16	3
API	Air Position Indicator(エア・ポジション・インジケータ)	16	3
API	American Petroleum Institute(米国石油協会)	14	3
API	Application Program Interface(アプリケーション・プログラム・インターフェイス)	14	3
APICS	American Production and Inventory Control Society, Inc.(米国生産在庫管理協会)	28	5
APPL	Application(アプリケーション)		
APR	Annual Percentage Rate(年間パーセント率)	10	12
AQL	Acceptable Quality Level(合格品質レベル)	16	11
AR	Accounts Receivable(売掛管理)	8	6

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
AS	Agricultural Services(農業)	10	4
AS	Application System(アプリケーション・システム)	10	2
AS/RS	Automatic Storage/Retrieval System(自動保管/検索システム)	20	14
ASAP	As Soon As Possible(至急)	6	4
ASCII	American Standard Code for Information Interchange(情報交換用米国標準コード)	26	5
ASI	Application Specific Instructions(アプリケーション固有の指示)	18	3
ASI	Application Specific Instrument(アプリケーション固有ツール)	18	3
ASN	Advanced Ship Notice(事前出荷通知)	16	3
ASP	Auxiliary Storage Pool(補助ストレージ・プール)	12	3
ASTM	American Society for Testing and Materials(米国材料試験協会)	20	4
ATM	Automated Teller Machine(現金自動預金支払機)	16	20
ATO	Associated Text Output(関連テキスト出力)	14	3
ATO	Assembly to Order(組立生産)	12	7
ATP	Available to Promise(約束可能数量)	12	3
ATPU	Available to Promise Unadjusted(未調整約束可能数量)	18	4
ATRS	American Tanker Rate Schedule(米国タンカー・レート表)	18	4
AU	Actual Units(実績数量)	12	2
Avl	Availability(引当可能数量)	8	8
AWOL	Absent Without Leave または Absent Without Official Leave(無断欠勤)	10	4
B/D	Barrels per Day(バレル/日)	8	4
B/L	Bill of Lading(船荷証券)	8	3

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
BA	Beginning Available (開始時使用可能数量)	12	9
BA	Budget Amount (予算金額)	10	2
BACS	Bank Automated Clearing System (銀行自動手形交換システム)	18	4
BASIC	Business Application Software Introduction Class (ビジネス・アプリケーション・ソフトウェア入門クラス)	22	5
BAU	Beginning Available Unadjusted (未調整の開始時使用可能数量)	20	3
BCI	Billing Control Identification (請求管理 ID)	14	3
BDA	Business View Design Aid (ビジネス・ビュー設計ツール)	翻訳しない	翻訳しない
BEF	Belgian Francs (ベルギー・フラン)	12	4
BEP	Break-Event Point (損益分岐点)	8	3
BFOE	Barrels of Fuel Oil Equivalent (燃料油バレル等価量)	14	4
BIPS	Billion Instructions per Second (1 秒間 10 億回命令(実行))	6	4
Blk	Blank (ブランク)	6	3
BLOB	Binary Large Object (バイナリ・ラージ・オブジェクト)	16	4
bn	Billion (10 億)	6	5
BO	Back Order (バックオーダー)	10	2
BOC	Building Operating Costs (建物運営費)	14	3
BOL	Bill of Lading (船荷証券)	8	7
BOM	Bill of Materials (部品表)	10	9
BP	Business Partner (ビジネス・パートナー)	10	13
BPI	Bits per Inch (ビット/インチ)	12	3
BPS	Bits per Second (ビット/秒)	10	3
BPT	Bulk Product Transaction (バルク製品トランザクション)	12	3

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
Br	Branch(事業所)	6	3
Brn	Branch(事業所)	6	3
Brn/Plt	Branch/Plant(事業所)	12	8
BS&W	Bottom Sediment and Water	16	4
BSFN	Business Function(ビジネス関数)	翻訳しない	翻訳しない
BSVW	Business View(ビジネス・ビュー)	翻訳しない	翻訳しない
BTU	British Thermal Unit(英式熱単位)	14	3
BTX	Benzene, Toluene, and Xylene(ベンゼン、トルエン、およびキシレン))	18	3
BU	Budget Units(予算数量)	10	2
BU	Business Unit(ビジネスユニット)	10	2
C & F	Cost and Freight(運賃込み本船渡し)	12	12
C/O または c/o	Care of(気付、～方)	6	6
C/R	Cash Receipts(入金処理)	10	8
C/S	Client/Server(クライアント/サーバー)	16	3
CA	Contract Administration(契約管理)	10	2
CAD	Computer Assisted Design(コンピュータ支援設計)	16	3
CAE	Common Applications Environment(共通アプリケーション環境)	18	3
CAE	Computer-Aided Engineering(コンピュータ支援設計)	16	3
CAIT	Computer-Aided Inspection and Test(コンピュータ支援検査/試験)	24	3
CAM	Common Area Maintenance(共通領域メンテナンス)	12	3
CAM	Computer-Aided Manufacturing(コンピュータ支援製造)	16	3
CAP	Computer Assisted Programming(コンピュータ支援プログラミング)	16	3

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
CAT	Category(カテゴリ)	6	4
CAPP	Computer-Aided Process Planning(コンピュータ支援プロセス設計)	20	4
CASE	Computer-Aided Software Engineering(コンピュータ支援ソフトウェア・エンジニアリング)	20	4
CATP	Cumulative Available to Promise(累積約束可能数量)	20	4
CBD	Cash Before Delivery(代金先払い納入)	12	10
CBO	Cash Basis Only(現金主義のみ)	10	3
CBT	Computer Based Training(コンピュータ・ベース・トレーニング)	14	3
CC	Cost Center(ビジネスユニット)	8	9
CCC	Cycle Count Code(循環棚卸コード)	14	3
CCITT	Consultative Committee for International Telephony and Telegraphy(国際電信電話諮問委員会)	24	5
CCQ	Office de la construction du Quebec	翻訳しない	3
Cd	Code(コード)	4	4
CD	Certificate of Deposit(譲渡性預金)	10	2
CD-ROM	Compact Disc-Read Only Memory(CD 読取り専用メモリ)	24	6
CEO	Chief Executive Officer(最高経営責任者)	8	2
CFO	Chief Financial Officer(最高財務責任者)	10	7
CFPIM	Certified as a Fellow in Production and Inventory Management(製造および在庫管理における資格者)	24	5
Chg	Change(変更)	6	4
Chk	Check(小切手)	6	4
CID	Computer-Integrated Distribution(コンピュータ統合流通)	18	3
Cie	Compagnie(フランス語)	3	4

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
CIF	Central Information File(中央情報ファイル)	14	3
CIF	Computer-Integrated Fax(コンピュータ統合 Fax システム)	18	3
CIF	Cost, Insurance, and Freight(原価、保険料、および運賃)	18	3
CIM	Computer-Integrated Manufacturing(コンピュータ統合生産)	18	3
CIS	Customer Information System(顧客情報システム)	18	3
CISC	Complex Instruction Set Computer(複合命令セット・コンピュータ)	18	4
CL	Control Language(制御言語)	10	2
CM	Change Management(変更管理)	10	2
CM	Corrective Maintenance(改良保全)	10	13
CMMS	Computerized Maintenance Management Systems(コンピュータ保全管理システム)	22	4
Cmp	Compensation(基本給・諸手当)	翻訳しない	翻訳しない
CMS	Cost Management System(原価管理システム)	18	3
CNC	Computer Numeric Control(コンピュータ数値制御)	16	4
Co	Company(会社)	6	3
CO	Change Order(変更オーダー)	18	19
COA	Certificate of Analysis(分析証明書)	10	3
COBRA	Consolidated Omnibus Reconciliation Act(COBRA)	22	5
COBOL	Common Business Oriented Language(COBOL)	18	6
COD	Cash on Delivery(代金引換納入)	10	3
COFC	Container on a Railroad Flatcar(鉄道無蓋貨車コンテナ)	14	4
COGS	Cost of Goods Sold(売上原価)	14	3
COLA	Cost-of-Living Adjustment(物価上昇分調整)	14	4

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
COLA	Cost-of-Living Allowance (物価調整)	14	13
COLD	Computer Output to Laser Disk (レーザー・ディスクへのコンピュータ出力)	20	3
COM	Computer Output to Microform (マイクロフォームへのコンピュータ出力)	20	3
COM	Component Object Model (コンポーネント・オブジェクト・モデル)	翻訳しない	翻訳しない
COMMS	Customer Oriented Manufacturing Management Systems (顧客指向製造管理システム)	26	5
COO	Chief Operating Officer (最高業務責任者)	10	9
COQ	Cost of Quality (品質コスト)	16	7
COR	Collision Repair (衝突修理中)	10	3
CORBA	Common Object Request Broker (共通オブジェクト・リクエスト・ブローカー)		
Core	The central and foundational systems of J. D. Edwards software (Financials) (JDE ソフトウェアの中心機関システム(会計システム))	36	4
Corp	Corporation (法人、会社)	10	4
COS	Corporation for Open Systems (COS)	20	3
CP	Configurator Processing (コンフィギュレータ処理)	14	2
CPA	Certified Public Accountant (公認会計士)	12	12
CPI または cpi	Characters per Inch (1 インチあたりの文字数)	14	3
CPI	Consumer Price Index (消費者物価指数)	16	3
CPI	Continuous Process Improvement (連続工程改善)	14	3
CPIM	Certified in Production and Inventory Management (生産および在庫管理で保証)	24	4
CPM	Critical Path Method (クリティカル・パス法)	16	3
CPU	Central Processing Unit (中央演算処理装置)	14	2
CR	Change Request (変更要求)	18	24

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
CR または Cr	Credit(貸方)	12	2
CREDITEL	CREDITEL (Credit Reporting Agency)(個人信用情報センター)	14	8
CRP	Capacity Requirements Planning(能力所要量計画)	18	3
CRP	Conference Room Pilot(カンファレンス・ルーム・パイロット)	12	3
CRT	Cathodic Ray Tube(陰極線管)	12	3
CS	Client/Server(クライアント/サーバー)	16	3
CSC	Client Service Coordinator(クライアント・サービス調整者)	16	3
CSR	Customer Service Representative(カスタマー・サービス担当者)	14	3
CSW	Customer Service Workstation(カスタマー・サービス・ワークステーション)	16	3
CTD	Cumulative Trauma Disorder(累積性機能障害)	16	3
CTI	Computer-to-Telephone Integration(コンピュータ-電話統合システム)	18	3
CTI	Computer Telephony Integration(コンピュータ電話インテグレーション)	44	40
CTO	Chief Technical Officer(最高技術責任者)	10	3
CTRL または Ctrl	Control(コントロール)	6	5
CTRY	Century(世紀)	6	3
CUA	Common User Access(共通ユーザー・アクセス)	14	3
Cum	Cumulative Update(PTF/Cum アップデート)	10	4
CUM	Cubic Meter(立方メートル)	10	3
CUR	Currency Code(通貨コード)	10	13
Curr	Current(現在の)	6	4
CVP	Cost/Volume/Profit(原価/数量/利益)	18	6

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
D & B	Dun & Bradstreet (Credit Reporting Agency) (ダ ン&ブラッドストリート(与信情報を提供する会社))	34	34
DA	Day(日)	4	3
DASD	Direct Access Storage Device(直接アクセス記 憶装置)	18	4
DBA	Deductions, Benefits, and Accruals(控除、給付 金および見越額)	18	3
DBA	Doing Business As(商号)	19	3
DBMS	Data Base Management System(データベース管 理システム)	16	4
DCE	Distributed Computing Environment(分散コンピュ ーティング環境)	18	3
DCF	Discounted Cash Flow(割引キャッシュ・フロー)	14	20
DD	Data Dictionary(データ辞書)	10	2
DDE	Dynamic Data Exchange(動的データ交換)	14	13
DDP	Distributed Data Processing(分散データ処理)	16	20
DDS	Data Description Specifications(データ記述スペック)	14	3
DE	Design Engineering(設計技術部門)	10	2
DEMO	(デモンストレーション)	6	4
DFI	(預金金融機関)	14	3
DFU	Data File Utility(データ・ファイル・ユーティリティ)	14	3
DIF	Data Interchange Format(データ交換フォーマット)	14	10
DIL	Data Import Language(データ・インポート言語)	14	3
DIN	Deutsche Industrie Norm	翻訳しない	3
DISOSS	Distributed Office Support System(分散処理オ フィス支援プログラム)	22	6
DIST	Distribution(流通)	8	8
DLL	Dynamic Link Library(ダイナミック・リンク・ライ ブラリ)	12	3

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
Dlt	Delete (削除)	6	5
DNC	Direct Numerical Control (直接数値制御)	14	9
DNS	Do Not Spread (遅延禁止)	10	3
Do Ty	Document Type (伝票タイプ)	10	8
DOB	Date-of-Birth (生年月日)	10	9
DOI	Division of Interest (利息分配)	10	2
DPI または dpi	Dots per Inch (ドット/インチ)	12	3
Dpt	Department (部門)	6	4
DR または Dr	Debit (借方)	6	1
DREAM Writer	Data Record Extraction and Management Writer (ドリームライター)	26	12
DRP	Distribution Requirements Planning (流通所要量計画)	14	3
DRP	Distribution Resource Planning (流通資源計画)	14	3
DS	Data Structure (データ構造体)	翻訳しない	翻訳しない
DSO	Days Sales Outstanding (売掛金回収平均日数)	16	4
Dsp	Display (表示)	6	4
DSS	Decision Support System (意思決定支援システム)	14	22
DSTR	Data Structure	翻訳しない	翻訳しない
DT	Document Type (伝票タイプ)	10	8
Dta	Data (データ)	6	4
DTF	Demand Time Fence (需要時間枠)	14	3
Dup	Duplication (重複)	6	5
DW	DREAM Writer (ドリームライター)	12	2
DZ	Dozen (ダース、12)	4	5
E & P	Earnings and Profits (課税所得)	12	3

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
E & O	Expenses and Others(経費その他)	12	3
E.P.	Expense Participation(経費負担)	10	2
E-Mail	Electronic Mail(電子メール)	10	6
E&OE	Errors and Omissions Excepted(例外エラーおよび省略)	16	3
EA	Each (Unit of Measure)(計量単位)	16	5
EA	Ending Availability(最終引当可能数量)	12	8
EAC	Estimate at Completion(完了時見積)	12	3
EADT	Everest Application Development Tool(Everest アプリケーション開発ツール)	25	4
EAP	Employee Assistance Program(従業員援助プログラム)	14	3
EBB	Electronic Burst and Bind(電子バーストおよびバインド)	16	3
EC	Edit Code(編集コード)	8	11
EC	European Community(ヨーロッパ共同体)	12	2
ECM	Engineering Change Management(設計変更管理)	14	3
ECN	Engineering Change Notice(設計変更通知)	14	3
ECO	Engineering Change Order(設計変更オーダー)	14	3
ECR	Efficient Consumer Response(効率的な消費者対応)	16	3
ECS	Electronic Customer Support(オンライン・カスタマー・サポート)	16	3
ECS	Energy and Chemical Systems(エネルギーおよび化学産業向けシステム)	14	3
EDA	Estimated Date Available(予測引当可能日)	16	3
EDC	Everest Development Center(Everest 開発センター)	16	3
EDI	Electronic Data Interchange(電子データ交換)	14	3
EDP	Electronic Data Processing(電子情報処理)	14	3

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
EE	Employee(従業員)	6	6
EEO	Equal Employment Opportunity(雇用機会均等)	14	3
EEOC	Equal Employment Opportunity Commission(米平等雇用機会委員会)	20	4
EFPP	Enterprise Facility Planning(統合施設計画)	14	3
EFT	Electronic Funds Transfer(電子資金決済)	14	20
EFTS	Electronic Funds Transfer System(電子資金決済システム)	18	22
EI	Employee Involvement(従業員参加)	10	8
EIC	Earned Income Credit(給与所得控除)	14	22
EIN	Employer's Identification Number(雇用主 ID 番号)	12	7
EIS	Enterprise Information Systems(企業情報システム)	14	3
EIS	Executive Information System(管理者情報システム)	16	3
EM	Equipment Management(設備管理システム)	10	10
EMEA	Europe, Middle East, and Asia(ヨーロッパ、中東、およびアジア)	12	4
EMS	Environmental Management System(環境管理システム)	14	5
EOI	Evidence of Insurability(保険可能性の根拠)	10	24
EOJ	End of Job(ジョブの終了)	10	10
EOM	End of Month(月末)	6	9
EOQ	Economic Order Quantity(経済的発注量)	16	14
EP	Expense Participation(経費負担)	10	2
EPOS または epos	Electronic Point of Sale(EPOS、イーポス、バーコードによる商品管理システム)	12	4
EPS	Earnings Per Share(1 株当たり利益)	10	13
EPSS	Expert Performance Support System(エキスパート・パフォーマンス・サポート・システム)	18	4

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
EQ	Equal To(同等(=))	6	3
EQP	Equipment(設備)	6	3
ER	Employer(雇用主)	6	5
ER	Event Rule(イベント・ルール)	翻訳しない	翻訳しない
ERISA	Employee Retirement Income Security Act(従業員退職所得保障法)	20	5
ERPx	Enterprise Requirements Planning Execution(統合所要量計画)	18	17
ERR	Error(エラー)	6	5
ESOP	Employee Stock Ownership Plan(従業員持ち株制度)	14	12
ETC	Estimate to Complete(見積残)	10	3
ETO	Engineer to Order(受注設計生産)	12	17
EVP	Executive Vice-President(副社長、執行副社長)	12	14
EVS	Enumeration Verification System(列挙検証システム)	14	3
Exc	Exclude(除外)	6	8
EXW	Ex Works(超過勤務)	8	7
F & F または f & f	Fixtures and Fittings(付帯設備)	3	3
F/A	Fixed Asset(固定資産)	10	4
FA	Functional Acknowledgement(機能肯定応答)	12	2
FAP	Final Average Pay(最終平均給与)	14	3
FAS	Final Assembly Schedule(最終組立スケジュール)	16	13
FAS	Free Alongside Ship(船側渡し)	14	19
FASB	Financial Accounting Standards Board(財務会計基準審議会)	20	4

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
FASTR	Financial Analysis Spreadsheet Tool and Report Writer(財務分析スプレッドシート・ツールおよびレポート・ライター)	30	5
FCST	Forecast(予測)	4	6
FCU	Fax Control Unit(Fax 制御装置)	14	3
FDA	Form Design Aid(フォーム設計ツール)	18	13
FDP	Fiscal Date Pattern(会計期間パターン)	14	7
FED	Federal Tax(連邦税)	8	18
FHA	Federal Housing Administration(連邦住宅局)	20	14
FHC	Freight Handling Code(貨物取扱コード)	12	13
FICA	Federal Insurance Contribution Act(連邦保険拠出法)	20	4
FIFO	First In, First Out(先入先出法)	12	4
FIGS	French, Italian, German, Spanish(フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語)	32	13
FIT	Federal Income Tax(連邦所得税)	12	9
FK	Function Keys(ファンクション・キー)	8	16
FLSA	Fair Labor Standard Act(公正労働基準法)	16	4
FMC	Flexible Machine Center(フレキシブル・マシン・センター)	14	3
FMLA	Family Medical Leave Act(育児介護休業法)	16	3
FMS	Flexible Manufacturing System(他品種中少量生産システム)	14	3
FOB	Free on Board(本船渡し)	10	18
FOQ	Fixed Order Quantity(固定オーダー数量)	14	3
FPO	Firm Planned Order(確定計画オーダー)	14	12
FR	Financial Reporting(財務諸表等)	14	8
FREQ	Frequency(頻度)	8	8

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
FRF	French Francs(仏フラン)	10	9
FRS	Federal Reserve System(連邦準備制度)	14	3
FSA	Flexible Spending Account(フレックス支出勘定)	12	3
ft	Foot(フィート)	6	3
FTC	Federal Trade Commission(連邦取引委員会)	16	3
FTE	Federal Tax Entry(連邦税入力)	12	3
FTE	Full-Time Employee(正社員)	12	3
FTE	Full-Time Equivalent(フルタイム換算値)	20	3
FTO	Finish-to-Order(完成後受注)	14	3
FTP	File Transfer Protocol(ファイル転送プロトコル)	18	3
FTZ	Foreign Trade Zones(外国貿易地帯)	12	3
FUI	Federal Unemployment Insurance(連邦失業保険)	14	15
FUTA	Federal Unemployment Tax Act(連邦失業保険税法)	16	11
FWO	Firm Work Order(確定作業オーダー)	14	7
FY	Fiscal Year(会計年度)	10	3
FYI	For Your Information(ご参考までに)	8	7
G & A	General and Administrative Expenses(一般管理費)	18	11
G/A	General Accounting(一般会計)	6	11
G/L	General Ledger(総勘定元帳)	10	2
GAAP	Generally Accepted Accounting Principles(一般に認められた会計原則)	16	4
GAO	General Accounting Office(会計検査院)	10	3
GBC	General Building Contractor(一式建築請負業者、ゼネコン)	14	3
GBP	British Pounds(イギリス・ポンド)	6	8
GE	Greater Than or Equal To(以上)	12	7

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
gig	Gigabyte (One billion bytes)(GB、ギガバイト)	10	5
GIF	Graphics Interchange Format(グラフィックス交換フォーマット)	14	3
GL	Glossary(用語解説)	8	7
GmbH	Gesellschaft mit beschränkter Haftung(ドイツ語)	翻訳しない	4
GOSIP	Government Open Systems Interconnect Profile(政府オープン・システム相互接続プロファイル)	26	5
GST	Goods and Services Tax (Canada)(一般消費税(カナダ向け))	24	3
GT	Greater Than(より大きい)	6	7
GTE	Gross Tax Exclusion(総税額除外)	12	3
GUI	Graphical User Interface(グラフィカル・ユーザー・インターフェイス)	14	3
GUID	Globally Unique Identifier (technical system codes)(グローバル固有 ID(テクニカル・システム・コード))	20	26
H & S	Health and Safety(健康および安全)	12	3
HCE	Highly Compensated Employee(高度補償従業員)	10	3
HEX	Hexadecimal(16 進数)	12	9
HLL	High-Level Language(高水準言語)	10	22
HQ	Headquarters(本社)	6	9
HR	Workforce Management(人事管理)	8	11
HRM	Workforce Management(人事管理)	10	11
HS	Hidden Selection(隠し選択)	10	14
HT	Hypertext(ハイパーテキスト)	10	9
HTML	Hypertext Markup Language(ハイパーテキスト・マークアップ言語)	24	4
HTTP	Hypertext Transfer Protocol(ハイパーテキスト転送プロトコル)	24	4

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
HVAC	Heating, Ventilation, and Air Conditioning(暖房、換気、およびエアコン)	18	4
I/O	Input /Output Control(入出力制御)	16	3
ICCC	Inter Company Cost Center(企業間ビジネスユニット)	20	20
ICD	Identification Code Designator(ID コード指定子)	14	2
ICH	Inter Company Hub(企業間ハブ)	14	3
ID	Identification(ID)	翻訳しない	2
ID	Inter-Plant Demand(事業所間需要)	18	17
IDC	Intangible Depletion Cost(無形減耗コスト)	14	4
IDL	Interface Definition Language(インターフェイス定義言語)	翻訳しない	翻訳しない
IEEE	Institute of Electrical and Electronic Engineers(電気電子技術者協会)	22	4
IM	Inventory Management(在庫管理)	10	11
In	Inch(インチ)	6	3
Inc	Include(含む)	6	5
Inc	Incorporated(株式会社)	6	4
Inv	Invoice(請求書)	8	8
IOU	I Owe You(借用証書)	8	9
IP	Internet Protocol(インターネット・プロトコル)	18	2
IPL	Initial Program Load(初期プログラム・ロード)	14	7
IPS	Implementation Planning Session(インプリメンテーション計画セッション)	14	3
IR	In Receipt(受領)	6	3
IRA	Individual Retirement Account(個人退職勘定)	14	3
IRS	Internal Revenue Service(内国歳入庁)	8	3
ISO	International Standards Organization(国際標準化機構)	14	3

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
ISSN	International Standard Serial Number(国際標準逐次刊行物番号)	16	4
IT	Information Technology(情報技術)	10	2
ITC	Income Tax Credit(所得税控除)	12	20
ITC	Investment Tax Credit(投資税額控除)	12	19
ITD	Inception-to-Date(開始日以降累計)	8	12
Itm	Item(品目)	6	4
J/E	Journal Entry(仕訳)	12	2
JAD	Joint Application Development(共同アプリケーション開発)	18	3
JC	Job Cost(作業原価)	10	16
JCA	Job Cost Accounting(作業原価計算)	14	3
JCB	Job Cost Billing(作業原価請求)	14	3
JDE	J.D. Edwards & Company	16	3
JE	Journal Entry(仕訳)	12	2
JF	Join File(結合ファイル)	10	2
JIT	Just-in-Time(ジャストインタイム)	6	3
JPO	Java Persistent Object(Java 持続的なオブジェクト)	12	10
JT	Journal Type(仕訳タイプ)	12	10
JVI	Joint Venture Interest(ジョイント・ベンチャー利益)	10	3
K	Thousand(千)	4	1
Kb	Kilobyte(キロバイト、1,024 バイト)	8	5
KBG	Knowledge-Based Generator(FAQ ベース・ジェネレータ)	20	3
KK	Kabushiki-Kaisha(株式会社)	16	2
L/C	Letter of Credit(信用状)	8	7
L/O	Line/Order(ライン/オーダー)	10	5

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
LAN	Local Area Network(ローカル・エリア・ネットワーク)	10	11
lb	Pound(ポンド)	4	4
LBO	Leveraged Buyout(レバレッジド・バイアウト)	10	21
LC	Landed Cost(陸揚費用)	10	10
LCL	Less than a Carload(貸切貨物最小量より小さい)	14	9
LD	Level of Detail(詳細レベル)	8	2
LDA	Local Data Area(ローカル・データ域)	12	15
LE	Less Than or Equal To(以下)	12	7
LF	Logical File(論理ファイル)	10	10
LIFO	Last In, First Out(後入先出法)	12	4
LIMIT	Lot-Size Inventory Management Interpolation Technique(ロット・サイズ在庫管理保管記述)	26	5
LIPL	License Plate(ナンバー・プレート)	8	11
LOA	Leave of Absence(休職)	6	6
LOB	Line of Business(業種)	10	3
LOD	Level of Detail(詳細レベル)	8	2
LPG	Liquid Petroleum Gas(液化石油ガス、LP ガス)	12	6
LPI または lpi	Lines per Inch(1 インチあたり行数)	12	3
LRP	Long Range Planning(長期計画)	10	12
LRS	Loading Rack System(ラック・システム)	12	3
LSN	Lot Serial Number(ロット/シリアル番号)	12	11
LT	Ledger Type(元帳タイプ)	12	2
LT	Less Than(より小さい)	6	7
LT	Line Type(行タイプ)	8	7
Ltd	Limited(株式会社、有限責任会社)	8	4

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
LTD	Life-to-Date (開始日以降累計)	10	3
LTD	Long Term Debt (長期負債)	10	13
LTD	Long Term Disability (長期就業不能)	10	3
LTL	Less than a Truckload (トラック 1 台分未満)	14	9
MACRS	Modified Accelerated Cost Recovery System (修正加速原価回収法)	24	4
MAD	Mean Absolute Deviation (平均絶対偏差)	14	18
MAP	Manufacturing Automation Protocol (生産自動化のための通信制御プロトコル)	20	3
MAPI	Messaging Application Program Interface (メッセージング・アプリケーション・プログラム・インターフェイス)	26	4
MAS	Management Advisory Services (経営助言指導)	14	3
Max	Maximum (最大)	8	4
MB	Megabyte (One million bytes) (MB、メガバイト (1,000,000 バイト))	12	5
MBD	Mechanical Breakdown (機械故障中)	10	3
MBO	Management by Objectives (目標管理)	12	29
MC	Method of Computation (計算方法)	10	10
MCI	Media Control Interface (メディア・コントロール・インターフェイス)	14	3
MDS	Material-Dominated Scheduling (資材優先スケジューリング)	18	3
MDY	Month, Day, Year (年月日)	12	3
ME	Manufacturing Engineering (製造技術)	10	2
meg または mega	Megabyte (One million bytes) (MB、メガバイト (1,000,000 バイト))	12	5
Mfg	Manufacturing (製造)	6	4
MI	Machine Instruction (機械による指示)	10	11

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
MI	Manufacturing Instruction(製造指示)	12	9
MICR	Magnetic Ink Character Recognition(磁気インク文字認識)	14	19
MIL-SPEC	Military Inspection Standard(陸軍検査基準)	14	8
Min	Minimum(最低)	8	4
MIPS	Millions of Instructions per Second(100 万回命令/秒)	16	4
MIS	Management Information System(経営情報システム)	14	3
Misc	Miscellaneous(その他)	6	6
MMbpd	Million Barrels per Day(ミリオン・バレル/日)	10	4
MMS	Manufacturing Management Systems(製造管理システム)	14	3
MMS	Minerals Management Service(鉱物管理サービス)	14	3
MNC	Multinational Company(多国籍企業)	10	16
MNP	Multinational Products(多国籍製品)	10	15
MO	Month(月)	4	4
MOD	Method of Delivery(納入方法)	10	11
Mogas	Motor Gasoline(モーター用ガソリン)	12	11
MOQ	Maximum Order Quantity(最大オーダー数量)	14	16
MOT	Mode of Transportation(輸送モード)	10	8
MPS	Master Production Schedule(基準生産日程計画)	14	12
MRB	Material Review Board(資材確認掲示板)	16	3
MRI	Machine Readable Instructions(機械可読指示)	14	19
MRO	Maintenance, Repair, and Operation Supplies(メンテナンスや修理などに必要な消耗品)	22	3
MRP	Material Requirements Planning(資材所要量計画)	18	14
MRP II	Manufacturing Resource Planning(製造資源計画)	18	3

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
MRPx	Materials, Resource, Planning, and Execution (資材、資源、計画および実行)	24	19
MSDS	Material Safety Data Sheet (資材安全データ・シート)	16	4
Msg	Message (メッセージ)	6	5
MTD	Month-to-Date (月累計)	8	12
MTM	Methods-Time Measurement (メソッド・タイム測定)	14	3
MTO	Make-to-Order (受注生産)	12	11
MTOP	Make-to-Order Product (受注生産製品)	18	20
MTS	Make-to-Stock (見込み生産)	12	8
MTSP	Make-to-Stock Product (見込み生産製品)	18	17
MURB	Multiple Unit Residential Building (集合住宅建設)	14	9
MWO	Model Work Order (モデル作業オーダー)	14	17
N & A	Name and Address (住所氏名)	12	10
N/A	Not Available (該当事項なし)	4	12
N/S	Name Search (名称検索)	8	8
NA	Not Applicable (適用不可)	8	13
NACH	National Automated Clearing House (全米自動手形交換)	20	4
NASDAQ	National Association of Securities Dealers Automated Quotations (店頭銘柄気配自動通報、ナスダック)	28	6
NBV	Net Book Value (帳簿価額)	10	12
NC	Numerical Control (数値制御)	10	13
NCSA	National Center for Supercomputing Applications (全米スーパーコンピュータ、アプリケーション・センター)	26	4
NDT	Nondiscrimination Test (差別していないかどうかの検査)	12	14
NE	Not Equal To (同等(=)ではない)	8	5

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
NER	Named Event Rule; aka event rule business function (イベント・ルール・ビジネス関数)	翻訳しない	翻訳しない
NFS	Network File System (ネットワーク・ファイル・システム)	14	3
NG	Not Greater Than (より大きくない)	8	10
NGM	Netware Global Messaging (ネットウェア・グローバル・メッセージ処理)	12	3
NIFO	Next In, First Out (次入先出法)	14	4
NIST	National Institute for Standards and Technology (米国商務省標準技術院)	20	4
NL	Not Less Than (より小さくない)	8	10
NLM	Netware Loadable Module (ネットウェア・ロード可能モジュール)	16	3
NNN	Triple Net (トリプル・ネット)	10	3
No	Number (番号)	4	3
NOA	Net Operating Assets (営業純資産)	14	3
NOL	Net Operating Loss (営業純損失)	12	14
NOR	Notice of Readiness (準備通知)	18	3
NPBT	Net Profit Before Taxes (税引前純利益)	12	16
NSF	Non-Sufficient Funds (残高不足)	10	12
NT	New Technology (新技術)	8	2
NTE	Not to Exceed (超過禁止)	8	3
NTED	No Touch Exchange of Dies (ノータッチ型交換)	8	4
NV	Naamloze Vennootschap (オランダ語)	翻訳しない	2
NYSE	New York Stock Exchange (ニューヨーク証券取引所)	16	10
O	Option (オプション)	6	4
O/T	Overtime (超過勤務)	6	8

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
OBJ	Object(オブジェクト)	14	8
OCE	Open Collaboration Environment(オープン共同作業環境)	16	3
OCL	Over Credit Limit(与信限度額超過)	14	3
OCM	Object Configuration Manager(オブジェクト構成マネージャ)	14	3
OCR	Optical Character Recognition(光学式文字認識)	14	3
OD	Organizational Development(組織開発)	10	2
ODBC	Open Data Base Connectivity(オープン・データベース・コネクティビティ)	16	4
OEE	Overall Equipment Effectiveness(総合設備効果)	16	3
OEM	Original Equipment Manufacturer(相手先商標製造)	18	3
OH	Overhead(間接費)	10	9
OJT	On-the-Job Training(職場内訓練)	10	20
OL	Object Librarian(オブジェクト・ライブラリアン)		
OLE	Object Linking and Embedding(オブジェクトのリンクと埋込み)	16	27
OLTP	Online Transaction Processing(オンライン・トランザクション処理)	16	4
OM	Object Map(オブジェクト・マップ)	8	2
OMB	Office of Management and Budget(行政管理予算局)	18	3
OMI	Open Messaging Interface(オープン・メッセージング・インターフェイス)	20	3
OOP	Out-of-Pocket(現金支出)	6	3
OP	Option(オプション)	6	4
OP	Order Processing(オーダー処理)	10	2
Ops Seq No	Operation Sequence Number(作業順序番号)	12	24
Or Ty	Order Type(オーダー・タイプ)	10	10

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
Org	Organization(組織)	10	4
OS	Open Systems(オープン・システム)	10	2
OS	Operating System(オペレーティング・システム)	10	2
OS&D	Over, Short, and Damaged(超過、不足、ダメージを受けた)	18	4
OSF	Open Systems Foundation(オープン・システム・ファンデーション)	14	3
OSHA	Occupational Safety and Health Act(労働安全衛生法)	18	4
OSI	Open Systems Interconnection(開放型システム間相互接続)	14	3
OT	Overtime(超過勤務)	6	3
OTC	Over-the-counter(店頭)	6	3
OTED	One Touch Exchange of Dies(ワンタッチ型交換)	10	4
oz	Ounce(オンス)	6	2
P & P または p & p	Postage and Packing(郵送料および梱包)	12	3
P & L	Profit and Loss(損益データ)	翻訳しない	3
P & E	Property and Equipment(有形固定資産)	14	3
P/B/A	Planning/Budgeting/Allocations(計画/予算/配分)	20	5
P/E	Price/Earnings(株価収益)	12	3
P/O	Purchase Order(購買オーダー)	10	2
P/V	Profit/Volume(損益分岐点)	12	3
pa	Per Annum(1年につき)	6	3
PAC	Production Activity Control(生産活動管理)	14	3
PACO	Posting After Cutoff(締切後転記)	12	4
PBCO	Posting Before Cutoff(締切前転記)	12	4
PBYE	Posting Before Year End(前年度以前)	12	4

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
PC	Personal Computer(パーソナル・コンピュータ)	6	2
PCO	Planned Change Order(計画変更オーダー)	32	30
PCS	Personal Computer Support(パーソナル・コンピュータ・サポート)	10	3
PDBA	Payments, Deductions, Benefits and Accruals(支払、控除、手当、見越額)	24	4
PDCA	Plan-Do-Check-Action(計画 - 実行 - チェック - アクション)	24	4
PDL	Program Design Language(プログラム設計言語)	14	17
PdM	Predictive Maintenance(予測保守管理)	12	3
PDM	Product Data Management(製造データ管理)	14	3
PDS	Processor-Dominated Scheduling(加工優先スケジューリング)	24	3
PEC	Posting Edit Code(転記編集コード)	12	3
PERT	Program Evaluation and Revue Technique(ノパート)	20	4
PF	Physical File(物理ファイル)	10	2
PFC	Projected Final Cost(最終予測費用)	10	3
PFP	Projected Final Profit(最終予測利益)	16	3
PFR	Projected Final Revenue(最終予測収益)	16	3
PFS	Process Flow Scheduling(プロセス・フロー・スケジューリング)	18	3
PI	Payment Instrument(支払手段)	10	2
PIF	Program Information File(プログラム情報ファイル)	14	16
PLC	Programmable Logic Controller(プログラマブル・ロジック・コントローラ)	22	24
PLC	Public Limited Company (United Kingdom)(株式会社(英国))	12	3
PLO	Planned Order(計画オーダー)	10	3
Plt	Plant(プラント、事業所)	6	4

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
PM	Preventive Maintenance(予防保全)	12	2
PM	Property Management(資産管理)	12	2
PN	Period Number(期間)	8	2
PO	Processing Option(処理オプション)	10	2
PO	Purchase Order(購買オーダー)	10	2
POB	Post Out of Balance(貸借不一致の転記)	12	3
POE	Purchase Order Entry(購買オーダー入力)	14	3
POP	Purchase Order Processing(購買オーダー処理)	14	3
POS	Point-of-Sale(販売時点情報管理)	8	3
POSIX	Portable Operating System Interface for Computer Environments(コンピュータ環境のポータブル・オペレーティング・システム・インターフェイス)	24	5
PPAT	People, Places, and Things(人、場所、物)	14	6
PPB	Part Period Balancing(一定期間の残高調整)	14	3
PPBS	Program-Planning-Budgeting System(プログラム計画予算システム)	22	3
PPD	P rearranged Payments and Deposits(支払および保証金の予約)	22	4
PPED	Pay Period Ending Date(給与期間終了日付)	14	4
PPM	Parts per Million(百万分率(濃度の単位))	14	3
PPO	Preferred Provider Organization(医療者選択会員制団体健康保険)	14	3
PPV	Purchase Price Variance(仕入価格差異)	14	3
PR	Payroll(給与計算)	8	3
PR	Public Relations(広報)	10	2
PS	Pay Status(支払状況)	10	2
PSF	Per Square Foot(面積按分)	12	3

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
PSI	Pounds per Square Inch(ポンド/平方インチ)	26	16
PSIA	Pounds per Square Inch Absolute(ポンド/平方インチ(絶対))	26	16
PSIG	Pounds per Square Inch Gauge(ポンド/平方インチ(ゲージ))	26	3
PST	Provincial Sales Tax (Canada)(地方売上税(カナダ))	20	3
PSW	Project Strategy Workshop(プロジェクト・ストラテジワークショップ)	16	3
PTD	Period-to-Date(期間累計)	16	3
PTE	Part-Time Employee(パートタイム社員)	10	3
PTF	Program Temporary Fix(プログラム一時修正)	14	3
PTM	Payroll Tax Management(賃金税管理)	14	3
Pty	Priority(優先順位)	6	3
PWO	Plan Work Order(計画作業オーダー)	16	3
PYE	Previous Year-End(前年度末)	10	3
PYEB	Prior Year-End Balance(前年度以前)	14	4
PYEC	Prior Year-End Cumulative(前年度末累計)	14	4
PYEN	Prior Year-End Net(前年度末純益)	12	4
Q & A	Questions and Answers(質問および回答)	8	3
QA	Quality Assurance(品質保証)	10	2
QB	Qualified Beneficiary(受給資格者)	12	2
QBE	Query by Example	12	3
QE	Qualifying Event(対象イベント)	10	2
QFD	Quality Function Deployment(品質機能展開)	14	3
QM	Quality Management(品質管理)	10	2
QO	Quote Order(見積オーダー)	8	2
Qry	Query(照会)	6	5

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
QTD	Quarter-to-Date(四半期累計)	10	3
Qty	Quantity(数量)	6	3
R & D	Research and Development(研究開発部門)	12	3
R/L	Right/Left(右/左)	8	5
R/O	Required/Optional(必須/任意)	16	11
R/V	Reverse/Void(逆仕訳/無効)	12	3
RA	Revised Amount(改訂金額)	12	2
RAD	Rapid Application Development(迅速なアプリケーション開発)	14	3
RAM	Random Access Memory(ランダム・アクセス・メモリ)	14	3
Rand	Random(ランダム)	6	8
RCCP	Rough Cut Capacity Planning(ラフカット能力計画)	16	4
RDA	Report Design Aid(レポート設計ツール)	18	3
RDBF	Running Dollars Balance Format(繰越ドル残高形式)	22	4
RDM	Relational Database Management(リレーショナル・データベース管理)	18	14
RDM	Relational Document Management(関連資料管理)	18	3
返信:	Real Estate(不動産)	8	2
Rec	Record(レコード)	6	6
REC	Reverse Entry Control(逆仕訳制御)	10	3
Ref	Reference(参照)	6	4
Rel	Relationship(リレーションシップ)	6	4
REP	Rapidly, Economically, and Predictably(迅速、経済的、予測どおりに)	20	3
Rev	Revenue(収益)	6	10
RF	Radio Frequency(無線周波数)	12	2
RFP	Request for Proposal(提案書の要求)	14	3

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
RFQ	(見積要求)	6	3
RI	Residual Income(残余利益)	10	3
RiBa	Ricevuta Bancaria	16	4
RISC	Reduced Instruction Set Computer(縮小命令セット・コンピュータ)	26	4
RL	Response Line(レスポンス・ライン)	10	2
RL/SU	Response Line/Software Update(レスポンス・ライン/ソフトウェア・アップデート)	20	5
Rmk	Remark(備考)	10	2
ROA	Return on Assets(資産利益率)	10	3
ROE	Record of Employment(従業員レコード)	10	3
ROI	Return on Investment(投資対効果)	10	12
ROM	Read Only Memory(読取り専用メモリ)	10	14
ROP	Reorder Point(発注点)	10	3
ROQ	Reorder Quantity(発注数量)	10	3
RPC	Remote Procedure Call(遠隔手順呼出し)	14	3
RPG	Report Program Generator(レポート・プログラム・ジェネレータ)	16	3
RPM	Residential Property Management(居住資産管理)	16	3
RPS	Requirements Planning System(所要量計画システム)	14	3
RQBF	Running Quantity Balance Format(繰越残高数量形式)	22	4
RRA	Reserve Recognition Accounting(埋蔵量形状会計)	14	3
RRN	Relative Record Number(相対レコード番号)	12	3
RRP	Resource Requirements Planning(資源所要量計画)	14	3
RS	RISC System(RISC システム)	10	2
RT	Record Type(レコード・タイプ)	10	7

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
RTP	Return to Production(製造部門へ返品)	10	3
RU	Revised Units(改訂数量)	12	2
RUIA	Railroad Unemployment Insurance Act(鉄道失業保険法)	16	4
S & H または s & h	Shipping and Handling(出荷および取扱)	14	3
S/N	Serial Number(シリアル番号)	8	8
S/O	Sales Order(受注オーダー)	10	2
S.O.	Sales Order(受注オーダー)	10	2
SA	Société Anonyme(フランス語)	翻訳しない	2
SA	Stand Alone(独立型)	8	2
SAA	Systems Application Architecture(システム・アプリケーション・アーキテクチャ)	12	3
SAR	Software Action Request(ソフトウェア・アクション・リクエスト)	12	3
SARA	Superfund Amendment Reauthorization Act(スーパーファンド法修正及び再承認法)	22	4
SAW	Server Administration Workbench(サーバー管理ワークベンチ)	26	31
SB	Service Billing(サービス請求)	10	2
SBL	Subledgeer(補助元帳)	10	2
SBQ	Standard Batch Quantity(標準バッチ数量)	10	3
SC	Status Code(状況コード)	8	8
SCC	Service Class Code(サービス・クラス・コード)	12	3
SCSI	Small Computer Systems Interface	20	4
SDA	Screen Design Aid(画面設計ツール)	18	3
SDI	State Disability Insurance(州就業不能保険)	12	3
SDQ	Shipping, Destination, and Quantity(出荷、出荷先、数量)	18	3

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
SEC	Securities and Exchange Commission(証券取引委員会)	16	3
SEC	Standard Entry Class(標準入力クラス)	14	3
Seq	Sequence(順序)	6	4
SEU	Source Entry Utility(ソース入力ユーティリティ)	12	3
SFAS	Statement of Financial Accounting Standards(財務会計基準書)	18	4
SFC	Shop Floor Control(製造現場管理)	10	11
SFL	Subfile(サブファイル)	8	8
Sfx	Suffix(サフィックス)	6	3
SIA	Single Item Authorization(単一品目承認)	10	3
SIC	Standard Industry Classification(標準産業分類)	14	10
SIG	Special Interest Group(利益団体)	14	3
SIN	Social Insurance Number(社会保険番号)	12	14
SIT	State Income Tax(州所得税)	10	22
SKU	Stocking Keeping Unit(在庫保管単位)	14	9
SKU	Stockkeeping Unit(在庫品保管単位)	8	9
Sls	Sales(売上高)	8	4
SMAC	Standard Maintenance Agreement Contract(標準保守契約)	18	4
SME	Subject Matter Expert(主題に関する専門家)	10	3
SMED	Single Minute Exchange of Dies(1分型交換)	26	4
SMF	Standard Message Format(標準メッセージ・フォーマット)	14	3
SMS	Shipper Management System(出荷者管理システム)	16	3
SNA	Systems Network Architecture(システム・ネットワーク・アーキテクチャ)	14	3

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
SNADS	Systems Network Architecture Distribution Services(SNA 分散サービス)	24	5
SO	Sales Order(受注オーダー)	10	2
SOE	Sales Order Entry(受注オーダー入力)	14	3
SOP	Sales Order Processing(受注オーダー処理)	14	3
SOP	Statement of Position(参考意見書)	10	3
SOQ	Suggested Order Quantity(提示オーダー数量)	14	3
SP	Service Provider(サービス業者)	13	14
SpA	Società per Azioni(イタリア語)	翻訳しない	3
SPC	Statistical Process Control(統計的製造現場管理)	14	17
Specs	Specifications(スペック)		
SPI	System Provided Interface(システム提供インターフェイス)	16	3
SPRI	Société de Personnes à Responsabilité Limitée(ベルギー語)	翻訳しない	4
SPT	Shortest Process Time Rule(最短処理時間法)	18	3
SQC	Statistical Quality Control(統計的品質管理)	14	3
SQL (Sequel)	Structured Query Language(構造化照会言語)	16	3
SRM	Scheduled Routine Maintenance(定期メンテナンス)	16	14
SRV	Solutions, Relationships, Value(ソリューション、リレーションシップ、値)	18	3
SSN	Social Security Number(ソーシャル・セキュリティ番号)	12	14
STAR	Spreadsheet Tool For Asset Reporting (Fixed Asset Report Writer)(資産レポートのスプレッドシート・ツール(固定資産レポート・ライター))	42	4
Std	Standard(標準)	8	4
STD	Short-Term Disability(短期就業不能)	10	3
SUI	State Unemployment Insurance(州失業保険)	12	3

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
SVH	Sick Days, Vacation, Holidays (病気欠勤日、休暇、休日)	18	20
SVO	Service Order (サービス・オーダー)	10	3
SVR	Software Versions Repository (ソフトウェア・バージョン・リポジトリ)	12	3
SWIFT	Society for Worldwide Interbank Financial Telecommunications (国際銀行間通信協会、スイフト)	22	5
Sy	System (システム)	6	5
SYD	Sum-of-the-Years'-Digits (年数合計法)	12	3
T & M	Time and Materials (タイム・アンド・マテリアル)	12	3
T/B	Trial Balance (試算表)	8	8
T/E	Time Entry (時間入力)	10	3
TA	Time Accounting (時間会計)	10	2
TAM	Table Access Manager (テーブル・アクセス・マネージャ)	翻訳しない	翻訳しない
TBLE	Table (テーブル)	翻訳しない	翻訳しない
TC	Table Conversion (テーブル変換)	翻訳しない	翻訳しない
TCOS	Technical Committee on Operating Systems (オペレーション・システム技術委員会)	20	4
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol (伝送制御プロトコル/インターネット・プロトコル)	36	6
TDA	Table Design Aid (テーブル設計ツール)	翻訳しない	翻訳しない
TE	Time Entry (時間入力)	10	3
TEI	Total Employee Involvement (全従業員参加)	14	3
TER	Table Event Rule (テーブル・イベント・ルール)	翻訳しない	翻訳しない
TI	Type of Input (入力タイプ)	10	2
Time Last Upd	Time Last (最終更新時間)	14	28
TL	Truckload (トラック 1 台分の貨物)	10	8

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
TM	Translation Manager(トランスレーション・マネージャ)	14	2
TOC	Table of Contents(目次)	8	10
TOP	Technical/Office Protocol(TOP、OA の通信プロトコル)	24	4
TPC	Transaction Processing Council(トランザクション処理評議会)	18	3
TPM	Total Productive Maintenance(総合生産管理)	16	3
TPOP	Time-Phased Order Point(定期発注点)	24	4
TQC	Total Quality Control(総合品質管理)	12	3
TQE	Total Quality Engineering(総合品質設計)	12	3
TQM	Total Quality Management(総合品質管理)	12	3
TRW	TRW (Credit Reporting Agency)(個人信用情報センター)	20	3
TT	Translation Tools(翻訳ツール)	10	12
U/M	Unit of Measure(計量単位)	10	8
UBE	Universal Batch Engine(ユニバーサル・バッチ・エンジン)	14	3
UCIS	Utility of Customer Information System(顧客情報システム・ユーティリティ)	18	4
UDC	User Defined Code(ユーザー定義コード)	12	3
UDD	User Defined Depreciation(ユーザー定義減価償却)	16	3
UFC	Universal File Converter(ユニバーサル・ファイル・コンバータ)	16	3
UFO	Unidentified Foreign Object(未確認外部オブジェクト)	18	3
UK	United Kingdom(イギリス連合王国)	10	2
ULI	Urban Land Industry(市街地産業)	12	3
UM または Um	Unit of Measure(計量単位)	10	8

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
UOM	Unit of Measure (計量単位)	10	8
UPC	Universal Product Code (UPC コード)	14	7
UPD または Upd	Update (更新)	6	4
UPS	Uninterrupted Power Supply (無停電電源装置)	16	3
UQF	Untested Quick Fix ((テストされていない) クイック修正)	18	3
URL	Uniform Resource Locators (ユニフォーム・リソース・ロケータ)	16	3
USD	United States Dollars (米国ドル)	16	10
VAN	Value Added Network (付加価値通信網)	10	3
VAT	Value Added Tax (税)	8	5
VCF	Volume Correction Factor (容量修正係数)	14	3
Vchr	Voucher Journal (伝票仕訳)	16	17
VD	Video Display (画面表示)	10	2
VDT	Video Display Terminal (画面表示装置)	14	3
VDU	Video Display Unit (画面表示装置)	14	3
VETS-100	Veterans Employment (復員軍人雇用)	10	8
VI	Viscosity Index (粘度指数)	10	2
VIN	Vehicle Identification Number (車両 ID 番号)	12	3
VLCC	Very Large Crude Carrier (超大型石油タンカー)	12	6
VMI	Vendor Managed Inventory (客先在庫補充システム)	18	3
VO	Vocabulary Overrides (用語一時変更)	10	2
VOL または vol	Volume (容量)	12	4
VP	Vice-President (副社長)	8	2
VRS	Vendor Release Scheduling (仕入先リリース・スケジューリング)	16	3

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
VRU	Voice Recognition Unit (音声認識装置)	14	3
VS	Vendor Scheduling (仕入先スケジューリング)	14	2
VTX	Video Text (画面テキスト)	10	3
W/または w/	With	4	2
W & M	Weights and Measures (重量および計量単位)	12	3
W/C	Work Center (ワーク・センター)	10	10
W/H または w/h	Withholding (源泉徴収)	8	11
W/I または w/i	Within	8	10
W/O または w/o	Without	8	2
W/O	Work Order (作業オーダー)	10	2
W/Tax	Withholding Tax (源泉徴収税)	8	7
W/W	World Writer (ワールド・ライター)	12	12
W-2	Wage and Tax Statement (賃金および税額計算書)	14	3
W-4	Employee's Withholding Allowance Certificate (従業員の源泉徴収所得控除証明)	18	3
W-9	Exception Report (例外レポート)	10	3
WACO	Way After Cutoff (次年度以降)	10	4
WAN	Wide Area Network (広域ネットワーク)	10	3
WARN	Warning (警告)	6	5
WB	Workbench (ワークベンチ)	8	9
WBS	Work Breakdown Structure (作業階層構造)	14	3
WCA	Workmen's Compensation Act (労働者災害補償法)	18	3
WF	Work File (ワークテーブル)	10	9
WF	Workflow (ワークフロー)	翻訳しない	翻訳しない
WIP	Work-in-Process (仕掛品)	8	3

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
Wk	Week(週)	10	3
WLC	Warehouse, Location, Cost Center(倉庫、保管場所、ビジネスユニット)	22	3
WM	Warehouse Management(倉庫管理)	10	2
WMS	Warehouse Management System(倉庫管理システム)	14	3
WO	Work Order(作業オーダー)	10	2
WOP	Work Order Processing(作業オーダーの処理)	14	3
WORM	Write Once, Read Many(一回書込み/読取り数回)	20	4
WPT	Windfall Profit Tax(超過利得税)	12	3
WPUM	Weight per Unit of Measure(重量/計量単位)	16	4
WRN	Warning(警告)	6	6
WRT	Write(書込み)	6	5
WTD	Week-to-date(週累計)	8	11
WW	Who's Who?(人名録)	8	2
WW	World Writer(ワールド・ライター)	12	2
WWW	WWW (World Wide Web)	8	3
WYSIWYG	What you see is what you get (Wizzy Wig)(WYSI-WYG)	22	7
X	Cross(クロス)	6	3
X	Phone Extension(内線)	10	7
X-Ref	Cross-Reference(相互参照)	10	9
XO	Crossover(クロスオーバー)	6	2
Y/N	Yes/No(はい/いいえ)	6	5
yd	Yard(ヤード)	4	3
YE	Year-End(年度末)	6	5
YLD または yld	Yield(歩留)	12	3

頭字語または略語	記述	ダブルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ	シングルバイト言語翻訳で必要なフィールド・サイズ
YR	Year(年)	4	2
YTD	Year-to-Date(年累計)	8	10
ZIP	Zone Improvement Plan(郵便番号)	25	3

フィールド・サイズ

下の表は、使用頻度の高いフィールド名と対応するエイリアスを示しています。B カラムは、英字フィールドでの文字数を表しています。たとえば、フィールド MCU(ビジネスユニット)には、“ABCDEFGHIJKL”と入力できます。8 カラムの数字は、数字フィールドでの桁数を表しています。たとえば、フィールド ICU(バッチ番号)には、“12345678”と入力できます。

B カラムの左のサイズ欄は、データを正しく入力し表示するために必要な、設計時に定義するフィールド・サイズを示しています。たとえば、[Cost Center Details(ビジネスユニット詳細)]フィールドの正しいサイズは 133 です。これをコントロールの配置とサイズについてのガイドラインとして使用してください。

カテゴリ	エイリアス	記述	アプリケーション・フィールドの位置	B	8
事業所	*MCU*	すべての [Branch/Plant] フィールド	右上隅	12	
住所番号	AN8	社内および社外の番号を含むすべての [Address Number] フィールド	88	8	
日付	DATE	すべての [Date] フィールド			88/88/8888
時刻	TIME	すべての [Time] フィールド			88:88:88
UDC	UDC	1 - 文字		1	
UDC	UDC	10 - 文字		10	
UDC	UDC	2 - 文字		2	
UDC	UDC	3 - 文字		3	
UDC	UDC	4 - 文字		4	
UDC	UDC	8 - 文字		8	
金額	AEXP	合計原価	単位原価の後		15
会社	CO	会社		5	
金額	CRR	為替レート			15
伝票	DOC*	伝票番号		8	
伝票	DCT*	伝票タイプ	伝票番号の後/同じ行に	2	
伝票	KCO*	キー会社	伝票タイプの後/同じ行に	5	
ロケーション	LOCN	ロケーション		20	

カテゴリ	エイリアス	記述	アプリケーション・フィールドの位置	B	8
ロケーション	LOTN	ロット番号	LOCN の後	30	
ロケーション	TKID	バルク - タンク ID		8	
数量	TRQT	数量			15
品目番号	UITM	品目番号 - 不定	左に配置、この後改行	26	
金額	UNCS	単位原価	合計原価の前		15
密度	DEND	密度	TEMP の後		8
密度タイプ	DNTP	密度タイプ	DEND の後/同じ行に	1	
圧力	VAPP	蒸気圧	DETP の後		15
計量単位	PREU	気圧計量単位	VAPP の後/同じ行に	2	
温度	DETP	密度温度	DEND の後		8
温度タイプ	DTPU	密度温度タイプ	DETP の後/同じ行に	1	
温度	LPGV	液化石油ガス気体温度	VAPP の後		8
温度タイプ	TPU1	温度タイプ	LPGV の後/同じ行に	1	
温度	TEMP	温度			8
温度タイプ	STPU	温度タイプ	TEMP の後/同じ行に	1	
容量	LIQV	液体容量			15
計量単位	BUMx	UOM	Vol の後/同じ行に	2	
修正係数	VCF	容量修正係数			7
重量	LIQW	液体重量			15
容量	AMBR	常温容量			15
容量	VAPV	気体容量			15
容量	OVOL	その他の容量			15

カテゴリ	エイリアス	記述	アプリケーション・フィールドの位置	B	8
数量	STUM	在庫合計	通常、フォームにはなし		15
数量	STOK	在庫容量	AMBR の後		15
重量	WGTR	重量結果	STOK の後		15
Line Number	JELN	行 No.(FIN)/仕訳行 No.(FIN 以外)			7
バッチ番号	ICU	バッチ番号			8
ユーザーID	USER	ユーザーID		10	
プログラム ID	PID	プログラム ID		10	

標準動詞

ビジネス関数での動詞の正しい使用方法と説明については、このリストを参照してください。動詞の使用について承認が必要な場合は、アプリケーション開発管理者に連絡してください。

動詞	説明
Accumulate	表示またはファイル更新のために複数の行または金額を加算します。
Add	数値(通常は 2 つの値)を合計します。
Calculate	MATH_NUMERIC 変数を使用して、より複雑な計算式を評価します。
Change	変数の値またはテーブルを修正します。
Clear	非数値フィールドの値を消去してブランクにします。
Close	特定の関数またはテーブルを終了します。
Compare	ある変数を他の変数またはテーブル値と比較して評価します。この動詞は、変数を変更せずに、比較条件について結果を戻すために使用します。
Convert	ある項目を文字から数値、数値から文字に変換します。または、大文字と小文字の間で切り替えます。
Copy	ある変数の内容を他の変数に複写します。
Delete	ある変数またはフィールドの内容を削除します。
Edit	変数情報や、日付範囲などのデータが有効な値であるかどうかを検証します。
Format	[Location]フィールド表示など、フィールドを表示用にフォーマットします。
Get	表示または計算のためにテーブルからデータを取り込みます。
Increment	変数の値を、1 など、特定の数ずつ大きくします。この動詞は、行の採番に役立ちます。
Initialize	変数にブランクや NULL 以外の初期値を指定します。この値は、ハードコード化するか、別のフィールドや変数から取り込むことができます。また、この動詞を使用して MATH_NUMERIC 値をゼロに設定します。
Merge	文字列を操作または結合するために使用します。
Replace	変数の値を別の変数またはテーブル要素で上書きします。
Scrub	文字列から不要な文字を削除します。
Select	画面上のルールに基づいて、変数の文字列から変数を選択します。テーブルからは、キー値に基づいてレコードを選択します。
Set	あるテーブル要素の値を特定の値に更新します。デフォルト値を設定するために使用します。
Start	新規アプリケーションを呼び出します。
Update	テーブル・データを修正します。

Verify

特定の変数がシステム・パラメータと一致しているかどうかを確認します。たとえば、総勘定元帳の会計期間の日付が有効かどうか、または品目が在庫品目かどうかを検査します。

Write

データをテーブルに保管します。

標準アイコン

アイコンは、すべての読者に一見してわかるようになっている必要があります。したがって、そのビットマップ自体にはテキストを含めないようにします。アイコンに含まれたテキストは翻訳することができません。すべてのアイコンには、少なくともアイコン名が入ったホバー・ヘルプ(カーソルを置くと表示されるヘルプ・テキスト)が含まれている必要があります。ホバー・ヘルプは翻訳可能です。

アプリケーションでのアイコンの正しい使用方法と説明については、次のリストを参照してください。

ビットマップ名	表示するアプリケーション	意味
Accounts.bmp		
Activity.bmp	P98800	ワークフロー内のアクティビティ
ACTIVITY_ESCALATION.BMP	P98800	ワークフロー内のエスカレーション付きアクティビティ
APPLICATION.BMP	P988820 P98887	
Archived.bmp	P012501	ワーク・センター内で保管されているメッセージ
ATTPRIORITY.BMP	P012501	ワーク・センター内の添付ファイル付きの優先度の高いメッセージ
BIG CLIP.BMP		
BLUEPHONE.BMP	P012501	ワーク・センター内のコール
BLUEPHONERINGING.BMP	P012501	ワーク・センター内のコールバック
Bluetask.bmp	P012501	ワーク・センター内のタスク
BSFNOPTIONS.BMP	P9621	パッケージ・ビルドで関数をビルドするためのオプション設定
BUILDCOMPLETE.BMP	P9621	パッケージ・ビルドのセットアップ完了
BUILDINDEFINITION.BMP	P9621	パッケージ・ビルドの定義中
BUILDOPTIONS.BMP	P9621	パッケージ・ビルド・オプションの設定
Bussunit.bmp		
Click.bmp		
Closed.bmp		
Closed1.bmp		

Closed2.bmp		
CLOSEDISSUE.BMP		
CLOSEDTASK.BMP		
Company.bmp	P98616 P98887	プリンタ・アプリケーションでの使用場所
COMPOSERAPPLICATIONSUITES_TREE.BMP	P98887	
COMPOSERINDUSTRY_TREE.BMP	P98887	
COMPOSERPRODUCT_TREE.BMP	P98887	
COMPRESSOPTIONS.BMP	P9621	パッケージ・ビルドの圧縮オプション設定
DELETED ITEMS.BMP	P012501	ワーク・センターのごみ箱内のメッセージ(外部メール用)
DOTSPERINCH.BMP		
Emptycan.bmp	P012501	ワーク・センターの空のごみ箱(外部メール用)
EMPTYTRASH.BMP	P012501	ワーク・センターの空のごみ箱(内部メール用)
Envelope.bmp	P012501	ワーク・センター内のメッセージ
Fin_i_att.bmp	P98CMP01	
Finished.bmp	P98800 P988820 P98887 P98CMP01	選択項目
FULLTRASH.BMP	P012501	ワーク・センターのいっぱいになったごみ箱(内部メール用)
GREYPHONE.BMP	P012501	ワーク・センター内のコール
GREYPHONERINGING.BMP	P012501	ワーク・センター内のコールバック
Greytask.bmp	P012501	ワーク・センター内のタスク
Group.bmp	P012501	ワーク・センター内のユーザー・グループ
HIGHPRIORITY.BMP	P012501	ワーク・センター内の優先度の高いメール
Host.bmp	P98616	ホスト

Hotmail.bmp	P012501	ワーク・センター内の新着メールボックス
Inbox.bmp	P012501	ワーク・センター内の受信ボックス
Isscb.bmp		
Isscbs1.bmp		
Issue.bmp		
Issues1.bmp		
Leaf.bmp		
LIGHTNING.BMP	P012501 P98CMP01	ワーク・センター内のアクティブなメール・メッセージ
Locked.bmp		
LOWPRIORITY.BMP	P012501	ワーク・センター内の優先度の低いメッセージ
Mailbox.bmp		
Mailbox1.bmp		
Mailboxf.bmp		
Menu.bmp		
Msvcicon.bmp		
NEW MAIL.BMP		
Not_att.bmp	P98CMP01	
Notapp.bmp	P98800 P988820 P98CMP01	
OPEN ENVELOPE.BMP		
Open.bmp		
Open1.bmp		
Open2.bmp		
OPENISSUE.BMP		
Opentask.bmp		

ORIENTATION.BMP		
PAPER CLIP.BMP		
Paper.bmp	P9601 P98616 P9621	プリンタ・アプリケーションでの用紙タイプ
PARENTPRINTER.BMP	P98616	プリンタ・アプリケーションの第1レベルのツリー・ノード
Pend_att.bmp	P98CMP01	
Pending.bmp	P98CMP01	
Personal.bmp	P012501	
Pour.bmp		
Printer.bmp	P98616	プリンタ・アプリケーションでのプリンタ
Priority.bmp	P012501	ワーク・センター内の優先メールボックス
Process1.bmp	P98800	ワークフロー内のプロセス
Process2.bmp	P98800	ワークフロー内のプロセス
Prog_att.bmp	P98CMP01	
Progress.bmp	P98CMP01	
Promises.bmp	P012501	ワーク・センター内のメールボックス
QUESTION2.BMP	P988820	
Receipt.bmp	P012501	ワーク・センター内の受信メッセージ
Redphone.bmp	P012501	ワーク・センター内のコール
REDPHONERINGING.BMP	P012501	ワーク・センター内のコールバック
Redtask.bmp	P012501	ワーク・センター内のタスク
Report.bmp		UBE
Resicon.bmp		
SENT ITEMS.BMP	P012501	ワーク・センター内の送信メールボックス
Start.bmp	P98800	ワークフロー内の開始アクティビティ

SUBPROCESS.BMP	P98800	ワークフロー内のサブプロセス・アクティビティ
Task.bmp		
Tasks1.bmp		
Todo.bmp	P012501	ワーク・センター内の予定メールボックス
Tools1.bmp		
Tools2.bmp		
Tools3.bmp		
Tools4.bmp		
Tools5.bmp		
Tools6.bmp		
TREEBITMAP.BMP		
TREEBITMAP.OLD.BMP		
TREECLOSEPACKAGE.BMP	P9601	パッケージ・アセンブリ完了
TREEDATABASE.BMP	P9601	パッケージ・ビルドに含めるデータベース項目
TREEDEFAULT.BMP		
TREEFOUNDATION.BMP	P9601	パッケージ・ビルドに含めるファンデーション・システム
TREEHELPS.BMP	P9601	パッケージ・ビルドに含めるヘルプ
TREELANGUAGE.BMP	P9601	パッケージ・ビルドに含める言語
TREEOBJECTS.BMP	P9601	パッケージ・ビルドに含めるオブジェクト
TREEOPENPACKAGE.BMP	P9601	パッケージ・アセンブリ処理続行中
TREEPROPERTIES.BMP	P9601 P9621	アセンブリ・パッケージのプロパティ
Unlocked.bmp		
Unop_att.bmp	P98CMP01	
Unopen.bmp	P98CMP01	
YELLOWPHONE.BMP	P012501	ワーク・センター内のコール

YELLOWPHONERINGING.BMP	P012501	ワーク・センター内のコールバック
YELLOWTASK.BMP	P012501	ワーク・センター内のタスク

